

## 第 2 回桶川市振興計画審議会の開催結果

### 〈実施結果概要〉

【開催日】令和 4 年 1 月 3 0 日（日）

午後 2 時から午後 4 時 1 5 分まで

【開催場所】本庁舎 会議室 3 0 3 ・ 3 0 4

【出席委員】1 1 名 ※ 1 名欠席

【役 職】会長：大沢委員（学識経験）

副会長：水村委員（教育委員会委員）

【傍聴者】1 名

【諮問事項】桶川市次期振興計画基本構想について諮問

【審議等】

- ・ 桶川市の状況、市民意識調査の結果を説明。
- ・ 第 3 回審議会では、第五次総合振興計画後期基本計画の達成度評価、各種アンケート調査結果に基づき、現状の総合振興計画と市民意識の共通理解を図り、次期基本構想について議論する。

別記様式（第3条関係）

会議録（1）〈要約〉

会議の名称	第2回桶川市振興計画審議会
開催日時	令和3年1月30日（日） （開会）午後2時00分、（閉会）午後4時15分
開催場所	桶川市役所 会議室303、304
主宰者の氏名	企画財政部企画調整課
議長の氏名	大沢会長
出席者氏名 （委員）	水村副会長、岩崎委員、新島委員、岡安委員、井上委員、秋山委員、 和久津委員、中村委員、澁谷委員、吉田委員
欠席者氏名 （委員）	永井委員
説明員氏名	企画財政部企画調整課、ランドブレイン株式会社
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 川邊部長、本庄副部長 企画調整課 向井課長、篠原係長、野原主任
会議事項	議 題 1. 開会 2. 市長挨拶 3. 報告事項 （1）第1回審議会の結果について 4. 議事 （1）（仮称）第六次総合振興計画の策定について （2）市民意識調査の結果について （3）その他 5. 事務連絡等
	決定事項等 ・第3回審議会では、第五次総合振興計画後期基本計画の達成度評価、各種アンケート調査結果に基づき、現状の総合振興計画と市民意識の共通理解を図り、次期基本構想について議論する。 ・今回の審議内容について、御意見がある場合は、2月4日（金）までに事務局へ連絡する。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回審議会会議録・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1</li> <li>・（仮称）第六次総合振興計画の策定に向けて・・・・・・・・・・資料2</li> <li>・市民意識調査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3</li> <li>・桶川市振興計画審議会条例及び名簿・・・・・・・・・・参考資料1</li> </ul>

会議録(2)

議事の経過	
発言者	発言内容
議題(1) (仮称)第六次総合振興計画の策定について	
事務局	資料2に基づき、総合振興計画の変遷、第五次総合振興計画の概要及び進捗状況等について説明。
会長	ただ今説明のありました件について、何か御質問や御意見等はございますか。
委員	P12「近隣市町土地利用構想・方針」について、桶川北本 IC 周辺の北本市の複合的開発ゾーンについて具体的にどのような進捗状況になっているのでしょうか。
事務局	桶川北本 IC 周辺は、本市でも複合開発エリアと位置付けています。北本市の土地利用構想は、桶川北本 IC による交通利便性の向上を踏まえた土地利用となっています。現時点で、北本市から具体的な開発の話は伺っていないところです。
委員	次期総合振興計画の検討に先立ち、第五次総合振興計画の達成度の把握が必要となります。 P15 に、後期基本計画の達成状況が記載されていますが、大綱1については達成率 0%となっています。達成とはこういった事を意味するのか、評価の仕方や定義を教えてください。
事務局	この表の達成率は、第五次総合振興計画後期基本計画における施策毎に設定した指標の達成状況を表記しています。指標は、施策の達成度をはかるため設定しており、一覧は、基本計画書の p 180～p 186 に掲載しています。
委員	達成率については、次回審議会において、内訳など、もう少し詳しい資料を示してください。 また、達成出来ていないものについては、どのような要因があったのか、簡単に理由を示していただけると良いと思います。
会長	第五次総合振興計画の P D C A サイクルとして、達成度評価は重要です。 本日の資料では、達成率は 1 か 0 かの表現になっています。この資料の達成率だけでは間違ったメッセージとなり、ミスリードしてしまう恐れがあります。 計画の進捗状況をどのように評価すべきか改めて検討が必要です。また、社会経済の変化で見直さざるを得ないものもあるため、評価は丁寧に行った方が良いと思います。次回、必要な資料を事務局から提示いただければと思います。
事務局	次回審議会にて、第五次総合振興計画の達成状況をまとめた資料をお示しいたします。
委員	P17 の将来人口推計について、将来の人口推計が右肩下がりとなっているにも関わらず 0～14 歳は比較的緩やかな減少となっています。出生率が上昇する見込みなのでしょうか。

事務局	<p>P17 の将来人口推計については、前回（H28）の推計結果に対し、今回（R3）の推計の方が、減少が緩やかになっていることを示しています。</p> <p>年齢三区分別人口では、年少人口となる 0～14 歳では、前回と今回でほぼ変化がない状況です。P9 の資料にあるとおり、子育て世代の転入などもありますので、年少人口の推移が本市の出生率と連動しない状況となっています。推計結果は、転出入による増減など、本市における近年の人口のトレンドを反映したものとなっています。</p>
委員	<p>説明の中で、日本全体で人口が減少するという説明がありましたが、魅力ある地域では若い人が移住するケースもあります。人口が減少することを受け入れるだけでなく、転入を増やすといった視点も重要だと思います。【意見】</p>
委員	<p>P9 について、子育て世代に対するアプローチについて説明がありましたが、若い世代に対し、桶川市に住み続けたいと思っただけのようなメッセージが弱いと思います。独身の方や結婚されている若い人たちに桶川の良さを発信する必要があると思います。【意見】</p>
事務局	<p>本市は、住宅都市という側面から、都市基盤整備に長く取り組んでいます。また、市民アンケートでは、災害の心配が少ないといった御意見をいただいております。一方で、若い世代の方々に対し、桶川市の魅力をどう発信していくのかについては、手法なども含め課題と受け止めています。</p>
委員	<p>まちの魅力について、若い人に共感していただけることが大切だと思います。若者が魅力を感じるまちづくりが、将来的には移住や定住につながるものだと思います。【意見】</p>
会長	<p>子育て世代、若い世代など世代間のほか、多様化しているライフスタイルにも着目し、検討を進めたいと思います。</p>
委員	<p>中学生まちづくりアンケートは、既の実施されたのですか。</p>
事務局	<p>WEB の google フォームを利用してアンケートを実施しました。対象は、市内各中学校の 2 年生としました。</p>
委員	<p>子どもたちに聞くことは重要です。アンケートを通じて、自分達が住む場所を考えたり、愛着がわくきっかけになったりすると思います。</p> <p>【意見】</p> <p>昨年は、子ども議会を開催しましたが、子どもの意見や考えを大人が受け取る場が大切だと思います。【意見】</p> <p>面白いアイデアも出るとと思いますので、アンケートの結果は次回以降、教えてください。</p>
事務局	<p>次回の審議会で、中学生アンケートの結果をお示しします。</p>
会長	<p>子どもが、市に愛着をもつきっかけをつくるという視点は大切です。ぜひ集計結果を子ども達にフィードバックしていただきたいと思います。</p> <p>【意見】</p>
委員	<p>桶川市の魅力度を把握するものとして、転入・転出の理由があると思います。どのような理由で転出されたのかなど、把握できるものがあれば教えてください。</p>
事務局	<p>転入・転出アンケートを実施していますので、次回集計結果をお示しします。</p>

会長	第五次総合振興計画後期計画の達成状況、中学生アンケートや転入・転出アンケートなど、事務局でまとめていただいて、次回お示しいただければと思います。
事務局	承知しました。

議事の経過	
発言者	発言内容
議題（２）市民意識調査の結果について	
事務局	資料3に基づき、市民意識調査結果について説明。
委員	この市民意識調査の結果について、集計する際に年齢別や地区別など色々な分析をしていると思います。次回、参考資料としてお示しいただけないでしょうか。
事務局	次回審議会にて、地区や世代ごとのクロス集計の結果をお示しします。
委員	人が幸せを実感するには、良好な人間関係の構築が重要です。 グーグルの離職率が低い理由は、職場環境が良く、良好な人間関係にあると言われていています。心理的な安全性が確保されている職場は、離職も少なく、働く人も幸せでいられます。 人と人との空間という点では、まちづくりも通じる点があると思います。まちづくりによって、より良い都市環境を築くことができれば、そこに住む人々の良好な地域関係の構築にもつなげることができ、まちの魅力や幸福度も上がっていくと思います。【意見】
会長	幸福度といった視点は、まちづくりにおいて大切な要素です。次期総合振興計画を議論していく中で参考にしていきたいと思います。
委員	アンケートは、次期総合振興計画にどのように反映されるのでしょうか。P12の高齢者福祉の充実について、高齢者の中には動けない状態の人や独居の方がいらっしゃいます。そのような方々は、転居という選択肢はなく、「桶川市に住み続けるかどうか」といった視点はあまりないと思います。 設問のあり方を再検討した方がよいと思います。【意見】
事務局	アンケートは、経年変化を把握するため、平成21年度から実施しています。次期計画では、設問内容なども含め、見直しを行いたいと考えております。
会長	アンケートの設問を同じにすることで、市民意識の経年変化を把握できるメリットもあります。抜本的に質問を変えると経年変化が分からなくなりますので、同じ質問を設定し続けることも大切です。 今回のアンケートについて、世代や地区などクロス集計によって、より詳しく分析できるところもあるため、事務局で次回資料を用意してください。
事務局	次回審議会にて、世代や地区などクロス集計による詳細をお示しします。
副会長	複数回答、単一回答によって、棒グラフの積み上げ表記（％）が異なってきますので、次回資料では、選択肢毎に回答数を明示するなど、見やすくしてください。
事務局	承知しました。
会長	単一回答か複数回答かなど、設問条件を記載しないと誤解を招くので資料作成の際に表記願います。
事務局	承知しました。
委員	アンケートは、平成21年度から調査しているとのことですが、設問は全く同じでしょうか。また、アンケート調査の結果は、計画にどのように

	<p>反映しているのか教えてください。</p> <p>P13の「サービス付き高齢者住宅」についてサ高住に限定しているのか、もっと広い意味での福祉施設ととらえているのか説明いただきたい。</p>
事務局	<p>実施した5回のアンケートは、全く同じ設問ではなく、一部変えています。「福祉施設（サービス付き高齢者住宅）」は、サ高住だけではなく福祉施設全体を指しています。</p> <p>アンケートは、計画期間中の市民意識の変化を把握することを目的としています。一部、評価指標に使っているものもありますが、アンケート実施毎に計画に反映しているといったことは行っておりません。</p>
会長	<p>本日は、第五次総合振興計画の達成度評価、人口減少対策の中で多様なライフスタイルを考慮した議論、市民の意識を把握する各種アンケートなどについて御意見を頂きました。次回審議会での議論を深めるため、事務局の方では、達成度評価や各種アンケートの集計資料などを整理してください。</p>
事務局	<p>次回審議会で、整理した資料をお示しいたします。</p>
会長	<p>人口減少、少子高齢化が一層進展する中、まちの「健幸度」を高め、人と人とのつながりをどう築いていくのかが課題となってまいります。市民ニーズや社会環境の変化を踏まえ、何を変え、何を残すのか、次回以降議論できればと思います。</p> <p>また、今回、限られた時間での議論となりました。以降、何か御意見等がございましたら、2月4日までに事務局まで、ご連絡をお願いします。</p> <p>以上をもちまして、第2回桶川市振興計画審議会を閉会いたします。慎重な御審議をいただきありがとうございました。</p>

## 第2回審議会後に提出いただいた御意見（要旨）

### 1 振興計画審議会の委員構成について

- ・意見に偏りがでないよう、もう少し幅広い属性（年齢・性別等）の委員構成にしてもよいと思います。

### 2 ワールドカフェについて

- ・子どもが小さくて参加できない、コロナ禍で参加したいのに参加できないという声があるので、オンライン等での開催を検討してはどうでしょうか。
- ・若い世代の意見を取り入れるため、SNSで開催告知をしてはどうでしょうか。

### 3 資料3の5ページについて

- ・不満度ランキング1位の街路灯は、住宅の購入や引っ越しを検討する際によく確認される事項です。街路灯の設置は街全体の防犯に繋がるのではないかと思います。街路灯の設置の見直しを検討してもよいと思います。

### 4 資料3の2ページと6ページについて

- ・転入者の増加を図るため、待機児童ゼロや子ども医療費の充実といった点について、広く対外的にアピールしてもよいと思います。

### 5 資料全体を通じて

- ・アンケート等の調査結果については、どの世代がどのような施策を求めているのか把握するため、世代別にその内訳が分かるようにしていただければと思います。

### 6 若い世代への支援策の強化

- ・若い世代の定住促進には、持ち家やマンションなどの不動産を所有してもらうことが、最も効果的です。そのための支援策を検討してもよいと思います。
- ・子育て世帯の支援については、所得制限を設けずに行った方が、結果として高所得世帯が市内に転入する一つのきっかけになると思います。

### 7 全体的な情報発信不足

- ・若者世代に対する情報発信が課題と感じました。



第五次総合振興計画 後期基本計画の達成状況〈大綱 1〉

〈達成状況の凡例〉 A = 達成、B = 現状値を上回る、  
C = 現状維持、D = 現状値を下回る

大綱	施策	後期指標	後期現状値	後期目標値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	達成状況	
1 だ れ も が 主 役 の 協 働 桶 川 を つ く る	101 協働の推進	① 協働事業実施件数	29件	40件	36	31	45	36	29	C	
		② 協働のまちづくりが進んでいると思う市民の割合	18.7%	40.0%	未実施	21.3%	未実施	26.5%	未実施	B	
	102 自主的活動 の推進と交 流促進	① 市民活動サポートセンター登録団体数	105 団体	140 団体	148	148	139	149	124	B	
		② 国際交流イベントの参加者数	0人	300人	60	17	36	24	未実施	B	
		③ 自治会・町内会等の地域活動に満足している市民の割合	17.3%	20.0%	未実施	20.0%	未実施	18.9%	未実施	B	
	103 男女共同参 画社会の推 進	① 審議会等における女性委員の割合	27.5%	40.0%	26.2%	26.4%	26.0%	26.4%	27.3%	D	
		② セミナー・講演会等の実施回数	3回	6回	6	6	6	6	4	B	
		③ 社会全体において男女が平等だと思う市民の割合	24.3%	40.0%	未実施	26.4%	未実施	22.7%	未実施	D	
			目標の達成状況	令和2年度の達成状況 (A) は0/8となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、セミナーなどに関連する指標は影響を受けました。一方、市民意識調査の結果では、施策（分布図中1~3）の満足度は平均より高く、充実希望度は低い傾向にあります。「101②協働のまちづくりが進んでいると思う市民の割合」など現状値を上回る指標 (B) は、5/8となりました。							
	大綱 1 年度別達成状況			-	8指標	2	3	3	2	0	0/8

第五次総合振興計画 後期基本計画の達成状況〈大綱2〉

〈達成状況の凡例〉 A = 達成、B = 現状値を上回る、  
C = 現状維持、D = 現状値を下回る

大綱	施策	後期指標	後期 現状値	後期 目標値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度	R2年度	達成 状況
【 2 教育 ・ き 文 化 】 を 育 み 次 代 に 繋 げ る 桶 川 を つ く る	201 就学前教育 の支援・充 実	① 小・中学校入学前における「親の学 習」講座への参加率	93.0%	93.0%	93.0%	93.3%	88.0%	90.4%	98.2%	A
		② 幼児家庭教育セミナーの参加者数	172人	200人	120	50	40	62	10	D
	202 学校教育の 充実	① 全国学力・学習状況調査における達 成率（上段：小学生、下段：中学 生）	全国平均を上回った 数 10項目 (62.5%)	全国平均を上回った 数 13項目 (81.3%)	60.0%	40.0%	5.3%	12.5%	未実施	D
					14.3%	75.0%	95.0%	90.9%	未実施	
		② 学校応援団コーディネーター研修会 受講者累計人数	5人	25人	2	6	7	0	0	D
	203 青少年の健 全な育成	① 成人式典の出席率	80.4%	82.0%	77.2%	77.3%	77.8%	74.0%	68.0%	D
		② 青少年健全育成市民大会の参加者数	160人	230人	155	193	184	192	103	D
		③ 巡回指導の延べ人数	175人	190人	222	305	345	570	393	A
	204 生涯学習・ 生涯スポー ツの充実	① 公民館講座数	47講座	55講座	59	46	70	74	52	B
		② 公民館利用率（年間公民館利用者数 ／市人口）	148.0%	195.0%	155.0%	116.0%	140.0%	122.0%	62.0%	D
		③ 図書館利用者数	110,718人	155,000人	164,541	141,951	141,372	155,538	111,324	B
		④ スポーツ・レクリエーション活動に 満足している市民の割合	8.5%	8.8%	未実施	10.3%	未実施	13.5%	未実施	A

大綱	施策	後期指標	後期 現状値	後期 目標値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度	R2年度	達成 状況	
【大綱2】 教育・文化力を育み、次代に繋げる桶川をつくる	205 人権教育・啓発と平和の推進	① 人権教育担当者研修会の参加者の満足度	-	90.0%	100%	100%	100%	100%	100%	A	
		② 集会所成人学級講座の参加者数	429人	450人	487	460	443	373	未実施	D	
		③ 憲法・人権市民のつどいの参加者数	150人	200人	150	257	163	80	80	D	
		④ 平和を考える10日間事業のイベント参加者数	300人	300人	1,800	1,847	1,909	843	722	A	
	206 文化・芸術の振興・保存・継承	① 市民芸術文化祭参加者数（発表者及び観客の合計）	3,367人	4,200人	2,218	2,172	3,689	3,943	未実施	D	
		② 市民ホール利用者数	114,853人	120,000人	122,693	131,130	124,154	110,334	27,212	D	
		③ 文化財の解説板の新設及び改修件数	15件	27件	17	17	18	18	24	B	
		④ 文化財の指定件数	49件	51件	50	50	50	50	55	A	
		⑤ 文化・芸術活動に満足している市民の割合	9.9%	17.0%	未実施	11.0%	未実施	14.1%	未実施	B	
		⑥ 資料の収蔵件数	26,700件	30,000点	26,800	26,805	26,885	26,888	26,900	B	
	目標の達成状況			令和2年度の達成状況（A）は6/21となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、公共施設の利用を制限した事により、利用者数や講座などの指標は影響を受けました。市民意識調査の結果では、施策（分布図中4～9）の満足度は平均より高い一方、充実希望度は特に「5学校教育」が高く、その外は平均より低くなっています。また、「204④スポーツ・レクリエーション活動に満足している市民の割合」は目標値に達し、「206⑤文化・芸術活動に満足している市民の割合」は目標値に向かって進捗しています。							
	大綱2 年度別達成状況			-	21指標	8	8	6	6	6	6/21

第五次総合振興計画 後期基本計画の達成状況〈大綱3〉

〈達成状況の凡例〉 A=達成、B=現状値を上回る、  
C=現状維持、D=現状値を下回る

大綱	施策	後期指標	後期現状値	後期目標値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	達成状況
【健康・福祉】暮らしを 川をつくる	301 健康づくり の推進・医療の充実	① 健康づくりサポーターの養成人数	286人	430人	336	350	359	363	392	B
		② 大腸がん検診受診率	32.7%	35.0%	31.6%	31.5%	30.6%	30.7%	29.3%	D
		③ 高齢者インフルエンザ予防接種率	44.8%	60.0%	44.0%	43.2%	44.5%	46.3%	67.7%	A
		④ 献血者数	593人	800人	516	595	519	507	617	B
		⑤ 国民健康保険特定保健指導実施率	8.5%	30.0%	10.3%	10.4%	15.4%	7.7%	6.8%	D
	302 子育て支援 の充実	① 地域子育て支援拠点の事業か所数	6か所	7か所	6	6	6	6	6	C
		② 児童館数	1か所	2か所	1	1	1	1	1	C
		③ こんにちは赤ちゃん訪問事業の4か月児健康診査までの把握率	91.4%	100.0%	98.4%	99.8%	100.0%	100.0%	100.0%	A
		④ 通常保育の認可保育所総定員	849人	1,085人	1,529	1,557	1,570	1,570	1,589	A
		⑤ 延長保育実施の認可保育所数	10か所	12か所	17	18	18	18	19	A
		⑥ 放課後児童クラブ総定員	419人	565人	449	584	644	714	744	A
	303 高齢者施策 の充実	① 老人福祉センターの利用者数	60,802人	63,000人	65,742	70,081	68,700	59,459	4,983	D
		② 地域包括支援センターの支援件数	7,993件	9,000件	8,749	9,895	11,540	12,844	13,921	A
		③ 介護予防教室の延べ参加者数	1,637人	1,900人	3,383	3,333	3,306	3,401	1,566	D

大綱	施策	後期指標	後期 現状値	後期 目標値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度	R2年度	達成 状況	
3  共に 支え る 【 健 康 ・ 福 祉 】 暮 ら せ る 桶 川 を つ	304 障がい者 (児)支援 の充実	① 日常生活用具給付事業利用件数	79.7 件/月	100.0 件/月	96.4	101.8	108.6	109.1	102.3	A	
		② 移動支援事業利用時間数	217.7 時間/月	220.0 時間/月	244.2	299.1	269.5	256.5	217.8	B	
		③ 地域活動支援センター利用者数	58人 /月	64人 /月	28	31	39	46	41	D	
		④ 障害者就労者数	118人	150人	165	193	215	227	238	A	
	305 地域福祉の 推進	① 民生委員における地域福祉活動件数	4,651 件	5,200 件	5,062	5,747	5,312	5,298	4,407	D	
		② 地域包括支援センターの支援件数	7,993 件	9,000 件	8,749	9,895	11,540	12,844	13,921	A	
	306 <small>自立した生活 への支援体制の充実</small>	① 就労支援プログラム実施者数	26人	40人	26	24	36	48	44	A	
	307 ノーマライ ゼーション の推進	① 公園のバリアフリー化率	61.0%	65.0%	61.0%	62.0%	63.0%	64.0%	64.0%	B	
		② 桶川市が住みよい所と思う市民の割合	45.8%	50.0%	未実施	47.8%	未実施	51.6%	未実施	A	
	目標の達成状況			令和2年度の達成状況(A)は11/23となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、公共施設の利用を制限した事により、「303①老人福祉センターの利用者数」は現状値を大きく下回りました。市民意識調査の結果では、施策(分布図中10~16)の満足度は概ね平均となっている一方、充実希望度は、「10健康医療・11子育て支援・12高齢者施策」が特に高く、その外は平均となっています。また、「307②桶川市が住みよい所と思う市民の割合」は、目標値に達しています。							
	大綱3 年度別達成状況			-	23指標	6	11	12	13	11	11/23

第五次総合振興計画 後期基本計画の達成状況〈大綱4〉

〈達成状況の凡例〉 A=達成、B=現状値を上回る、  
C=現状維持、D=現状値を下回る

大綱	施策	後期指標	後期現状値	後期目標値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	達成状況
4 環境にやさしく をつくる安心・安全に 住み続けられる桶川 【市民生活】	401 地球温暖化 対策の推進	① 市役所等から発生する温室効果ガスの総排出量の年間削減率（平成24年度比）	2.9%	2.0%	3.0%	4.4%	-0.4%	-29.8%	-31.2%	D
		② 高効率給湯器設置費補助件数	298基	300基	395	303	188	46	57	D
		③ 住宅用太陽光発電システム設置費補助件数	125基	150基	61	62	66	41	34	D
		④ 環境リーダー数	3人	5人	3	未実施	未実施	未実施	未実施	D
		⑤ 日常生活の中で、地球温暖化への取組をしている市民の割合	63.9%	75.0%	-	61.0%	-	57.6%	-	D
	402 資源循環型 社会の構築	① 資源化率	31.6%	39.8%	31.9%	32.5%	31.4%	31.4%	30.9%	D
		② ごみ排出量	806g/ 1人1日	762g/ 1人1日	772g	750g	747g	716g	738g	A
		③ 事業系ごみ排出量	4,440t /年	4,080t /年	3,888	3,526	3,305	2,891	2,659	A
		④ 家庭ごみの収集・処理に満足している市民の割合	33.1%	45.0%	未実施	38.3%	未実施	39.5%	未実施	B
	403 快適で衛生的な地域環境の創出	① 合併浄化槽設置補助件数	3基	10基	13	18	18	19	18	A
		② 合併浄化槽の法定検査の実施率	5.8%	30.0% 以上	10.7%	10.4%	10.6%	12.4%	12.9%	B
		③ 狂犬病予防注射接種率	64.7%	80.0% 以上	61.3%	65.8%	65.2%	66.0%	67.5%	B
		④ 音や振動などの静けさに満足している市民の割合	27.7%	30.0%	-	30.3%	-	34.4%	-	A
		⑤ 空気のきれいさに満足している市民の割合	30.4%	32.0%	-	32.1%	-	32.4%	-	A

大綱	施策	後期指標	後期 現状値	後期 目標値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度	R2年度	達成 状況	
4 環境にやさしく くる安心・安全に住み 【市民生活】 続けられる 桶川をつ	404 防災対策の 推進	① 自主防災組織率	95.2%	100.0%	96.8%	98.6%	97.6%	99.5%	99.5%	B	
		② 防災関連施設の耐震化率	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	
		③ 市内の普通救命講習修了者数	4,203人	6,600人	5,258	5,607	6,061	6,615	6,803	A	
	405 防犯まちづ くりの推進	① 刑法犯認知件数	741件	650件	614	565	535	573	380	A	
		② 地域防犯推進委員数	217人	220人	218	207	207	199	197	D	
		③ 防犯協定数	12団体	15団体	12	12	12	12	12	C	
		④ 防犯灯の設置数	3,614基	3,800基	3,743	3,780	3,823	4,047	4,094	A	
	406 交通安全対 策の推進	① 交通事故発生件数	347件	280件	304	261	327	224	214	A	
		② 道路反射鏡整備管理基数	1,086基	1,140基	1,140	1,156	1,167	1,184	1,196	A	
		③ 道路照明灯管理基数	1,589基	1,610基	1,604	1,604	1,604	1,644	1,636	A	
	407 安全な消費 生活の確保	① 消費生活展来場者数	300人	350人	350	323	335	337	401	A	
		② 消費生活相談件数	267件	300件	323	356	459	420	451	A	
	目標の達成状況			令和2年度の達成状況は14/26となりました。市民意識調査の結果では、施策（分布図中17～23）の満足度は概ね平均となっている一方、充実希望度は「20防災・21防犯・22交通安全」が特に高く、その外は平均となっています。また、「403④音や振動などの静けさに満足している市民の割合」や「403⑤空気のきれいさに満足している市民の割合」は目標値に達しています。							
	大綱4 年度別達成状況			-	26指標	8	11	10	13	14	14/26

第五次総合振興計画 後期基本計画の達成状況〈大綱5〉

〈達成状況の凡例〉 A = 達成、B = 現状値を上回る、  
C = 現状維持、D = 現状値を下回る

大綱	施策	後期指標	後期 現状値	後期 目標値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度	R2年度	達成 状況
【 み ど り と 調 和 し た 暮 ら し や す い 桶 川 を つ く る 】	501 良好な住環境の創出と保全	① 土地区画整理事業施行地区の使用収益開始率	82.3%	100.0%	92.8%	96.8%	98.3%	100.0%	100.0%	A
		② 木造住宅・市有建築物の耐震化率（上段：木造住宅、下段：市有建築物）	82.0% 88.0%	95.0% 100%	83.0% 95.0%	85.0% 95.0%	85.0% 95.0%	86.0% 95.0%	92.0% 95.0%	B
		③ 下水道普及率	77.6%	78.6%	79.8%	80.4%	80.8%	81.0%	81.6%	A
		④ 住み続けたいと思う市民の割合	58.6%	60.0%	未実施	58.9%	未実施	58.8%	未実施	B
	502 歩いて暮らせるまちの実現	① 桶川駅東口駅前広場及び駅東口通り線のうち駅前広場から中山道までの部分の整備に伴う用地買収率	21.0%	100.0%	46.0%	49.0%	54.0%	72.0%	75.0%	B
		② 桶川駅の1日平均乗車人員	26,161人	26,200人	26,177	26,312	26,484	26,296	20,043	D
		③ 循環バス年間乗車数	289,200人	300,000人	273,187	277,275	280,028	279,869	142,405	D
	503 魅力あるまちづくりへの新たな取組	① 乱開発抑止のためのパトロールの実施回数	1回	2回	1	1	1	1	0	D
		② 市内に優れた景観があると思う市民の割合	7.4%	12.0%	未実施	8.0%	未実施	6.4%	未実施	D
	504 都市計画道路の整備	① 都市計画道路の整備率	57.6%	75.0%	73.0%	73.0%	74.0%	75.0%	75.0%	A
		② 道路の整備状況に満足している市民の割合	10.5%	18.0%	未実施	15.6%	未実施	19.5%	未実施	A
	505 生活道路の整備・改善	① 通学路の計画路線における新規歩道整備延長	1,050m	1,350m	1,050m	1,050m	1,050m	1,220m	1,220m	B
		② 身近な生活道路の状況が良くなったと感じている市民の割合	15.5%	20.0%	未実施	17.0%	未実施	16.4%	未実施	B



大綱	施策	後期指標	後期 現状値	後期 目標値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度	R2年度	達成 状況	
5 みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる【みど	506 憩いの自然空間の保全と活用	① 市民緑地等の契約面積	21,674 ㎡	50,000 ㎡	21,674	17,898	17,929	17,929	19,828	D	
		② 緑化ボランティア人数（保険加入者数）	77人	100人	69	68	72	67	62	D	
		③ 保存樹木の指定数	70本	80本	71	75	71	71	67	D	
		④ みどりの豊かさなどの自然環境に満足している市民の割合	35.5%	40.0%	未実施	36.2%	未実施	36.3%	未実施	B	
		⑤ 川などの水辺と親しめる環境に満足している市民の割合	13.7%	15.0%	未実施	14.4%	未実施	15.4%	未実施	A	
	507 みどり空間の創出	① 人口1人当たりの都市公園面積	2.75㎡	2.82㎡	2.75	2.88	2.91	2.91	2.94	A	
		② 桶川市ハート&ハンド道路サポート制度登録者数	74人	180人	148	135	142	164	182	A	
		③ 子どもの遊び場や公園などに満足している市民の割合	12.5%	15.0%	未実施	15.5%	未実施	17.3%	未実施	A	
	508 治水対策の推進	① 市道冠水路線数	25路線	18路線	34	36	23	47	14	A	
		② 地区単位での水路台帳整備数	1地区	3地区	2	4	4	4	4	A	
	目標の達成状況			令和2年度の達成状況（A）は10/23となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、指標の「502③循環バス年間乗車数」は影響を受けました。市民意識調査の結果では、施策（分布図中24～31）の充実希望度は「25歩いて暮らせるまちの実現・26魅力あるまちへの新たな取組・28生活道路の整備・31治水対策の推進」は特に高い一方、満足度は低くなっています。「504②道路の整備状況に満足している市民の割合」「506⑤川などの水辺に親しめる環境に満足している市民の割合」「507③子どもの遊び場や公園などに満足している市民の割合」は目標値に達しています。							
	大綱5 年度別達成状況			-	23指標	0	5	5	9	10	10/23

第五次総合振興計画 後期基本計画の達成状況〈大綱6〉

〈達成状況の凡例〉 A=達成、B=現状値を上回る、  
C=現状維持、D=現状値を下回る

大綱	施策	後期指標	後期 現状値	後期 目標値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度	R2年度	達成 状況
6 に ぎ わ い と 活 力 が あ る 桶 川 を つ く る 【 産 業 】	601 農業の振興	① 認定農業者数	49人	60人	42	43	43	43	45	D
		② 荒廃農地の面積	59ha	30ha	36	32	35	37	41	B
		③ 農産物直売所数	3か所	4か所	3	3	3	3	2	D
	602 工業の振興	① 工場数	91か所	95か所	101	85	80	74	調査未実施	D
		② 製造品出荷額等	1,169 億円	1,220 億円	1,219	1,241	1,309	1,278	調査未実施	A
		③ 誘致企業の立地件数	0件	2件	0	0	0	0	1	B
		④ 工業系用地面積	121.8 ha	135.8 ha	128.5	128.5	128.5	128.5	128.5	B
	603 商業の振興	① 小売業商店数	342 店舗	345 店舗	353	調査未実施	調査未実施	調査未実施	令和4年9月調査結果 発表予定	A
		② 小売業年間商品販売額	436 億円	440 億円	437	調査未実施	調査未実施	調査未実施	令和4年9月調査結果 発表予定	B
		③ 商店会会員数	167人	170人	159	148	128	123	129	D

大綱	施策	後期指標	後期 現状値	後期 目標値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度	R2年度	達成 状況	
6  に ぎ わ い と 活 力 が あ る 桶 川 を つ  【 産 業 】	604 観光の振興	① 観光入込客数（祭りなど）	53.8 万人回	56.4 万人回	44.3	91.7	91.0	97.3	40.0	D	
		② べに花ふるさと館来館者数	99,770 人	150,000 人	101,296	70,072	113,838	74,906	46,134	D	
		③ ガイドボランティア数	25人	28人	22	23	21	22	19	D	
		④ フィルムコミッション数 累計	2件	5件	1	2	3	5	5	A	
	605 就労支援と 勤労者福利 厚生 の 充 実	① 市内就業者数	35,844 人	37,000 人	35,521	調査未実施	調査未実施	調査未実施	調査未実施	D	
		② 就職相談開催回数	2回	4回	2	4	4	4	5	A	
	目標の達成状況			令和2年度の達成状況（A）は4/16となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、指標の「604①観光入込客数」や「604②べに花ふるさと館来館者数」は影響を受けました。市民意識調査の結果では、施策（図中32～36）の満足度、充実希望度について「34商業の振興」は満足度が低い一方、充実希望度は高くなっています。「602③誘致企業の立地件数」は、現状値を上回っています。							
	大綱6 年度別達成状況			-	16指標	2	4	4	5	4	4/16

第五次総合振興計画 後期基本計画の達成状況〈大綱7〉

〈達成状況の凡例〉 A=達成、B=現状値を上回る、  
C=現状維持、D=現状値を下回る

大綱	施策	後期指標	後期 現状値	後期 目標値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度	R2年度	達成 状況	
7 計 画 的 で 将 来 を 見 据 え た 桶 川 を つ く る 【 行 政 運 営 】	701 計画行政の 推進	① 総合振興計画（後期基本計画）の取 組実施件数の割合	—	100%	98.4%	97.7%	97.7%	97.7%	93.8%	B	
		② 職員1人当たりの市民の数	173人	169人	172	170	168	168	169	A	
		③ 職員研修延べ参加者数	418人	450人	500	343	362	397	211	B	
		④ 窓口・電話口での職員対応に不満で ある市民の割合	10.8%	7%	未実施	8.5%	未実施	7.1%	未実施	B	
		⑤ 住民票等、各種証明書発行サービスの利便性 に不満である市民の割合	8.5%	6%	未実施	7.7%	未実施	7.1%	未実施	B	
	702 経営的な視 点からの財 政運営	① 実質公債費比率	4.8%	8.2%	4.9%	4.3%	4.3%	4.8%	5.5%	A	
		② 財政調整基金残高比率	13.0%	10%	13.3%	8.2%	10.0%	5.6%	6.0%	D	
		③ 市税の納納率（現年）	99.6%	99.6%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%	99.6%	C	
	703情報共 有の推進	① 市ホームページアクセス数	18,852 件/月	20,000 件/月	17,080	27,215	18,325	26,911	51,369	A	
		② 市政情報を十分に得られていると感 じている市民の割合	58.3%	65%	未実施	61.4%	未実施	62.4%	未実施	B	
	704広域行 政の推進	① 公共施設の相互利用の対象施設数	84 施設	100 施設	84	84	84	84	84	C	
		② 近隣自治体との共同事業の実施回数	1回	3回	1	1	1	10	1	C	
	目標の達成状況			令和2年度の達成状況（A）は3/12となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、指標の「703①市ホームページアクセス数」が目標値を上回りました。市民意識調査の結果では、施策（図中37～40）の満足度は「38財政運営」が低く、その外は概ね平均となっており、充実希望度は平均より低い傾向にあります。また、「701④窓口・電話口での職員対応に不満である市民の割合」「701⑤住民票等、各種証明書発行サービスの利便性に不満である市民の割合」「703②市政情報を十分に得られていると感じている市民の割合」は、目標値に向かって進捗しています							
	大綱7 年度別達成状況			-	12指標	3	2	3	4	3	3/12

大綱	後期 現状値	後期 目標値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	達成 状況
大綱 1	-	8指標	2	3	3	2	0	0/8
大綱 2	-	21指標	8	8	6	6	6	6/21
大綱 3	-	23指標	6	11	12	13	11	11/23
大綱 4	-	26指標	8	11	10	13	14	14/26
大綱 5	-	23指標	0	5	5	9	10	10/23
大綱 6	-	16指標	2	4	4	5	4	4/16
大綱 7	-	12指標	3	2	3	4	3	3/12
合計	-	129指標	29	44	43	52	48	48/129

〈達成状況の凡例〉 A = 達成、B = 現状値を上回る、  
C = 現状維持、D = 現状値を下回る

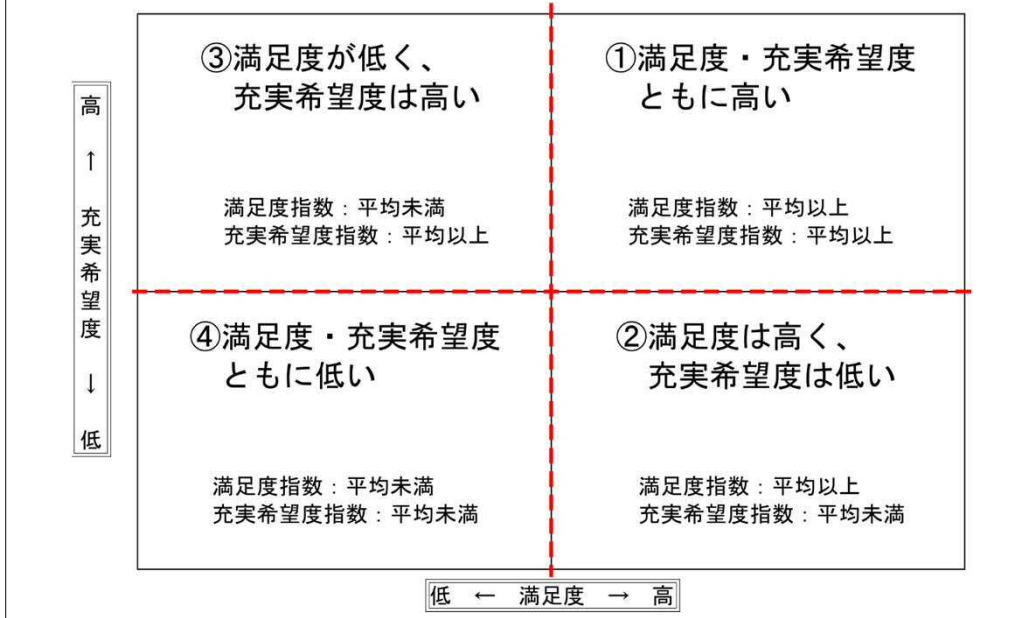
令和 2 年度達成状況	A	B	C	D
指標数	48	33	7	41
割合	37.2%	25.6%	5.4%	31.8%

62.8%

37.2%

# 施策の満足度と充実希望度の関係

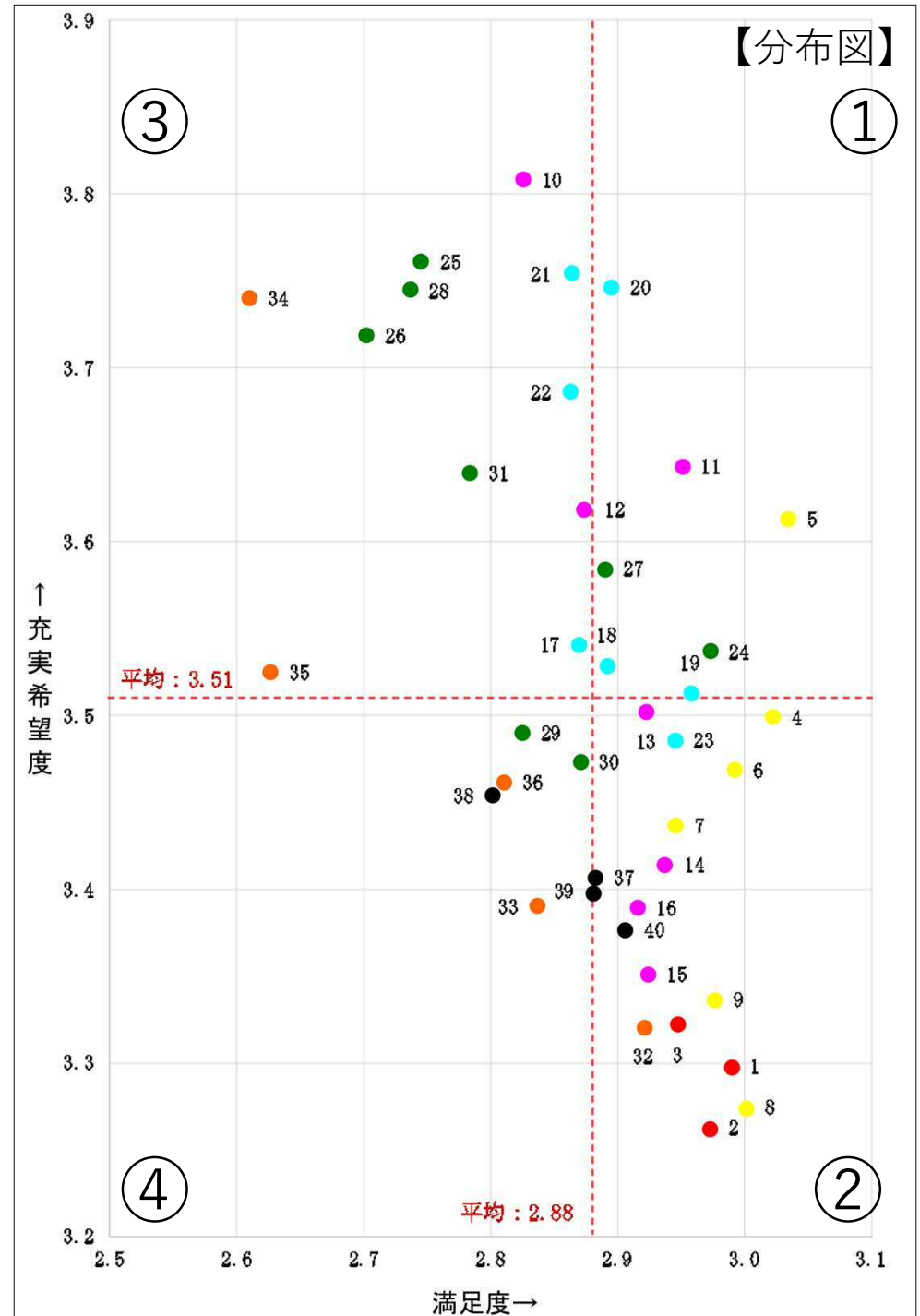
■ 図の見かた 1

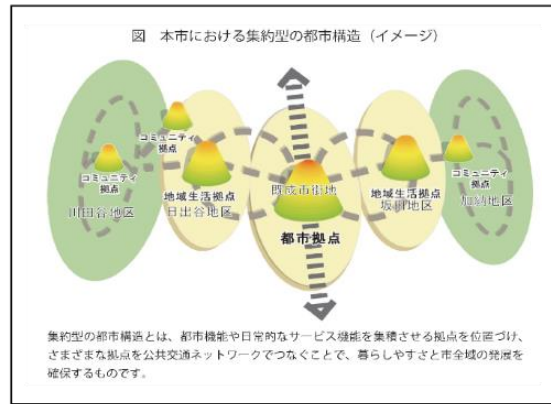
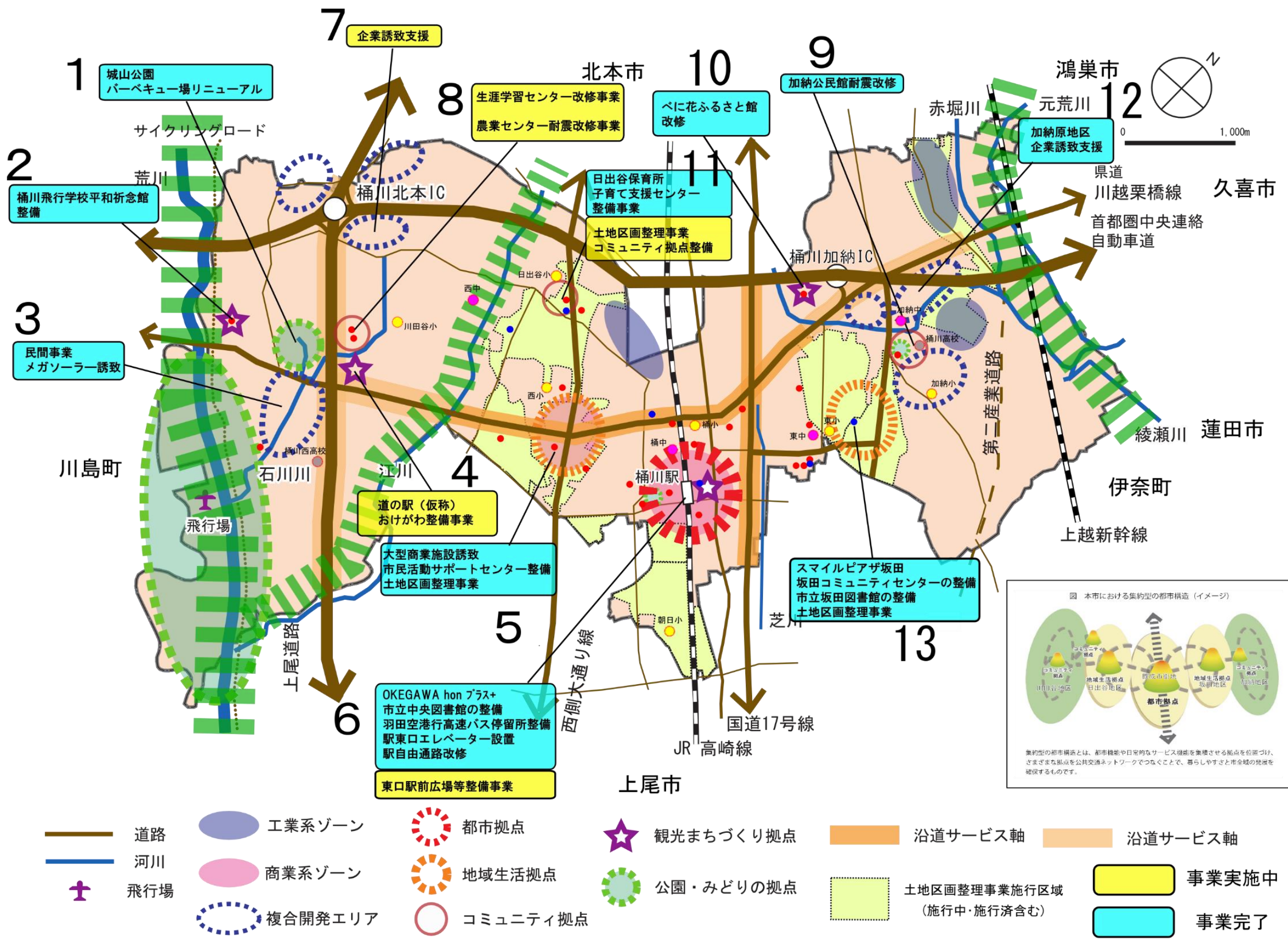


■ 図の見かた 2 (凡例)

右図中の番号 (No.) は、下表の施策を示します。

大綱	施策	No.	大綱	施策	No.
協働・ 参画	101 協働の推進	1	市民生活	405 防犯まちづくりの推進	21
	102 自主的活動の推進と交流促進	2		406 交通安全対策の推進	22
	103 男女共同参画社会の推進	3		407 安全な消費生活の確保	23
教育・ 文化	201 就学前教育の支援・充実	4	みどり ・ 都市 基盤	501 良好な住環境の創出と保全	24
	202 学校教育の充実	5		502 歩いて暮らせるまちの実現	25
	203 青少年の健全な育成	6		503 魅力あるまちづくりへの新たな取組	26
	204 生涯学習・生涯スポーツの充実	7		504 都市計画道路の整備	27
	205 人権教育・啓発と平和の推進	8		505 生活道路の整備・改善	28
	206 文化・芸術の振興・保存・継承	9		506 憩いの自然空間の保全と活用	29
健康・ 福祉	301 健康づくりの推進・医療の充実	10	産業	507 みどり空間の創出	30
	302 子育て支援の充実	11		508 治水対策の推進	31
	303 高齢者施策の充実	12		601 農業の振興	32
	304 障害者(児)支援の充実	13		602 工業の振興	33
	305 地域福祉の推進	14		603 商業の振興	34
	306 自立した生活への支援体制の充実	15		604 観光の振興	35
	307 ノーマライゼーションの推進	16		605 就労支援と勤労者福利厚生	36
市民生活	401 地球温暖化対策の推進	17	行財政運営	701 計画行政の推進	37
	402 資源循環型社会の構築	18		702 経営的な視点からの財政運営	38
	403 快適で衛生的な地域環境の創出	19		703 情報共有の推進	39
	404 防災対策の推進	20		704 広域行政の推進	40





## 1 転入者アンケート結果

### (1) 調査の目的

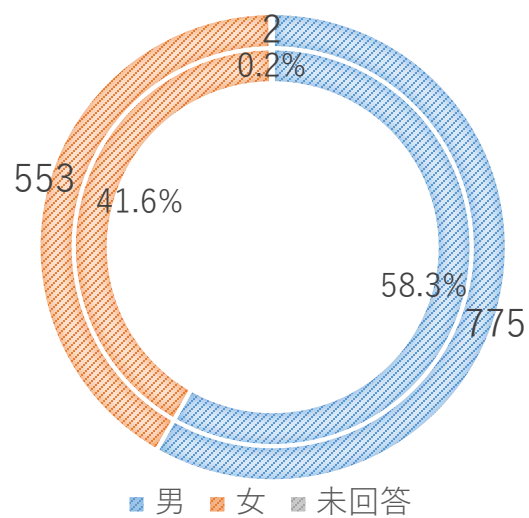
転入者の意見を今後の市政に反映するため。

### (2) 実施概要

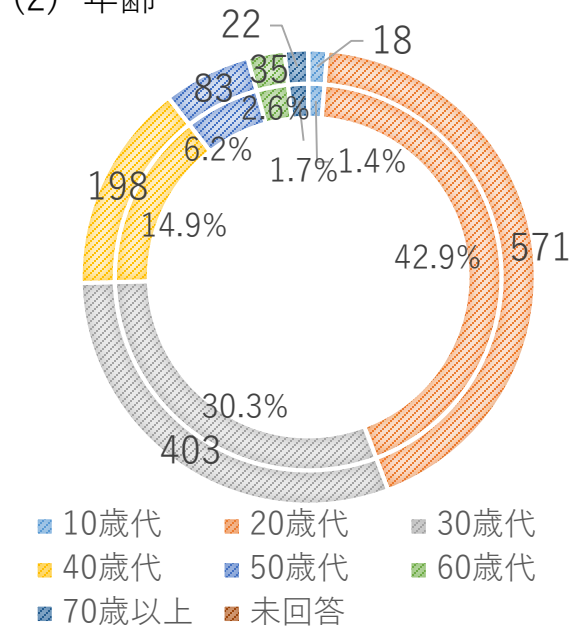
- ① 期 間 平成28年3月 ~ 令和4年2月1日時点
- ② 有効回答数 1,330件

## 2 回答者の属性

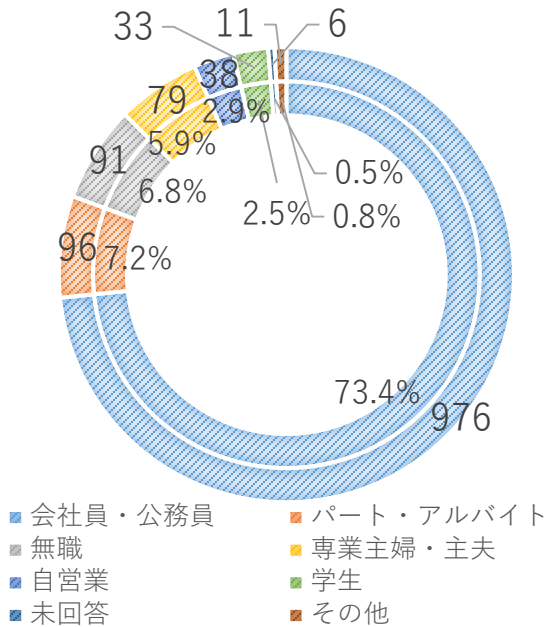
### (1) 男女比



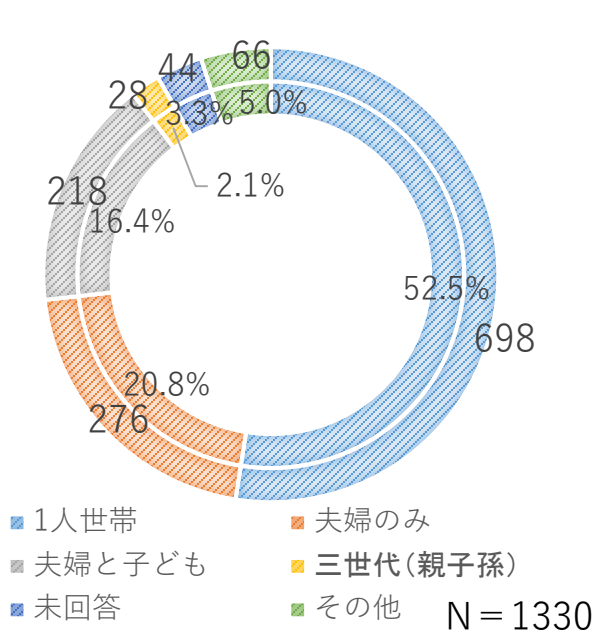
### (2) 年齢



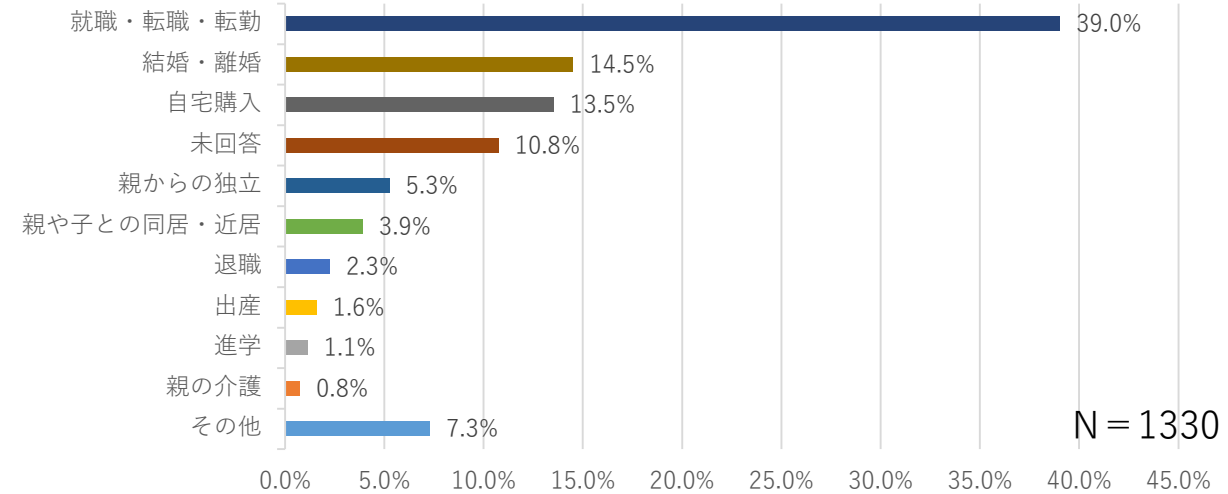
### (3) 職業



### (4) 家族構成

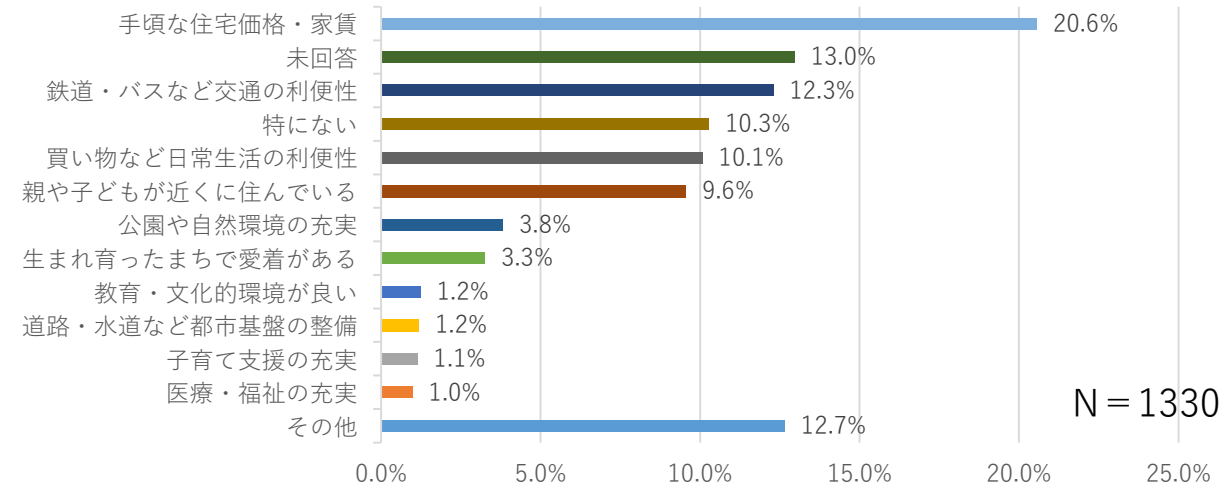


## 3 転入のきっかけ

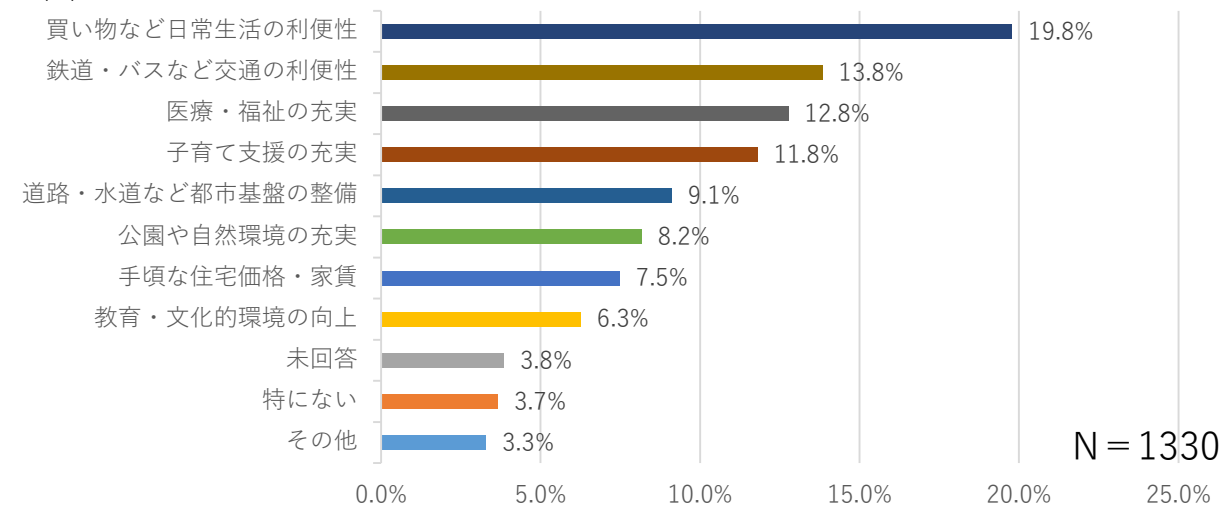


## 4 転入の理由と要望

### (1) 転入の理由



### (2) 要望





# 転入転出者アンケート結果概要

## 5 転出者アンケート結果

### (1) 調査の目的

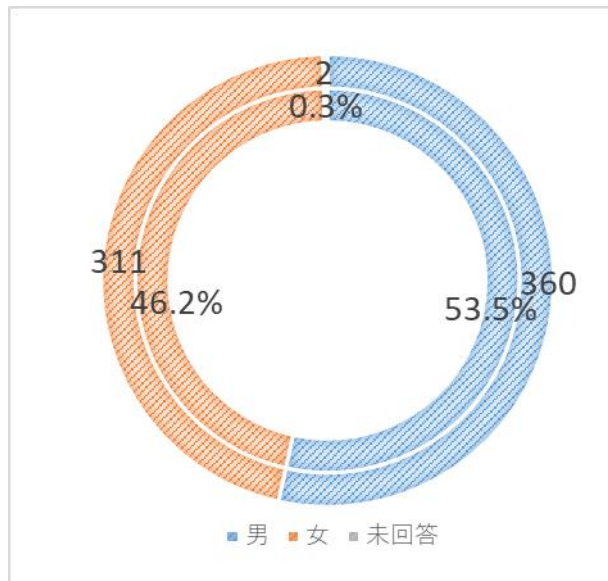
転出者の意見を今後の市政に反映するため。

### (2) 実施概要

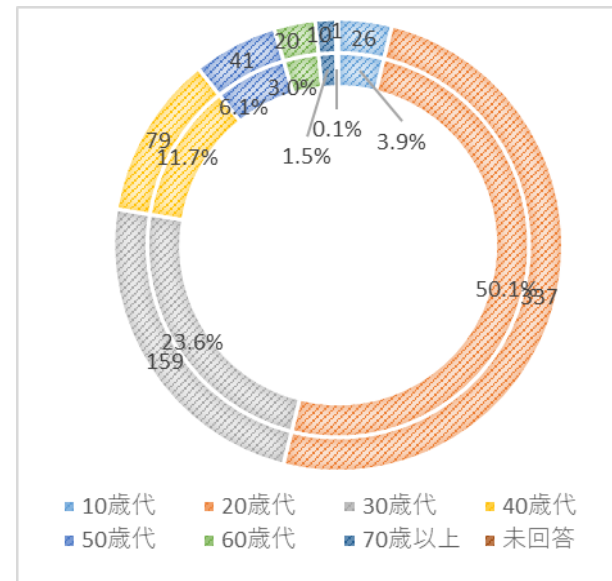
- ① 期間 平成28年3月 ~ 令和4年2月1日時点
- ② 有効回答数 673件

## 6 回答者の属性

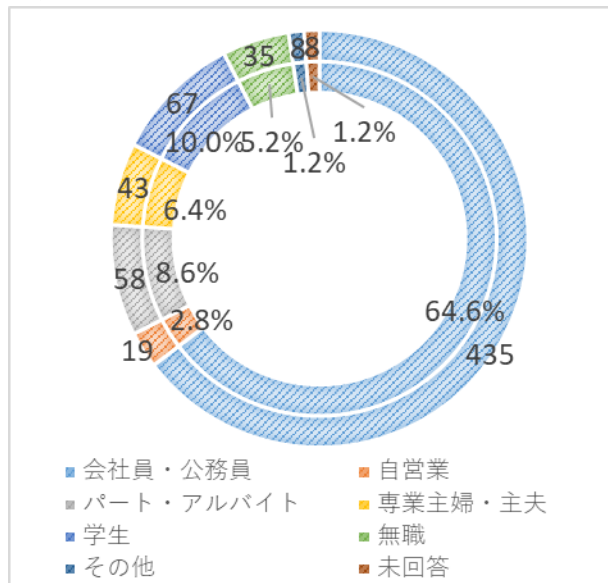
### (1) 男女比



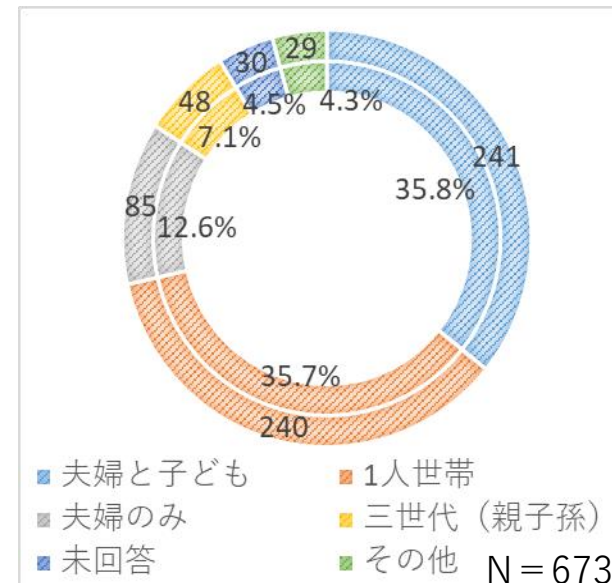
### (2) 年齢



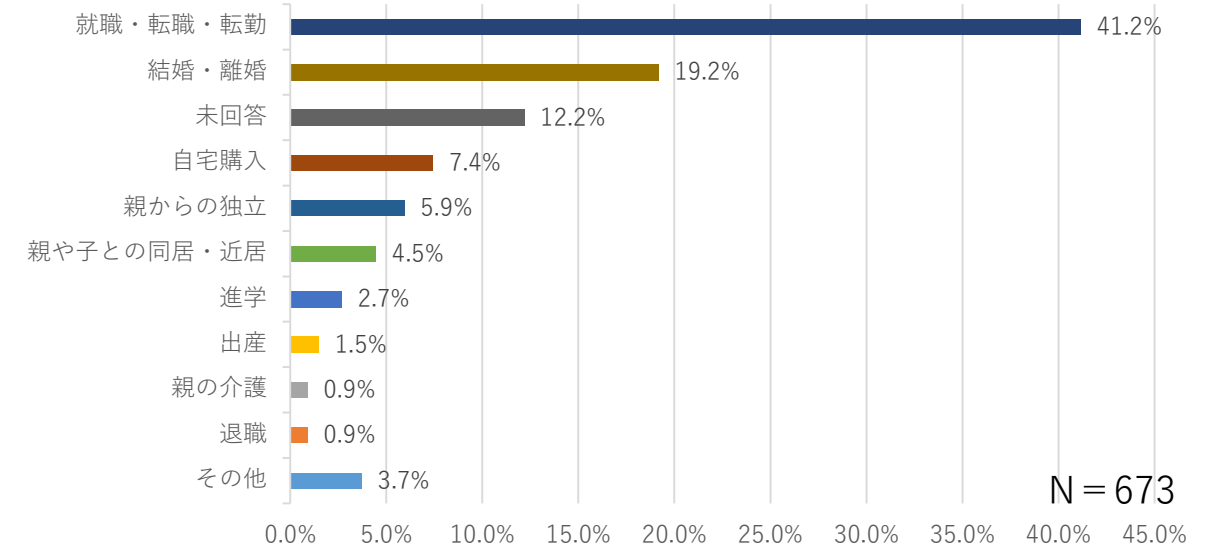
### (3) 職業



### (4) 家族構成

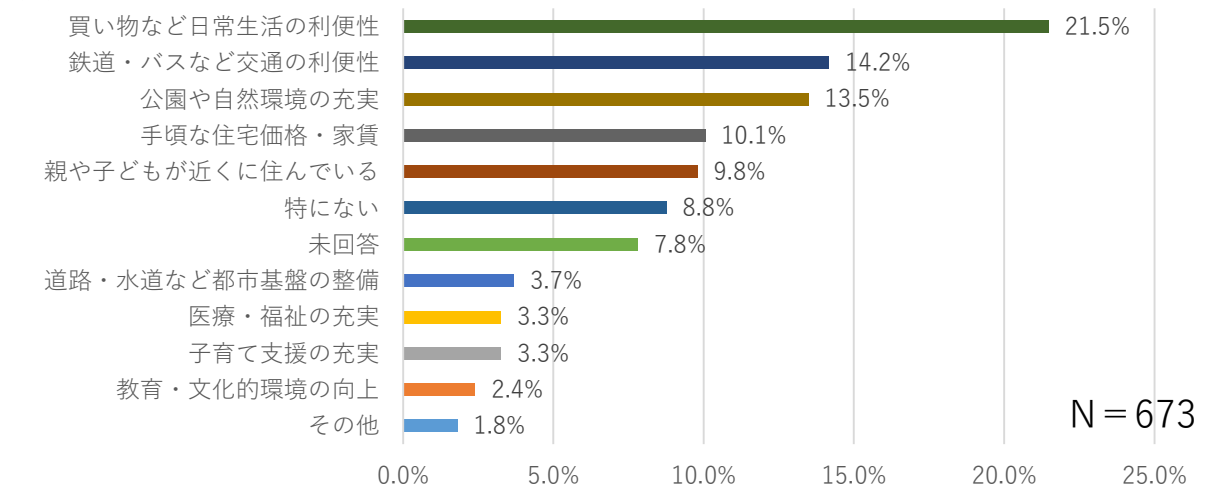


## 7 転出の理由

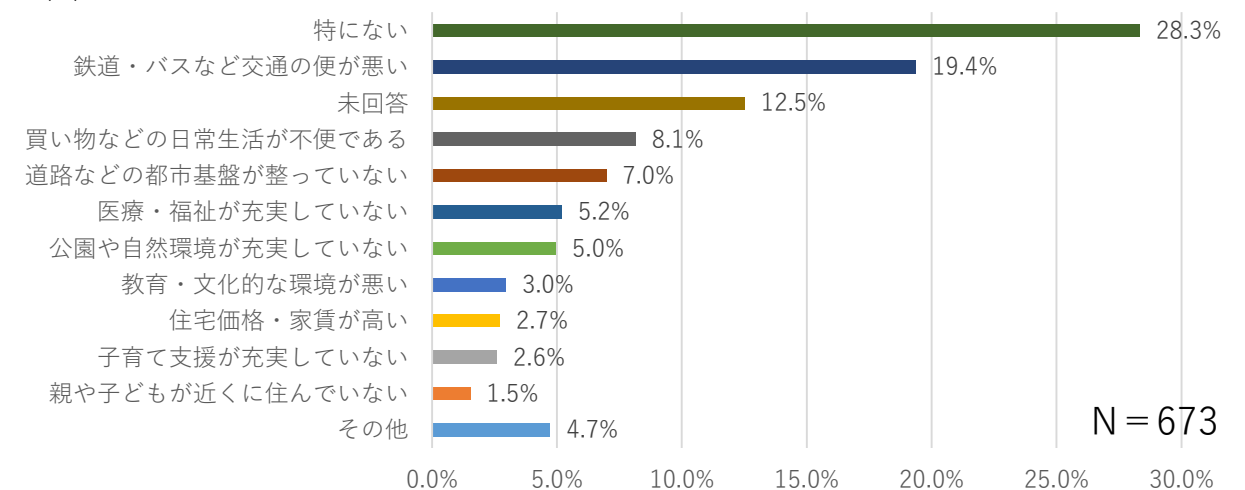


## 8 暮らしやすかった点・暮らしにくかった点

### (1) 暮らしやすかった点



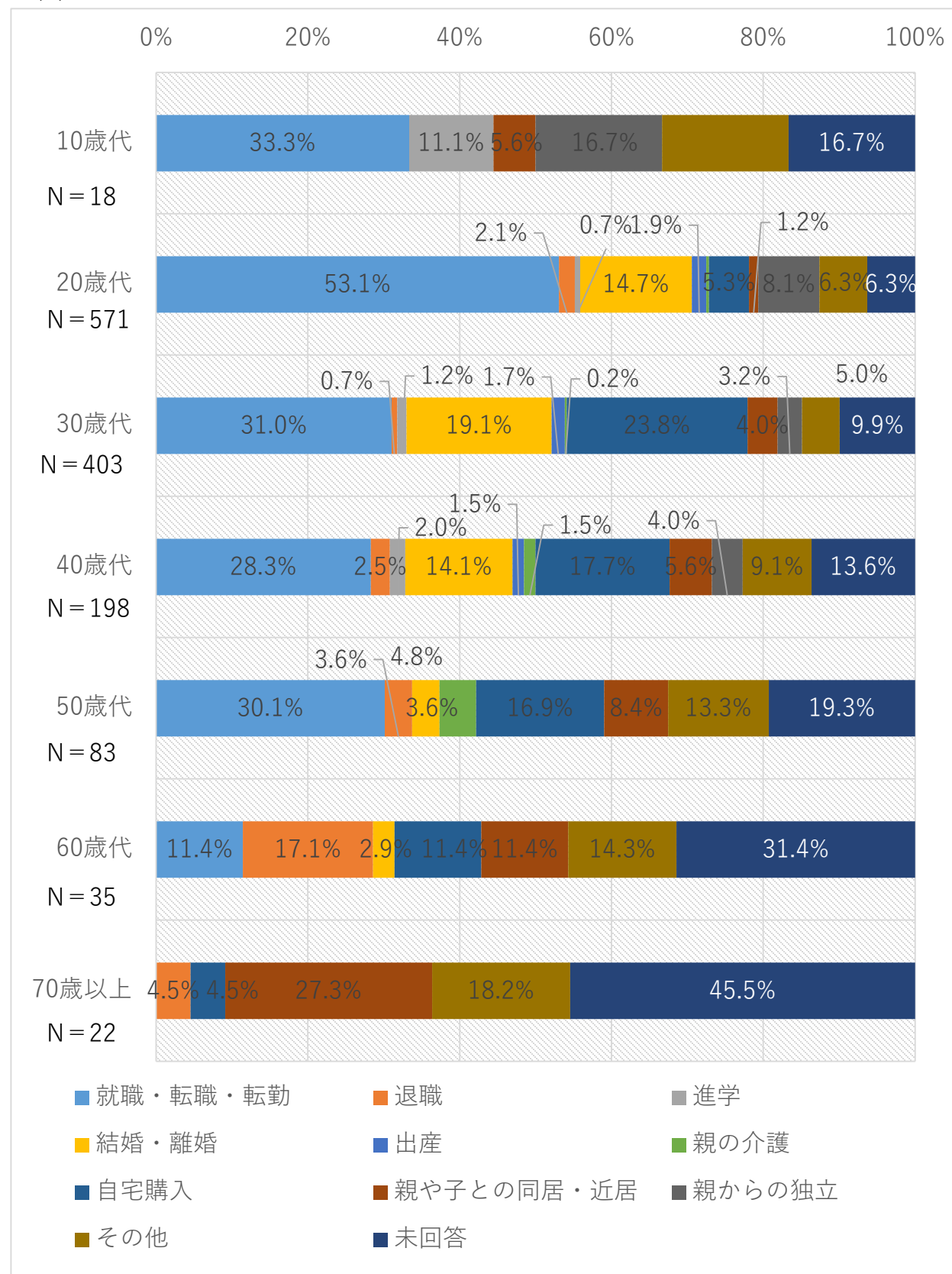
### (2) 暮らしにくかった点



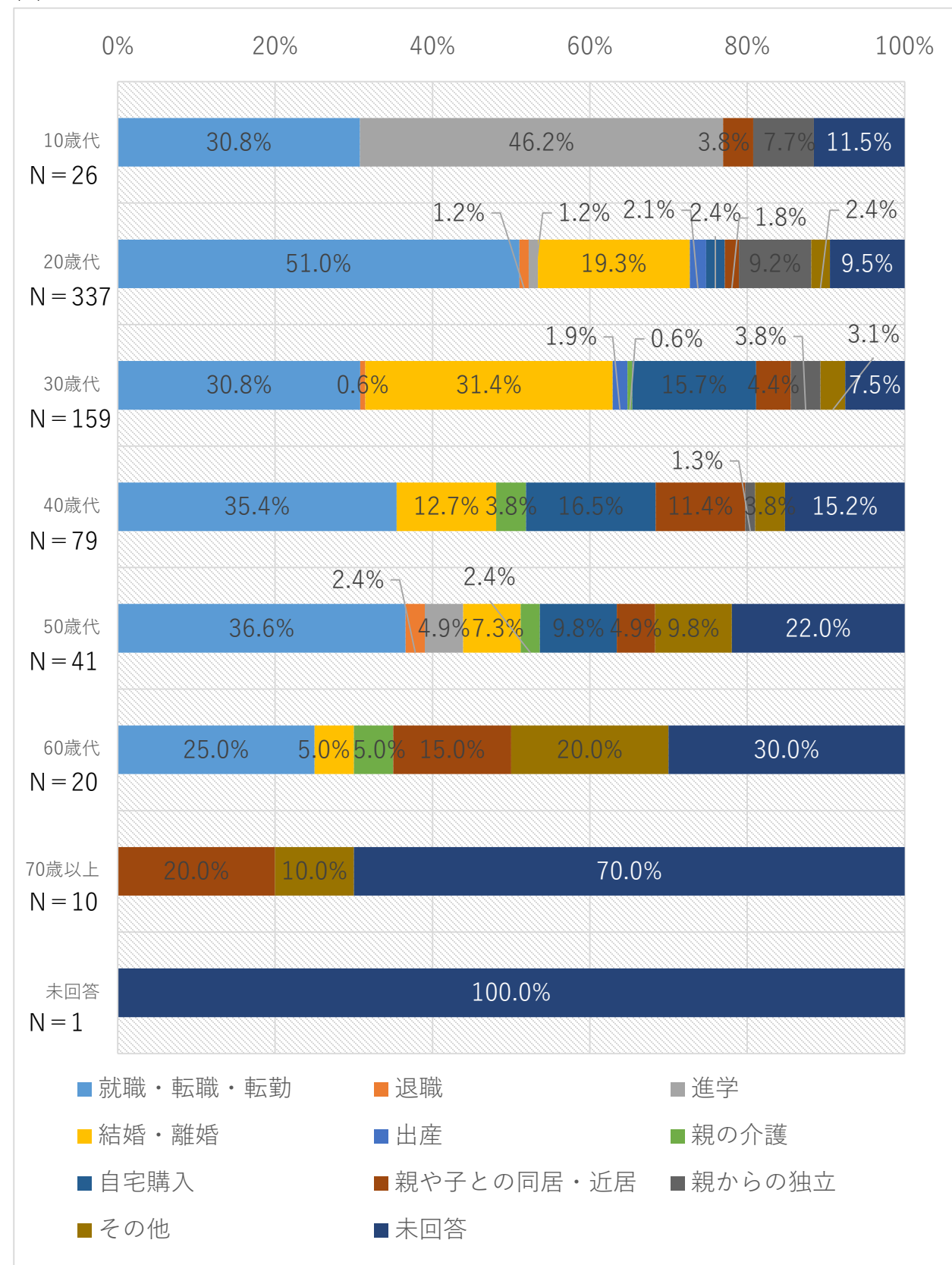
# 転入転出者アンケート結果概要

## 9 転入転出のきっかけ（世代別）

### (1) 転入



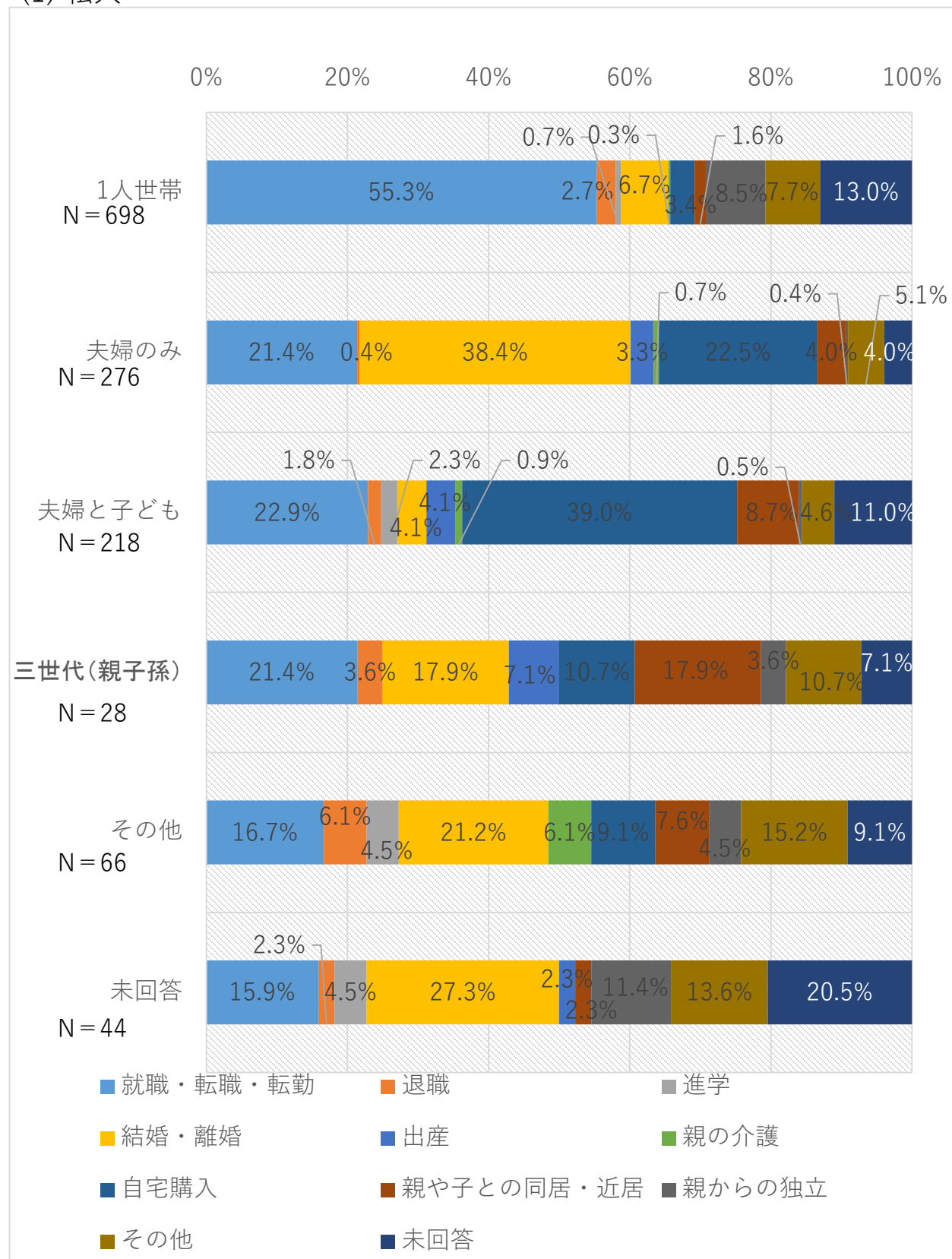
### (2) 転出



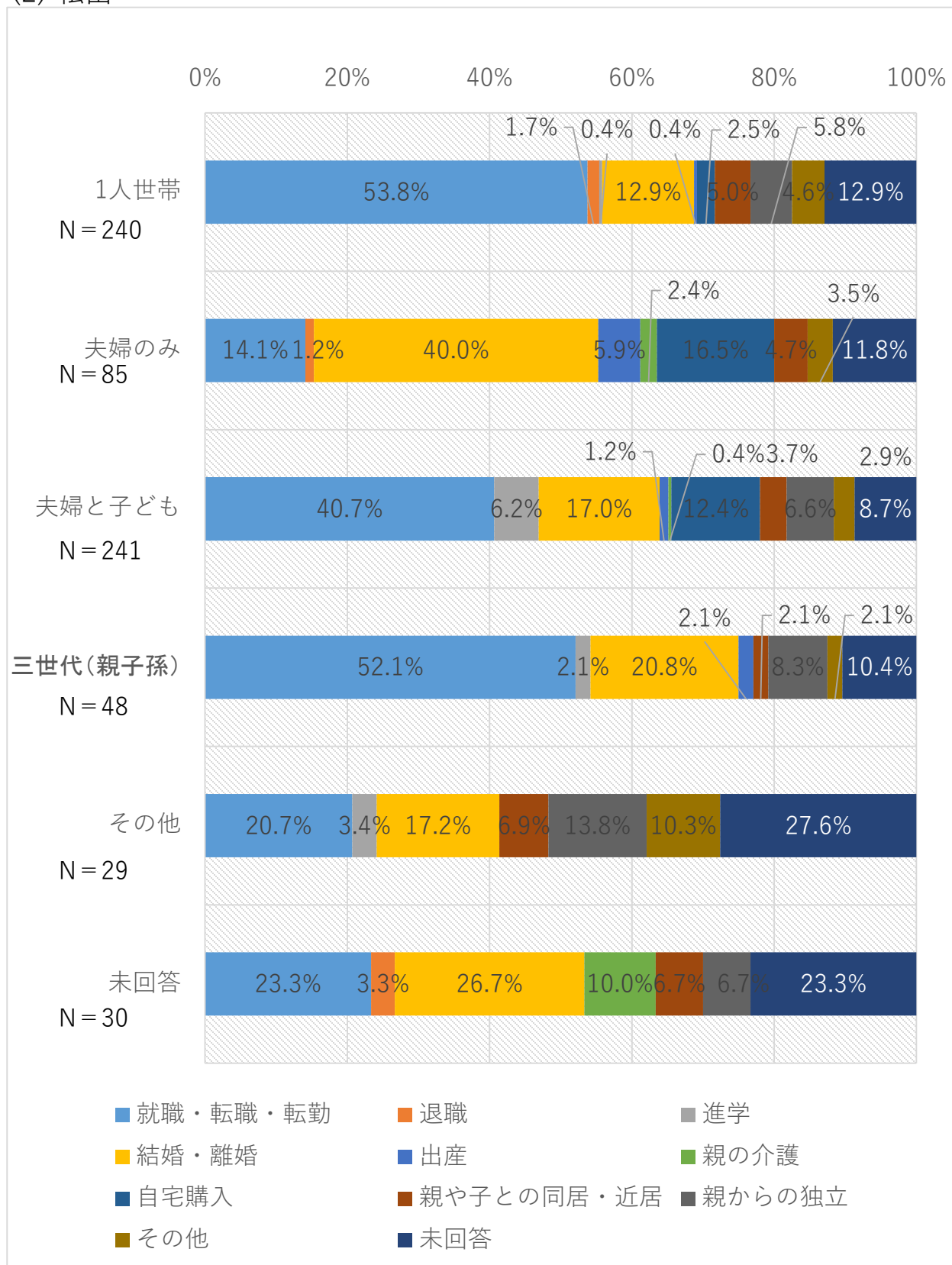
# 転入転出者アンケート結果概要

## 10 転入・転出の理由（世帯別）

### (1) 転入



### (2) 転出





## 2. 転入の理由について、お伺いします。

問9 転入することになった最も大きなきっかけは何ですか。(〇を1つつけてください。)

- |               |           |            |          |
|---------------|-----------|------------|----------|
| 1. 就職・転職・転勤   | 2. 退職     | 3. 進学      | 4. 結婚・離婚 |
| 5. 子どもが生まれるため | 6. 親の介護   | 7. 自宅の購入   |          |
| 8. 親や子との同居・近居 | 9. 親からの独立 | 10. その他( ) |          |

問10 桶川市に決められた理由は何ですか。(複数回答可)

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 子育て支援が充実している   | 2. 教育・文化的な環境が良い       |
| 3. 医療・福祉が充実している   | 4. 買い物などの日常生活が便利である   |
| 5. 鉄道・バスなど交通の便が良い | 6. 住宅価格・家賃が手頃である      |
| 7. 親や子どもが近くに住んでいる | 8. 生まれ育ったまちで愛着がある     |
| 9. 公園や自然環境が充実している | 10. 道路・水道など都市基盤が整っている |
| 11. 特にない          | 12. その他( )            |

問11 桶川市で暮らすにあたり、望まれることは何ですか。(複数回答可)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 子育て支援の充実      | 2. 教育・文化的環境の向上    |
| 3. 医療・福祉の充実      | 4. 買い物など日常生活の利便性  |
| 5. 鉄道・バスなど交通の利便性 | 6. 手頃な住宅価格・家賃     |
| 7. 公園や自然環境の充実    | 8. 道路・水道など都市基盤の整備 |
| 9. 特にない          |                   |
| 10. その他          |                   |

[ ]

アンケートのご記入が終わりましたら、  
回収ボックスに投函してください。

ご協力ありがとうございました。



桶川市マスコットキャラクター

「オケちゃん」

# 桶川市から転出される方へ

## —アンケート調査ご協力のお願い—

これまで桶川市にお住まいいただき、ありがとうございます。桶川市では転出される皆さまのご意見を今後の市政に役立てたいと考え、アンケート調査を実施しております。アンケートは無記名方式で統計的に処理し、個人が特定されることはありません。つきましては趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

桶川市長 小野 克典

～～ 差し支えない範囲で、お答えください ～～

(西暦) 20 年 月

1. あなたのことについて、お伺いします。該当する数字に ○をつけてください。

問1 性別

1. 男

2. 女

問2 年齢

1. 10歳代

2. 20歳代

3. 30歳代

4. 40歳代

5. 50歳代

6. 60歳代

7. 70歳以上

問3 職業

1. 会社員・公務員

2. 自営業

3. パート・アルバイト

4. 専業主婦・主夫

5. 学生

6. 無職

7. その他 ( )

問4 家族の構成

1. 1人世帯

2. 夫婦のみ

3. 夫婦と子ども

4. 三世帯(親・子・孫)

5. その他 ( )

問5 通勤・通学先

1. 桶川市

2. 北本市

3. 上尾市

4. さいたま市

5. 東京都内

6. 通勤・通学していない

7. その他 ( )

問6 転出前の住所(地区名だけでかまいません。)

桶川市 ( )

記入例：泉1丁目、坂田

問7 桶川に住んでいた期間

1. 1年未満

2. 2年から5年未満

3. 5年から10年未満

4. 11年以上

問8 転出先の住所

( ) 都・道・府・県 ( )

( ) 市・区・町・村

～～ 裏面に続きます ～～

処理欄：○—

## 2. 転出の理由について、お伺いします。

問9 転出することになった理由は何ですか。(〇を1つつけてください。)

- |               |           |             |          |
|---------------|-----------|-------------|----------|
| 1. 就職・転職・転勤   | 2. 退職     | 3. 進学       | 4. 結婚・離婚 |
| 5. 子どもが生まれるため | 6. 親の介護   | 7. 自宅の購入    |          |
| 8. 親や子との同居・近居 | 9. 親からの独立 | 10. その他 ( ) |          |

問10 桶川市にお住まいになって、暮らしやすかった点は何ですか。(複数回答可)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 子育て支援の充実       | 2. 教育・文化的環境の向上   |
| 3. 医療・福祉の充実       | 4. 買い物など日常生活の利便性 |
| 5. 鉄道・バスなど交通の利便性  | 6. 手頃な住宅価格・家賃    |
| 7. 親や子どもが近くに住んでいる | 8. 公園や自然環境の充実    |
| 9. 道路・水道など都市基盤の整備 | 10. 特にない         |
| 11. その他 ( )       |                  |

問11 桶川市にお住まいになって、暮らしにくかった点は何ですか。(複数回答可)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 子育て支援が充実していない    | 2. 教育・文化的な環境が悪い     |
| 3. 医療・福祉が充実していない    | 4. 買い物などの日常生活が不便である |
| 5. 鉄道・バスなど交通の便が悪い   | 6. 住宅価格・家賃が高い       |
| 7. 親や子どもが近くに住んでいない  | 8. 公園や自然環境が充実していない  |
| 9. 道路などの都市基盤が整っていない | 10. 特にない            |
| 11. その他 ( )         |                     |

問12 また桶川に住みたいと思いますか。

- |            |           |          |
|------------|-----------|----------|
| 1. 住みたいと思う | 2. 住みたくない | 3. わからない |
|------------|-----------|----------|

問13 もしまた桶川市に住むとしたら、どのようなきっかけが考えられますか。

- |               |           |          |          |
|---------------|-----------|----------|----------|
| 1. 就職・転職・転勤   | 2. 退職     | 3. 進学    | 4. 結婚・離婚 |
| 5. 子どもが生まれるため | 6. 親の介護   | 7. 自宅の購入 |          |
| 8. 親や子との同居・近居 | 9. 親からの独立 |          |          |
| 10. その他       |           |          |          |

[ ]
-----

アンケートのご記入が終わりましたら、回収ボックスに投函してください。

**ご協力ありがとうございました。**

---

# 桶川市第六次総合振興計画

## 市民意識調査

### クロス集計資料

---

## 市民意識調査の概要

調査地域	桶川市全域
調査対象	桶川市在住の満 18 歳以上の個人 (令和元年 12 月現在)
調査方法	郵送配付、郵送回収 インターネットによる回答
対象者数(配付数)	3,000 人
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
有効回答数	1,324 (郵送 1,082、インターネット 242)
有効回答率	44.1%
実施期間	令和元年 12 月 21 日～令和 2 年 1 月 17 日



問 あなたは、今住んでいる桶川市を住みよい所だと思いますか。  
 あてはまる番号1つに○印をおつけください。

**クロス／住みやすさ**

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえば住みよい」が最も高くなっている。

年齢で見ると、全年齢で「どちらかといえば住みよい」が最も高くなっている。

地区で見ると、加納地区では「どちらかといえば住みよい」及び「ふつう」が最も高くなっている。

その他の地区では「どちらかといえば住みよい」が最も高くなっている。

	調査数 (N)	住み よい	住 ど み ち ら か と い え ば	ふ つ う	住 ど み ち ら か と い え ば	住 み に く い	わ か ら な い	無 回 答	
全体	1,324 100.0%	203 15.3%	481 36.3%	310 23.4%	164 12.4%	32 2.4%	13 1.0%	121 9.1%	
性別	男性	567 100.0%	96 16.9%	188 33.2%	147 25.9%	78 13.8%	9 1.6%	4 0.7%	45 7.9%
	女性	700 100.0%	99 14.1%	272 38.9%	149 21.3%	81 11.6%	21 3.0%	8 1.1%	70 10.0%
	無回答	57 100.0%	8 14.0%	21 36.8%	14 24.6%	5 8.8%	2 3.5%	1 1.8%	6 10.5%
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	8 19.0%	18 42.9%	11 26.2%	2 4.8%	0 0.0%	1 2.4%	2 4.8%
	20歳～29歳	127 100.0%	19 15.0%	51 40.2%	38 29.9%	12 9.4%	3 2.4%	1 0.8%	3 2.4%
	30歳～39歳	166 100.0%	21 12.7%	61 36.7%	43 25.9%	25 15.1%	5 3.0%	1 0.6%	10 6.0%
	40歳～49歳	242 100.0%	36 14.9%	99 40.9%	50 20.7%	37 15.3%	3 1.2%	2 0.8%	15 6.2%
	50歳～59歳	187 100.0%	28 15.0%	68 36.4%	38 20.3%	30 16.0%	3 1.6%	3 1.6%	17 9.1%
	60歳～64歳	82 100.0%	13 15.9%	27 32.9%	17 20.7%	13 15.9%	2 2.4%	1 1.2%	9 11.0%
	65歳～69歳	98 100.0%	19 19.4%	32 32.7%	22 22.4%	12 12.2%	3 3.1%	0 0.0%	10 10.2%
	70歳～74歳	113 100.0%	15 13.3%	41 36.3%	27 23.9%	11 9.7%	0 0.0%	2 1.8%	17 15.0%
	75歳以上	218 100.0%	39 17.9%	64 29.4%	51 23.4%	18 8.3%	12 5.5%	1 0.5%	33 15.1%
無回答	49 100.0%	5 10.2%	20 40.8%	13 26.5%	4 8.2%	1 2.0%	1 2.0%	5 10.2%	
地区	駅東側周辺	217 100.0%	29 13.4%	76 35.0%	51 23.5%	33 15.2%	7 3.2%	2 0.9%	19 8.8%
	駅西側周辺	266 100.0%	48 18.0%	118 44.4%	49 18.4%	23 8.6%	6 2.3%	2 0.8%	20 7.5%
	日出谷地区	283 100.0%	49 17.3%	99 35.0%	64 22.6%	37 13.1%	8 2.8%	0 0.0%	26 9.2%
	坂田地区	266 100.0%	41 15.4%	96 36.1%	68 25.6%	29 10.9%	5 1.9%	2 0.8%	25 9.4%
	加納地区	127 100.0%	16 12.6%	39 30.7%	39 30.7%	13 10.2%	4 3.1%	2 1.6%	14 11.0%
	川田谷地区	109 100.0%	14 12.8%	31 28.4%	24 22.0%	25 22.9%	1 0.9%	4 3.7%	10 9.2%
	無回答	56 100.0%	6 10.7%	22 39.3%	15 26.8%	4 7.1%	1 1.8%	1 1.8%	7 12.5%

問 「1. 住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(〇は2つまで)

クロス／住みよい理由

性別で見ると、男性では「住み慣れている」、女性では「災害の心配が少ない」がそれぞれ最も高くなっている。

年齢で見ると、49歳以下では「住み慣れている」が、50歳以上では「災害の心配が少ない」が最も高くなっている。

地区で見ると、川田谷地区では「自然環境がよい」及び「住み慣れている」、加納地区では「住み慣れている」、駅東側周辺では「通勤、通学、買い物の便がよい」及び「災害の心配が少ない」、その他の地区では「災害の心配が少ない」が最も高くなっている。

	調査数 (N)	自然環境がよい	道路の状況がよい	都市基盤施設や公共施設が充実している	住宅(生活)環境がよい	通勤、通学、買い物の便がよい	子どもの教育環境がよい	地域コミュニティがよい	住み慣れている	騒音、振動、大気汚染等の公害がない	災害の心配が少ない	商売や事業がしやすい	防犯面で安全・安心である	高齢者に対する支援が充実している	医療機関が充実している	障害者に対する支援が充実している	文化活動の内容が充実している	その他	無回答	
全体	684	106	63	21	151	209	16	13	293	64	300	0	8	5	9	5	6	5	0	
性別	男性	284	44	32	11	71	82	2	2	120	27	118	0	1	5	4	4	3	5	0
	女性	371	59	29	9	76	118	13	9	159	36	167	0	6	5	1	2	0	0	
	無回答	29	3	2	1	4	9	1	2	14	1	15	0	1	0	0	1	0	0	
		100.0%	15.5%	9.2%	3.1%	22.1%	30.6%	2.3%	1.9%	42.8%	9.4%	43.9%	0.0%	1.2%	0.7%	1.3%	0.7%	0.9%	0.7%	0.0%
年齢	18歳～19歳	26	5	0	3	11	0	1	16	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	
	20歳～29歳	70	9	6	6	9	22	0	1	45	6	21	0	0	1	0	1	1	0	
	30歳～39歳	82	11	10	2	28	27	0	1	37	3	23	0	3	3	1	0	2	0	
	40歳～49歳	135	19	21	3	34	41	12	1	54	13	49	0	1	0	3	1	0	1	
	50歳～59歳	96	13	12	1	24	31	2	2	37	6	42	0	0	2	0	1	1	0	
	60歳～64歳	40	7	0	2	7	15	0	1	18	6	20	0	0	1	0	0	0	0	
	65歳～69歳	51	14	4	0	14	9	1	1	17	5	28	0	1	1	1	1	0	0	
	70歳～74歳	56	10	2	2	10	15	0	1	18	4	40	0	0	0	0	0	1	0	
	75歳以上	103	16	7	1	21	30	0	2	39	18	57	0	2	1	1	1	2	1	
	無回答	25	2	1	1	3	8	1	2	12	2	12	0	1	0	0	0	1	0	
地区	駅東側周辺	105	8	6	2	22	47	4	4	42	11	47	0	2	0	0	1	1	0	
	駅西側周辺	166	16	9	8	41	63	0	2	66	15	78	0	1	1	2	0	4	1	
	日出谷地区	148	32	22	2	32	30	4	2	63	15	64	0	0	2	3	2	0	1	
	坂田地区	137	12	14	6	37	50	5	1	56	10	59	0	2	0	2	0	0	0	
	加納地区	55	11	5	1	12	7	0	1	29	7	27	0	1	2	1	0	0	2	
	川田谷地区	45	24	6	1	4	2	2	2	24	4	12	0	1	0	1	1	0	0	
	無回答	28	3	1	1	3	10	1	2	13	2	13	0	1	0	0	0	1	0	
		100.0%	10.7%	3.6%	3.6%	10.7%	35.7%	3.6%	7.1%	46.4%	7.1%	46.4%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	

問 「4. どちらかといえば住みにくい」「5. 住みにくい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(〇は2 つまで)

クロス/住みにくい理由

性別で見ると、男性は「道路の状況がよくない」が、女性は「通勤、通学、買い物に不便」が、それぞれ最も高くなっている。

年齢で見ると、49歳以下では「通勤、通学、買い物に不便」、50歳～59歳では「通勤、通学、買い物に不便」及び「医療機関が充実していない」、60歳～64歳では「道路の状況がよくない」及び「都市基盤施設や公共施設が充実していない」、65歳～69歳、75歳以上では「医療機関が充実していない」、70歳～74歳では「高齢者に対する支援が充実していない」が最も高くなっている。

地区で見ると、駅東側周辺、駅西側周辺では「道路の状況がよくない」、日出谷地区、川田谷地区では「通勤、通学、買い物に不便」、坂田地区、加納地区では「医療機関が充実していない」が最も高くなっている。

	調査数(N)	自然環境がよくない	道路の状況がよくない	都市基盤施設や公共施設が充実していない	住宅(生活)環境がよくない	通勤、通学、買い物に不便	子どもの教育環境がよくない	地域コミュニティがよくない	住み慣れていない	騒音、振動、大気汚染等の公害がある	災害が心配である	商売や事業がしにくい	防犯面で不安を感じる	高齢者に対する支援が充実していない	医療機関が充実していない	障害者に対する支援が充実していない	文化活動の内容が充実していない	その他	無回答
全体	196	7	65	55	8	75	16	5	2	9	8	5	13	16	65	7	4	17	0
性別	男性	87	3	30	28	7	28	4	4	2	2	4	4	9	28	5	2	6	0
	女性	102	3	33	26	1	45	11	1	2	6	1	9	4	36	1	2	10	0
	無回答	7	1	2	1	0	2	1	0	0	1	0	0	3	1	1	0	1	0
年齢	18歳～19歳	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	20歳～29歳	15	0	4	7	1	8	1	0	0	1	1	4	0	2	1	0	0	0
	30歳～39歳	30	1	10	5	1	11	7	0	2	3	1	2	1	8	0	1	3	0
	40歳～49歳	40	2	13	7	3	17	4	2	0	1	3	1	4	12	3	0	4	0
	50歳～59歳	33	0	12	11	1	15	0	0	0	2	0	1	0	15	1	0	4	0
	60歳～64歳	15	1	6	6	0	4	0	1	0	0	0	1	2	5	1	1	0	0
	65歳～69歳	15	1	3	5	0	4	1	0	0	2	1	0	0	7	0	0	2	0
	70歳～74歳	11	0	3	2	0	3	1	1	0	0	1	0	0	5	3	1	0	0
	75歳以上	30	2	11	11	2	9	0	1	0	1	1	0	0	6	12	0	1	2
	無回答	5	0	3	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
地区	駅東側周辺	40	1	21	14	3	5	5	1	0	2	0	2	7	9	3	0	5	0
	駅西側周辺	29	0	10	8	2	7	4	0	1	2	0	2	3	9	1	4	3	0
	日出谷地区	45	2	8	17	1	21	2	1	0	2	2	2	3	18	2	0	2	0
	坂田地区	34	4	13	8	1	10	3	2	1	1	2	3	0	14	1	0	2	0
	加納地区	17	0	4	5	0	7	0	1	0	1	0	0	1	8	0	0	2	0
	川田谷地区	26	0	6	2	1	23	0	0	0	1	5	2	2	6	0	0	2	0
	無回答	5	0	3	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0

問 あなたは、今後も桶川市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

**クロス／定住意向**

性別で見ると、男性・女性ともに「住み続けるつもりでいる」がそれぞれ過半数を占め、最も高くなっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳では「事情が許せば住み続けたい」、その他の年齢では「住み続けるつもりでいる」が最も高くなっており、次いで18歳～19歳、20歳～29歳では「住み続けるつもりでいる」、60歳～64歳、65歳～69歳では「事情が許せば転出したい」、その他の年齢では「事情が許せば住み続けたい」となっている。

地区で見ると、全体を通じて「住み続けるつもりでいる」が最も高く、次いで川田谷地区では「事情が許せば転出したい」、駅東側周辺では「事情が許せば住み続けたい」及び「事情が許せば転出したい」、その他の地区では「事情が許せば住み続けたい」となっている。

	調査数 (N)	住み続けるつもり でいる	事情が許せば住み 続けたい	事情が許せば転 出したい	転出するつもり でいる	無回答	
全体	1,324 100.0%	778 58.8%	291 22.0%	193 14.6%	35 2.6%	27 2.0%	
性別	男性	567 100.0%	349 61.6%	131 23.1%	70 12.3%	10 1.8%	7 1.2%
	女性	700 100.0%	403 57.6%	147 21.0%	119 17.0%	22 3.1%	9 1.3%
	無回答	57 100.0%	26 45.6%	13 22.8%	4 7.0%	3 5.3%	11 19.3%
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	17 40.5%	20 47.6%	2 4.8%	3 7.1%	0 0.0%
	20歳～29歳	127 100.0%	51 40.2%	52 40.9%	14 11.0%	9 7.1%	1 0.8%
	30歳～39歳	166 100.0%	88 53.0%	38 22.9%	34 20.5%	6 3.6%	0 0.0%
	40歳～49歳	242 100.0%	127 52.5%	58 24.0%	48 19.8%	7 2.9%	2 0.8%
	50歳～59歳	187 100.0%	105 56.1%	43 23.0%	34 18.2%	3 1.6%	2 1.1%
	60歳～64歳	82 100.0%	59 72.0%	10 12.2%	11 13.4%	1 1.2%	1 1.2%
	65歳～69歳	98 100.0%	70 71.4%	9 9.2%	16 16.3%	0 0.0%	3 3.1%
	70歳～74歳	113 100.0%	80 70.8%	18 15.9%	10 8.8%	2 1.8%	3 2.7%
	75歳以上	218 100.0%	160 73.4%	31 14.2%	20 9.2%	1 0.5%	6 2.8%
	無回答	49 100.0%	21 42.9%	12 24.5%	4 8.2%	3 6.1%	9 18.4%
地区	駅東側周辺	217 100.0%	119 54.8%	45 20.7%	45 20.7%	5 2.3%	3 1.4%
	駅西側周辺	266 100.0%	161 60.5%	67 25.2%	28 10.5%	8 3.0%	2 0.8%
	日出谷地区	283 100.0%	193 68.2%	49 17.3%	30 10.6%	8 2.8%	3 1.1%
	坂田地区	266 100.0%	147 55.3%	70 26.3%	39 14.7%	7 2.6%	3 1.1%
	加納地区	127 100.0%	70 55.1%	28 22.0%	22 17.3%	2 1.6%	5 3.9%
	川田谷地区	109 100.0%	64 58.7%	16 14.7%	25 22.9%	2 1.8%	2 1.8%
	無回答	56 100.0%	24 42.9%	16 28.6%	4 7.1%	3 5.4%	9 16.1%

問 あなたは、次に示す桶川市の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○印をおつけください。

【年齢】

生活環境の満足度について最も点数が高いのは、18歳～19歳では「図書館や公民館などにおける社会教育活動」及び「広報「おけがわ」の内容」、20歳～29歳、65歳～69歳では「鉄道の利用」、30歳～39歳では「図書館や公民館などにおける社会教育活動」及び「みどりの豊かさなどの自然環境」、40歳～49歳、50歳～59歳では「みどりの豊かさなどの自然環境」、60歳～64歳では「空気のきれいさ」、70歳～74歳、75歳以上では「家庭ゴミの収集・処理」となっている。第2位は、20歳～29歳、50歳～59歳では「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」、40歳～49歳では「音や振動のない静けさ」、60歳～64歳では「みどりの豊かさなどの自然環境」、65歳～69歳では「空気のきれいさ」、70歳～74歳、75歳以上では「窓口・電話口での職員の対応」となっている。

また、最も点数が低いのは、18歳～19歳では「バスの利用（市内循環バス「べにばなGO）」、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳では「防犯灯などの防犯施設」、50歳～59歳、60歳～64歳では「病院・診療所などの医療機関」、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳以上では「国際交流の推進」となっている。第2位は、18歳～19歳、20歳～29歳では「国際交流の推進」、30歳～39歳、75歳以上では「グラウンドなどのスポーツ施設」、40歳～49歳では「バスの利用（路線バス）」、50歳～59歳では「防犯灯などの防犯施設」、60歳～64歳では「道路の整備状況」、65歳～69歳では「病院・診療所などの医療機関」及び「市民意見・要望の市政への反映」、70～74歳では「子どもの遊び場や公園など」となっている。

分野	項目	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上					
地域社会	近所づきあいや地域のつながり	1.10	0.44	0.27	0.39	0.37	0.48	0.32	0.50	0.72					
	自治会・町内会等の地域活動	0.54	0.21	-0.10	-0.04	0.15	0.25	0.09	0.28	0.49					
	子どもを育てる場所として	0.80	0.48	0.23	0.32	0.39	0.36	0.47	0.30	0.35					
	高齢者が生活する場所として	0.54	0.25	-0.12	-0.15	-0.32	-0.54	-0.13	-0.04	-0.13					
教育・文化	図書館や公民館などにおける社会教育活動	1	1.19	0.76	1	0.60	0.43	0.38	0.05	0.26	0.28	0.43			
	文化・芸術活動	0.62	0.13	-0.01	0.04	-0.02	-0.31	-0.23	-0.04	-0.08					
	スポーツ・レクリエーション活動	0.33	-0.02	-0.12	-0.04	-0.10	-0.23	-0.22	-0.13	-0.13					
	生涯学習の機会・内容	0.10	0.08	-0.17	-0.16	-0.29	-0.31	-0.28	-0.28	-0.23					
	国際交流の推進	②	-0.29	②	-0.56	-0.60	-0.61	-0.65	③	-0.74	①	-0.59	①	-0.91	①
保健医療	健康診断などの保健活動	0.90	0.51	-0.27	0.05	-0.15	0.15	0.59	0.69	1.09					
	病院・診療所などの医療機関	1.02	0.28	-0.27	-0.56	①	-0.94	①	-1.04	②	-0.57	-0.22	-0.05		
	保育所・放課後児童クラブなどにおける子育て支援サービス	1.05	0.26	-0.10	0.01	-0.12	-0.03	-0.18	0.04	0.04					
	高齢者福祉サービス	0.57	0.03	-0.10	-0.18	-0.48	-0.39	-0.25	-0.22	-0.18					
	障害者福祉サービス	0.52	0.03	-0.25	-0.20	-0.43	-0.47	-0.23	-0.13	-0.30					
衛生	家庭ゴミの収集・処理	1.05	0.55	-0.38	0.12	-0.05	0.18	0.73	1	1.22	1	1.36			
	し尿や家庭雑排水の処理	0.86	3	0.84	0.23	0.41	0.07	0.03	0.47	0.73	3	1.12			
安全性	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	0.48	0.22	-0.58	-0.24	-0.45	-0.62	-0.42	-0.18	-0.08					
	地震や風水害などへの災害対策	0.43	0.05	-0.40	-0.22	-0.60	-0.60	-0.34	-0.27	-0.47					
	防犯灯などの防犯施設	③	-0.24	①	-0.68	①	-1.20	①	-0.84	②	-0.91	-0.62	-0.56	-0.42	-0.20
利便性	バスの利用（市内循環バス「べにばなGO）」	①	-0.38	-0.03	-0.68	③	-0.65	③	-0.77	-0.61	-0.49	-0.20	-0.14		
	バスの利用（路線バス）	-0.14	0.02	-0.41	②	-0.66	-0.75	-0.56	-0.25	-0.29	-0.03				
	鉄道の利用	1.05	1	0.97	0.12	0.22	0.11	0.13	1	0.92	0.69	1.04			
快適さ	買い物・金融機関などの利用	0.81	0.62	0.07	0.12	0.15	-0.05	0.11	0.61	0.58					
	みどりの豊かさなどの自然環境	1.00	0.58	1	0.60	1	0.79	1	0.61	2	0.69	0.40	0.30	0.52	
	川などの水辺と親しめる環境	0.14	-0.03	-0.30	-0.20	-0.19	-0.33	-0.41	③	-0.52	-0.60				
	音や振動のない静けさ	0.71	0.63	3	0.49	2	0.66	0.20	0.37	0.46	0.41	0.50			
	空気のきれいさ	0.62	0.48	0.18	3	0.61	0.37	1	0.72	2	0.86	0.72	0.77		
公共施設等	保育所や幼稚園などの施設	0.81	0.39	0.32	0.46	0.00	0.15	0.18	0.28	0.35					
	小学校や中学校などの施設	3	1.10	0.63	0.23	0.36	0.07	0.33	0.31	0.33	0.28				
	子どもの遊び場や公園など	0.43	-0.29	③	-0.72	-0.30	-0.43	-0.37	-0.26	②	-0.61	-0.48			
	道路の整備状況	0.33	-0.02	-0.54	-0.35	-0.59	②	-0.99	-0.27	-0.51	③	-0.68			
	下水道の整備状況	0.00	0.58	0.06	0.21	-0.23	-0.35	0.19	0.16	0.37					
	趣味や学習のための施設	0.14	-0.29	-0.38	-0.32	-0.58	-0.48	-0.32	-0.18	-0.33					
	グラウンドなどのスポーツ施設	0.14	③	-0.38	②	-0.75	-0.50	-0.69	-0.63	-0.44	-0.51	②	-0.73		
市政	窓口・電話口での職員の対応	0.57	0.60	0.18	0.45	0.43	0.49	0.81	2	1.16	2	1.29			
	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	0.95	2	0.95	0.30	0.53	2	0.59	3	0.53	0.74	3	0.87	0.94	
	広報「おけがわ」の内容	1	1.19	0.81	0.25	0.53	3	0.51	0.48	3	0.84	0.73	0.95		
	市のホームページの内容	0.57	0.50	-0.05	0.16	0.10	0.03	0.30	0.37	0.50					
	行政のスリム化	0.39	0.29	-0.34	-0.18	-0.31	-0.36	-0.36	-0.32	-0.17	-0.27				
	市民意見・要望の市政への反映	0.34	-0.06	-0.29	-0.46	-0.36	-0.36	②	-0.57	-0.21	-0.37				

※数字は点数の高い順位、丸数字は点数の低い順位を示す。

※少数第3位を四捨五入しているため、数値が同じでも順位が異なる場合がある。

## 【地区】

生活環境の満足度について最も点数が高いのは、駅東側周辺では「鉄道の利用」、駅西側周辺では「買い物・金融機関などの利用」、日出谷地区、川田谷地区では「みどりの豊かさなどの自然環境」、坂田地区では「し尿や家庭雑排水の処理」、加納地区では「窓口・電話口での職員の対応」となっている。第2位は、駅東側周辺では「窓口・電話口での職員の対応」、駅西側周辺では「鉄道の利用」、日出谷地区では「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」、坂田地区では「家庭ゴミの収集・処理」、加納地区、川田谷地区では「空気のきれいさ」となっている。

また、最も点数が低いのは、駅東側周辺では「子どもの遊び場や公園など」、駅西側周辺、坂田地区では「国際交流の推進」、日出谷地区では「防犯灯などの防犯施設」、加納地区では「道路の整備状況」、川田谷地区では「下水道の整備状況」となっている。第2位は、駅東側周辺では「道路の整備状況」、駅西側周辺では「バスの利用（路線バス）」、日出谷地区では「バスの利用（市内循環バス「べにばなGO）」」、坂田地区では「グラウンドなどのスポーツ施設」、加納地区、川田谷地区では「防犯灯などの防犯施設」となっている。

分野	項目	駅東側周辺	駅西側周辺	日出谷地区	坂田地区	加納地区	川田谷地区				
地域社会	近所づきあいや地域のつながり	0.41	0.50	0.43	0.48	0.45	0.49				
	自治会・町内会等の地域活動	0.23	0.29	0.10	0.22	0.10	-0.17				
	子どもを育てる場所として	0.14	0.49	0.36	0.57	0.12	0.37				
	高齢者が生活する場所として	-0.10	0.12	-0.24	0.00	-0.10	-0.73				
教育・文化	図書館や公民館などにおける社会教育活動	0.37	0.71	0.28	0.55	0.40	0.30				
	文化・芸術活動	-0.06	0.06	0.05	-0.13	0.00	0.02				
	スポーツ・レクリエーション活動	-0.23	-0.04	-0.05	-0.20	-0.03	0.16				
	生涯学習の機会・内容	-0.29	-0.19	-0.10	-0.25	-0.14	-0.08				
	国際交流の推進	③	①	③	①	-0.79	-0.36	-0.73			
保健医療	健康診断などの保健活動	0.35	0.36	0.20	0.26	0.53	0.33				
	病院・診療所などの医療機関	-0.39	-0.17	-0.44	-0.42	-0.41	-0.38				
	保育所・放課後児童クラブなどにおける子育て支援サービス	-0.07	0.07	0.05	0.03	0.05	0.02				
	高齢者福祉サービス	-0.24	-0.13	-0.23	-0.13	-0.32	-0.10				
衛生	障害者福祉サービス	-0.39	-0.17	-0.16	-0.19	-0.19	-0.19				
	家庭ゴミの収集・処理	0.62	0.51	0.29	<b>2</b>	0.73	0.21	0.06			
安全性	し尿や家庭雑排水の処理	0.67	0.74	0.51	<b>1</b>	0.79	-0.07	-0.40			
	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	-0.32	-0.03	-0.20	-0.34	-0.40	-0.40	-0.44			
	地震や風水害などへの災害対策	-0.41	-0.04	-0.41	-0.25	-0.18	③	-1.03			
利便性	防犯灯などの防犯施設	-0.76	-0.45	①	-0.78	③	②	-0.73	②	-1.10	
	バスの利用（市内循環バス「べにばなGO）」	-0.14	③	-0.49	-0.73	-0.51	-0.21	-0.21	-0.63		
	バスの利用（路線バス）	-0.24	②	-0.53	-0.08	-0.40	-0.54	-0.91			
快適さ	鉄道の利用	<b>1</b>	0.82	<b>2</b>	0.86	0.51	0.32	0.07	-0.04		
	買い物・金融機関などの利用	0.42	<b>1</b>	0.87	0.07	0.36	0.00	-0.65			
	みどりの豊かさなどの自然環境	-0.01	0.68	<b>1</b>	0.79	0.30	0.56	<b>1</b>	1.85		
	川などの水辺と親しめる環境	-0.55	-0.30	-0.22	-0.38	-0.40	-0.40	0.36			
公共施設等	音や振動のない静けさ	0.13	0.63	0.52	0.38	0.44	<b>3</b>	1.01			
	空気のきれいさ	0.27	0.65	0.64	0.36	<b>2</b>	0.75	<b>2</b>	1.08		
	保育所や幼稚園などの施設	0.14	0.29	0.33	0.48	0.09	0.41				
	小学校や中学校などの施設	0.22	0.36	0.39	0.40	0.16	0.36				
	子どもの遊び場や公園など	①	-1.11	-0.20	-0.21	-0.12	-0.67	-0.42			
	道路の整備状況	②	-0.91	-0.20	-0.07	-0.53	①	-0.74	-0.58		
	下水道の整備状況	0.27	0.44	0.26	0.40	-0.45	①	-1.14			
	趣味や学習のための施設	-0.55	-0.25	-0.38	-0.28	-0.29	-0.33				
	グラウンドなどのスポーツ施設	-0.81	-0.41	-0.52	②	-0.60	③	-0.69	-0.40		
	窓口・電話口での職員の対応	<b>2</b>	0.78	0.63	0.61	0.64	<b>1</b>	0.80	0.50		
市政	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	<b>3</b>	0.71	<b>3</b>	0.81	<b>2</b>	0.73	0.50	<b>3</b>	0.71	0.51
	広報「おけがわ」の内容	0.66	0.74	<b>3</b>	0.66	0.67	0.56	0.42			
	市のホームページの内容	0.26	0.30	0.20	0.20	0.21	0.21	0.24			
	行政のスリム化	-0.29	-0.11	-0.21	-0.19	-0.16	-0.16	-0.16			
	市民意見・要望の市政への反映	-0.45	-0.22	-0.27	-0.42	-0.17	-0.17	-0.36			

※数字は点数の高い順位、丸数字は点数の低い順位を示す。

問 次の項目のうち、ここ数年で（桶川市に転入して間もない方は、お住まいになってから）よくなったと感じる項目を3つ選んで、ご記入ください。

クロス/まちづくり全般①よくなったもの

性別で見ると、男性・女性ともに「桶川駅の整備」が最も高くなっており、次いで男性では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」、女性では「こども医療費の無料化の充実」となっている。

年齢で見ると、40歳～49歳では「こども医療費の無料化の充実」、50歳～59歳、60歳～64歳では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」、その他の年齢では「桶川駅の整備」が、それぞれ最も高くなっている。

地区で見ると、駅東側周辺、駅西側周辺、坂田地区で「桶川駅の整備」、日出谷地区、加納地区、川田谷地区では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」が、それぞれ最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、川田谷地区では「こども医療費の無料化の充実」、駅西側周辺、坂田地区では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」、日出谷地区では「身近な生活道路の整備」、加納地区では「桶川駅の整備」となっている。

	調査数 (N)	土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全	良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障害者福祉サービスの充実	出産・子育て支援サービスの充実	
全体	1,324	53	154	<b>468</b>	<b>383</b>	217	60	128	20	23	90	61	111	10	42	124	75	43	48	16	52	
性別	男性	567	31	76	<b>202</b>	<b>173</b>	92	23	66	13	47	33	59	7	23	60	29	17	25	9	13	
	女性	700	20	74	<b>250</b>	<b>203</b>	121	34	55	6	7	39	28	3	19	58	43	24	21	6	36	
	無回答	57	2	4	<b>16</b>	<b>7</b>	4	3	7	1	2	4	0	0	0	6	3	2	2	1	3	
年齢	18歳～19歳	42	2	3	<b>30</b>	<b>6</b>	6	1	0	0	1	3	6	5	1	2	4	1	0	1	0	2
	20歳～29歳	127	6	20	<b>68</b>	<b>27</b>	1	3	0	2	8	10	12	1	2	7	5	2	3	2	3	
	30歳～39歳	166	8	21	<b>68</b>	<b>45</b>	26	1	1	3	0	9	7	18	1	20	6	1	2	0	11	
	40歳～49歳	242	12	21	<b>74</b>	<b>83</b>	38	4	13	1	2	14	11	25	3	19	6	6	2	3	16	
	50歳～59歳	187	6	35	<b>61</b>	<b>82</b>	28	4	15	4	7	21	7	10	2	6	14	11	3	7	3	10
	60歳～64歳	82	6	7	<b>28</b>	<b>31</b>	15	5	4	2	2	7	6	8	0	2	9	6	5	5	1	1
	65歳～69歳	98	5	13	<b>31</b>	<b>30</b>	22	6	19	2	2	6	3	7	0	5	13	10	6	1	1	4
	70歳～74歳	113	1	11	<b>32</b>	<b>25</b>	15	11	17	4	1	7	8	12	1	6	13	11	9	9	1	1
	75歳以上	218	6	19	<b>60</b>	<b>47</b>	38	26	50	3	4	11	3	14	1	12	20	17	9	17	4	1
	無回答	49	1	4	<b>16</b>	<b>7</b>	2	1	6	1	2	4	0	0	0	5	2	2	1	1	3	
	地区	駅東側周辺	217	8	15	<b>112</b>	<b>49</b>	17	10	23	1	2	11	4	11	1	12	11	14	10	10	2
駅西側周辺		266	9	33	<b>105</b>	<b>78</b>	27	12	27	4	4	15	17	17	2	8	20	17	12	7	2	8
日出谷地区		283	11	44	<b>68</b>	<b>99</b>	21	38	6	8	23	21	31	3	6	20	11	4	10	6	12	
坂田地区		266	17	36	<b>97</b>	<b>67</b>	52	11	25	0	2	23	12	32	2	6	45	19	7	8	0	10
加納地区		127	4	12	<b>41</b>	<b>43</b>	21	3	6	4	1	7	4	12	1	6	15	7	2	7	4	4
川田谷地区		109	3	10	<b>27</b>	<b>39</b>	17	2	3	4	4	6	2	8	1	4	8	4	6	5	1	7
無回答		56	1	4	<b>18</b>	<b>8</b>	2	1	6	1	2	5	1	0	0	5	3	2	1	1	3	

	子ども医療費の無料化の充実	女性の地位向上（男女共同参画）	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町間の相互利用の推進	行政のスリム化	その他	特になし	無回答		
全体	310 23.4%	10 0.8%	26 2.0%	3 0.2%	18 1.4%	1 0.1%	10 0.8%	17 1.3%	6 0.5%	59 4.5%	13 1.0%	23 1.7%	23 1.7%	13 1.0%	15 1.1%	8 0.6%	21 1.6%	12 0.9%	26 2.0%	164 12.4%	149 11.3%		
性別	男性	91 16.0%	7 1.2%	14 2.5%	2 0.4%	6 1.1%	0 0.0%	5 0.9%	8 1.4%	3 0.5%	25 4.4%	9 1.6%	13 2.3%	9 1.6%	7 1.2%	5 0.9%	9 1.6%	6 1.1%	7 1.2%	72 12.7%	60 10.6%		
	女性	212 30.3%	3 0.4%	12 1.7%	1 0.1%	11 1.6%	1 0.1%	5 0.7%	9 1.3%	3 0.4%	31 4.4%	4 0.6%	10 1.4%	14 2.0%	6 0.9%	7 1.0%	3 0.4%	11 1.6%	6 0.9%	18 2.6%	84 12.0%	72 10.3%	
	無回答	7 12.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	4 14.0%	8 29.8%	17 2.4%	
年齢	18歳～19歳	14 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	0 2.4%	1 2.4%	2 4.8%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	1 9.5%	4 16.7%	23 7.0%	7 2.4%	
	20歳～29歳	16 12.6%	0 0.0%	6 4.7%	2 1.6%	2 1.6%	0 0.0%	1 0.8%	6 4.7%	0 0.0%	13 10.2%	0 0.0%	3 2.4%	4 3.1%	1 0.8%	3 2.4%	2 1.6%	0 0.0%	2 1.6%	4 3.1%	23 18.1%	7 5.5%	
	30歳～39歳	60 36.1%	1 0.6%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.2%	3 1.8%	0 0.0%	6 3.6%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.6%	1 2.4%	4 0.6%	1 0.6%	1 0.6%	39 23.5%	7 4.2%	
	40歳～49歳	85 35.1%	4 1.7%	5 2.1%	1 0.4%	3 1.2%	0 0.0%	2 0.8%	3 1.2%	0 0.0%	14 5.8%	5 2.1%	7 2.9%	11 4.5%	1 0.4%	4 1.7%	3 0.4%	5 1.2%	2 2.1%	6 2.5%	32 13.2%	17 7.0%	
	50歳～59歳	53 28.3%	0 0.0%	4 2.1%	0 0.0%	2 1.1%	0 0.0%	2 1.1%	1 0.5%	5 2.7%	3 1.6%	3 1.6%	2 1.1%	5 2.7%	3 1.6%	2 1.1%	2 1.1%	2 1.1%	1 0.5%	4 2.1%	24 12.8%	8 4.3%	
	60歳～64歳	20 24.4%	2 2.4%	4 4.9%	0 0.0%	3 3.7%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	1 2.4%	2 0.0%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	2 2.4%	0 9.8%	2 8.1%	9 11.0%	
	65歳～69歳	20 20.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 1.0%	1 6.1%	2 2.0%	0 0.0%	1 1.0%	1 1.0%	2 2.0%	1 1.0%	3 3.1%	1 2.0%	0 0.0%	2 4.1%	0 12.2%	18 12.2%	
	70歳～74歳	19 16.8%	1 0.9%	3 2.7%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.9%	2 1.8%	5 4.4%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.9%	0 0.0%	0 8.8%	10 8.8%	18 15.9%	
	75歳以上	16 7.3%	2 0.9%	2 0.9%	0 0.0%	5 2.3%	1 0.5%	1 0.5%	3 1.4%	1 0.5%	8 3.7%	1 0.5%	3 1.4%	2 0.9%	3 1.4%	2 0.9%	0 0.0%	5 2.3%	1 0.5%	4 1.8%	4 4.1%	9 4.1%	56 25.7%
	無回答	7 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	8 16.3%	14 28.6%	
地区	駅東側周辺	53 24.4%	1 0.5%	2 0.9%	1 0.5%	6 2.8%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.5%	9 4.1%	3 1.4%	5 2.3%	3 1.4%	2 0.9%	3 1.4%	1 0.5%	4 1.8%	3 1.4%	5 2.3%	33 15.2%	28 12.9%		
	駅西側周辺	61 22.9%	1 0.4%	8 3.0%	0 0.0%	5 1.9%	1 0.4%	5 1.9%	0 0.0%	19 7.1%	4 1.5%	7 2.6%	4 1.5%	3 1.1%	3 1.9%	5 1.1%	6 2.3%	4 1.5%	8 3.0%	27 10.2%	30 11.3%		
	日出谷地区	64 22.6%	2 0.7%	4 1.4%	0 0.0%	5 1.8%	0 0.0%	3 1.1%	5 1.8%	2 0.7%	10 3.5%	1 0.4%	6 2.1%	3 1.1%	2 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	3 1.1%	34 12.0%	22 7.8%		
	坂田地区	58 21.8%	3 1.1%	7 2.6%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%	4 1.5%	5 1.9%	1 0.4%	8 3.0%	2 0.8%	3 1.1%	8 3.0%	2 0.8%	3 1.1%	2 1.9%	5 1.1%	3 1.1%	6 2.3%	31 11.7%	25 9.4%	
	加納地区	36 28.3%	0 0.0%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.8%	5 3.9%	2 1.6%	1 0.8%	2 1.6%	1 0.8%	2 1.6%	4 3.1%	0 0.0%	1 0.8%	17 13.4%	12 9.4%		
	川田谷地区	30 27.5%	3 2.8%	3 2.8%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%	6 5.5%	1 0.9%	1 0.9%	3 2.8%	3 2.8%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.9%	0 1.8%	2 12.8%	14 12.8%		
	無回答	8 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	8 14.3%	18 32.1%	



問 次の項目のうち、もっと住みよいまちにするために、これからの市政において特に力を入れるべき項目を次の中から3つ選び、その番号をご記入ください。

**クロス/まちづくり全般②力をいれてほしいもの**

性別で見ると、男性・女性ともに「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が最も高くなっており、次いで男性では「桶川駅の整備」、女性では「保健や医療の充実」となっている。

年齢で見ると、全ての年齢で「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳では「桶川駅の整備」、「街並み・景観づくり」、「公園・緑地の整備」、「その他」、20歳～29歳、40歳～49歳では「桶川駅の整備」、30歳～39歳では「出産・子育て支援サービスの充実」、50歳～59歳、60歳～64歳では「保健や医療の充実」、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳以上では「高齢者福祉サービスの充実」となっている。

地区で見ると、川田谷地区では「治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備」が最も高く、その他の地区では「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺では「桶川駅の整備」、「保健や医療の充実」、駅西側周辺、日出谷地区では「高齢者福祉サービスの充実」、坂田地区、加納地区では「桶川駅の整備」、川田谷地区では「土地利用の適正化」となっている。

	調査票(N)	土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全	良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障害者福祉サービスの充実	出産・子育て支援サービスの充実	
全体	1,324 100.0%	85 6.4%	113 8.5%	<b>249</b> <b>18.8%</b>	54 4.1%	162 12.2%	18 1.4%	71 5.4%	123 9.3%	82 6.2%	45 3.4%	118 8.9%	124 9.4%	22 1.7%	128 9.7%	141 10.6%	92 6.9%	227 17.1%	195 14.7%	46 3.5%	145 11.0%	
性別	男性	567 100.0%	36 6.3%	56 9.9%	<b>118</b> <b>20.8%</b>	30 5.3%	78 13.8%	7 1.2%	22 3.9%	65 11.5%	32 5.6%	19 3.4%	55 9.7%	12 2.1%	46 8.1%	59 10.4%	31 7.2%	80 14.1%	77 13.6%	27 4.8%	57 10.1%	
	女性	700 100.0%	48 6.9%	54 7.7%	<b>130</b> <b>18.7%</b>	22 3.1%	80 11.4%	11 1.6%	44 6.3%	50 7.1%	47 6.7%	26 3.7%	59 8.4%	65 9.3%	10 1.4%	78 11.1%	76 10.9%	50 7.1%	<b>140</b> <b>20.0%</b>	114 16.3%	18 2.6%	78 11.1%
	無回答	57 100.0%	1 1.8%	3 5.3%	7 12.3%	2 3.5%	4 7.0%	0 0.0%	5 8.8%	8 14.0%	3 5.3%	0 0.0%	4 7.0%	0 0.0%	4 7.0%	6 10.5%	1 1.5%	7 12.3%	4 7.0%	1 1.8%	10 17.5%	
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	2 4.8%	3 7.1%	<b>6</b> <b>14.3%</b>	2 4.8%	2 4.8%	1 2.4%	3 7.1%	4 9.5%	2 4.8%	2 4.8%	2 4.8%	2 4.8%	3 7.1%	<b>6</b> <b>14.3%</b>	1 2.4%	5 11.9%	4 9.5%	1 2.4%	4 9.5%	
	20歳～29歳	127 100.0%	8 6.3%	13 10.2%	<b>27</b> <b>21.3%</b>	6 4.7%	18 14.2%	1 0.8%	1 0.8%	6 4.7%	8 6.3%	9 7.1%	23 18.1%	10 7.9%	6 4.7%	10 7.9%	16 12.6%	9 7.1%	18 14.2%	4 3.1%	2 1.6%	23 18.1%
	30歳～39歳	166 100.0%	14 8.4%	18 10.8%	<b>38</b> <b>22.9%</b>	7 4.2%	30 18.1%	4 2.4%	0 3.6%	6 3.6%	5 3.0%	6 3.6%	12 7.2%	17 10.2%	1 0.6%	13 7.8%	31 18.7%	12 7.2%	25 15.1%	12 7.2%	10 6.0%	<b>50</b> <b>30.1%</b>
	40歳～49歳	242 100.0%	19 7.9%	22 9.1%	<b>47</b> <b>19.4%</b>	15 6.2%	35 14.5%	3 1.2%	10 4.1%	28 11.6%	16 6.6%	10 4.1%	20 8.3%	32 13.2%	1 0.4%	34 14.0%	24 9.9%	18 7.4%	43 17.8%	22 9.1%	10 4.1%	24 9.9%
	50歳～59歳	187 100.0%	13 7.0%	13 7.0%	<b>43</b> <b>23.0%</b>	4 2.1%	21 11.2%	2 1.1%	18 9.6%	15 8.0%	9 4.8%	7 3.7%	18 9.6%	17 9.1%	5 2.7%	20 10.7%	12 6.4%	14 7.5%	<b>48</b> <b>25.7%</b>	44 23.5%	8 4.3%	15 8.0%
	60歳～64歳	82 100.0%	7 8.5%	6 7.3%	<b>16</b> <b>19.5%</b>	2 2.4%	5 6.1%	0 0.0%	4 4.9%	14 17.1%	3 3.7%	0 0.0%	5 6.1%	6 7.3%	0 0.0%	8 9.8%	6 7.3%	9 9.8%	<b>21</b> <b>25.6%</b>	14 17.1%	4 4.9%	4 4.9%
	65歳～69歳	98 100.0%	6 6.1%	7 7.1%	<b>19</b> <b>19.4%</b>	5 5.1%	10 10.2%	1 1.0%	7 7.1%	13 13.3%	10 10.2%	4 4.1%	11 11.2%	6 6.1%	2 2.0%	8 8.2%	9 9.2%	7 7.1%	18 18.4%	<b>21</b> <b>21.4%</b>	1 1.0%	3 3.1%
	70歳～74歳	113 100.0%	6 5.3%	9 8.0%	<b>20</b> <b>17.7%</b>	7 6.2%	12 10.6%	1 0.9%	7 6.2%	13 11.5%	12 10.6%	5 4.4%	5 4.4%	11 9.7%	1 0.9%	13 11.5%	17 15.0%	6 5.3%	10 8.8%	<b>23</b> <b>20.4%</b>	3 2.7%	3 2.7%
	75歳以上	218 100.0%	9 4.1%	20 9.2%	<b>28</b> <b>12.8%</b>	4 1.8%	25 11.5%	5 2.3%	8 3.7%	17 7.8%	14 6.4%	2 0.9%	15 6.9%	20 9.2%	4 1.8%	13 6.0%	14 6.4%	13 6.0%	34 15.6%	<b>50</b> <b>22.9%</b>	5 2.3%	9 4.1%
	無回答	49 100.0%	1 2.0%	2 4.1%	<b>5</b> <b>10.2%</b>	2 4.1%	4 8.2%	0 0.0%	6 12.2%	7 14.3%	3 6.1%	0 0.0%	3 6.1%	3 6.1%	0 0.0%	3 6.1%	6 12.2%	0 0.0%	6 12.2%	4 8.2%	2 2.0%	<b>10</b> <b>20.4%</b>
	地区	駅東側周辺	217 100.0%	18 8.3%	33 15.2%	<b>39</b> <b>18.0%</b>	11 5.1%	30 13.8%	1 0.5%	5 2.3%	7 3.2%	10 4.6%	30 13.8%	19 8.8%	4 1.8%	19 8.8%	31 14.3%	7 3.2%	<b>39</b> <b>18.0%</b>	21 9.7%	9 4.1%	22 10.1%
駅西側周辺		266 100.0%	11 4.1%	22 8.3%	<b>42</b> <b>15.8%</b>	11 4.1%	30 11.3%	1 0.4%	8 3.0%	21 7.9%	17 6.4%	15 5.6%	33 12.4%	7 2.6%	32 12.0%	23 8.6%	21 7.9%	49 18.4%	<b>51</b> <b>19.2%</b>	8 3.0%	23 8.6%	
日出谷地区		283 100.0%	19 6.7%	12 4.2%	<b>46</b> <b>16.3%</b>	10 3.5%	24 8.5%	0 0.0%	9 3.2%	42 14.8%	22 7.8%	12 4.2%	17 6.0%	26 9.2%	5 1.8%	34 12.0%	32 11.3%	25 8.8%	57 20.1%	<b>58</b> <b>20.5%</b>	10 3.5%	34 12.0%
坂田地区		266 100.0%	8 3.0%	30 11.3%	<b>75</b> <b>28.2%</b>	10 3.8%	34 12.8%	1 0.4%	7 2.6%	17 6.4%	14 5.3%	4 1.5%	29 10.9%	23 8.6%	2 0.8%	25 9.4%	23 8.6%	18 6.8%	41 15.4%	31 11.7%	12 4.5%	29 10.9%
加納地区		127 100.0%	6 4.7%	9 7.1%	<b>23</b> <b>18.1%</b>	6 4.7%	26 20.5%	5 3.9%	18 14.2%	5 3.9%	18 14.2%	9 7.1%	13 10.2%	7 5.5%	1 0.8%	8 6.3%	13 10.2%	13 10.2%	14 11.0%	13 10.2%	1 0.8%	13 10.2%
川田谷地区		109 100.0%	<b>20</b> <b>18.3%</b>	5 4.6%	8 7.3%	4 3.7%	12 11.0%	10 9.2%	18 16.5%	<b>25</b> <b>22.9%</b>	7 6.4%	4 3.7%	5 4.6%	5 4.6%	2 1.8%	7 6.4%	7 6.4%	7 7.3%	18 16.5%	16 14.7%	5 4.6%	14 12.8%
無回答	56 100.0%	1 1.8%	2 3.6%	<b>6</b> <b>10.7%</b>	2 3.6%	6 10.7%	0 0.0%	6 10.7%	7 12.5%	3 5.4%	0 0.0%	3 5.4%	0 7.1%	0 0.0%	3 5.4%	0 12.5%	0 0.0%	7 16.1%	5 8.9%	1 1.8%	10 17.9%	

		子ども医療費の無料化の充実	女性の地位向上（男女共同参画）	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町間の相互利用の推進	行政のスリム化	その他	特になし	無回答	
	全体	64 4.8%	16 1.2%	33 2.5%	33 2.5%	31 2.3%	25 1.9%	59 4.5%	94 7.1%	53 4.0%	492 37.2%	34 2.6%	53 4.0%	75 5.7%	39 2.9%	16 1.2%	7 0.5%	36 2.7%	69 5.2%	47 3.5%	24 1.8%	85 6.4%	
性別	男性	31 5.5%	3 0.5%	17 3.0%	13 2.3%	16 2.8%	15 2.6%	30 5.3%	40 7.1%	20 3.5%	210 37.0%	13 2.3%	32 5.6%	28 4.9%	15 2.6%	3 0.5%	6 1.1%	20 3.5%	29 5.1%	22 3.9%	15 2.6%	30 5.3%	
	女性	31 4.4%	12 1.7%	15 2.1%	20 2.9%	13 1.9%	9 1.3%	28 4.0%	52 7.4%	33 4.7%	272 38.9%	20 2.9%	21 3.0%	41 5.9%	23 3.3%	12 1.7%	0 0.0%	16 2.3%	36 5.1%	21 3.0%	9 1.3%	40 5.7%	
	無回答	2 3.5%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	2 3.5%	1 1.8%	2 1.8%	4 3.5%	0 0.0%	10 17.5%	1 1.8%	0 0.0%	6 10.5%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	4 7.0%	4 7.0%	0 0.0%	15 26.3%
年齢	18歳～19歳	3 7.1%	1 2.4%	3 7.1%	5 11.9%	5 11.9%	1 2.4%	5 4.8%	9 9.5%	0 0.0%	14 33.3%	3 7.1%	5 11.9%	3 7.1%	0 0.0%	0 2.4%	0 0.0%	0 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	6 14.3%	3 7.1%	0 0.0%
	20歳～29歳	14 11.0%	2 1.6%	3 2.4%	4 3.1%	0 0.8%	5 3.9%	2 1.6%	5 3.9%	7 5.5%	47 37.0%	4 2.4%	4 3.1%	11 8.7%	0 0.0%	0 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 4.7%	6 4.7%	3 4.7%	3 2.4%
	30歳～39歳	12 7.2%	2 1.2%	5 3.0%	5 3.0%	2 1.2%	0 0.6%	1 1.8%	3 1.8%	13 7.8%	7 4.2%	52 31.3%	6 3.6%	8 4.8%	20 12.0%	1 0.6%	3 1.8%	0 0.0%	0 0.6%	2 2.4%	4 4.2%	7 2.4%	0 0.0%
	40歳～49歳	15 6.2%	5 2.1%	5 2.1%	5 2.1%	2 0.8%	4 1.7%	5 5.4%	13 5.8%	14 6.6%	16 37.6%	6 2.5%	6 7.4%	18 9.5%	23 1.7%	4 0.4%	0 0.0%	1 2.5%	10 4.1%	5 2.1%	5 2.1%	5 2.1%	5 2.1%
	50歳～59歳	6 3.2%	0 0.0%	2 1.1%	5 2.7%	3 1.6%	5 2.7%	5 2.7%	13 7.0%	9 4.8%	9 42.8%	4 2.1%	3 3.2%	6 1.6%	3 4.8%	0 0.0%	1 0.5%	10 5.3%	10 5.3%	3 2.7%	1 1.1%	1 2.1%	3 2.1%
	60歳～64歳	4 4.9%	0 0.0%	4 4.9%	1 1.2%	1 1.2%	1 1.2%	3 3.7%	9 11.0%	6 7.3%	6 45.1%	8 9.8%	1 1.2%	0 0.0%	8 9.8%	3 3.7%	0 0.0%	8 7.3%	8 3.7%	3 1.2%	1 0.0%	0 0.0%	3 3.7%
	65歳～69歳	4 4.1%	0 0.0%	2 2.0%	0 0.0%	3 3.1%	2 2.0%	3 3.1%	7 7.1%	2 2.0%	2 42.9%	0 0.0%	5 5.1%	4 4.1%	3 3.1%	2 2.0%	0 0.0%	2 2.0%	2 2.0%	7 7.1%	4 4.1%	0 0.0%	7 7.1%
	70歳～74歳	2 1.8%	3 2.7%	2 1.8%	6 5.3%	3 2.7%	4 3.5%	4 8.0%	9 4.4%	5 4.4%	5 41.6%	2 1.8%	2 1.8%	4 0.9%	4 1.8%	2 1.8%	3 1.8%	2 1.8%	8 10.6%	15 0.9%	8 0.9%	3 0.9%	10 8.8%
	75歳以上	2 0.9%	1 0.9%	7 3.2%	2 0.9%	10 4.6%	2 0.9%	17 7.8%	23 10.6%	1 0.5%	1 33.5%	0 0.9%	4 1.8%	4 1.8%	4 5.5%	12 0.5%	2 0.9%	8 3.7%	15 6.9%	8 3.7%	3 1.4%	3 1.4%	40 18.3%
	無回答	2 4.1%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	2 4.1%	1 2.0%	0 0.0%	0 18.4%	0 0.0%	0 0.0%	6 12.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.0%	2 2.0%	0 0.0%	4 4.1%	2 8.2%	0 0.0%	13 26.5%
地区	駅東側周辺	10 4.6%	3 1.4%	2 0.9%	4 1.8%	2 0.9%	0 0.0%	7 3.2%	28 12.9%	11 5.1%	104 47.9%	5 2.3%	5 2.3%	8 3.7%	5 2.3%	1 0.5%	5 2.3%	13 6.0%	13 6.0%	11 5.1%	3 1.4%	14 6.5%	
	駅西側周辺	13 4.9%	1 0.4%	12 4.5%	6 2.3%	10 3.8%	4 1.5%	16 6.0%	10 3.8%	9 3.4%	97 36.5%	10 3.8%	19 7.1%	18 6.8%	7 2.6%	2 0.8%	4 1.5%	7 6.4%	4 2.3%	6 2.3%	6 2.3%	15 5.6%	
	日出谷地区	13 4.6%	3 1.1%	5 1.8%	12 4.2%	7 2.5%	6 2.1%	10 3.5%	22 7.8%	10 3.5%	86 30.4%	6 2.1%	12 4.2%	15 5.3%	12 4.2%	4 1.4%	1 0.4%	7 2.5%	12 4.2%	9 3.2%	5 1.8%	16 5.7%	
	坂田地区	14 5.3%	3 1.1%	7 2.6%	6 2.3%	9 3.4%	6 2.3%	12 4.5%	18 6.8%	13 4.9%	128 48.1%	10 3.8%	11 4.1%	15 5.6%	10 3.8%	7 2.6%	2 0.8%	14 5.3%	11 4.1%	8 3.0%	4 1.5%	10 3.8%	
	加納地区	6 4.7%	3 2.4%	5 3.9%	1 0.8%	0 0.0%	3 2.4%	5 3.9%	9 7.1%	3 2.4%	54 42.5%	4 0.8%	4 3.1%	5 3.9%	3 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 3.9%	9 7.1%	3 2.4%	5 3.9%	6 4.7%	
	川田谷地区	5 4.6%	1 0.9%	2 1.8%	4 3.7%	2 1.8%	6 5.5%	7 6.4%	6 5.5%	6 5.5%	12 11.0%	2 1.8%	2 1.8%	7 6.4%	2 1.8%	2 0.9%	1 0.9%	1 0.9%	5 4.6%	6 5.5%	1 0.9%	9 8.3%	
	無回答	3 5.4%	2 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	2 3.6%	1 1.8%	1 1.8%	11 19.8%	0 0.0%	0 0.0%	7 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	2 3.6%	4 7.1%	0 0.0%	15 26.8%

問 今後の市街化調整区域のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

**クロス／今後の市街化調整区域のあり方の方向性**

性別で見ると、男性は「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」、女性は「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」が最も高く、次いで男性・女性ともに「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」となっている。

年齢で見ると、40歳～49歳、65歳～69歳では「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」、60～64歳、70歳～74歳では「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」、その他の年齢では「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳、30歳～49歳、65歳～69歳、75歳以上で「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」、20歳～39歳、50歳～64歳で「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」、40歳～49歳、70歳～74歳で「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」となっている。

地区で見ると、駅東側周辺、駅西側周辺では「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」、日出谷地区、坂田地区では「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」、加納地区、川田谷地区では「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、駅西側周辺においては「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」、日出谷地区においては「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」、その他の地区においては「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」となっている。

	調査数 (N)	農業 維持と 活性化を 支援し、 生産機能 の	園農 地の 設置を し、農 業公園 や市民 農	て商 農地 を計 画的 に住 宅、公 園、	現 状の まま でよ い	そ の 他	無 回 答	
全体	1,324 100.0%	367 27.7%	343 25.9%	335 25.3%	174 13.1%	12 0.9%	93 7.0%	
性別	男性	567 100.0%	146 25.7%	156 27.5%	158 27.9%	77 13.6%	7 1.2%	23 4.1%
	女性	700 100.0%	209 29.9%	180 25.7%	164 23.4%	94 13.4%	5 0.7%	48 6.9%
	無回答	57 100.0%	12 21.1%	7 12.3%	13 22.8%	3 5.3%	0 0.0%	22 38.6%
	無回答	57 100.0%	12 21.1%	7 12.3%	13 22.8%	3 5.3%	0 0.0%	22 38.6%
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	15 35.7%	11 26.2%	5 11.9%	10 23.8%	0 0.0%	1 2.4%
	20歳～29歳	127 100.0%	37 29.1%	29 22.8%	33 26.0%	26 20.5%	1 0.8%	1 0.8%
	30歳～39歳	166 100.0%	49 29.5%	44 26.5%	44 26.5%	24 14.5%	3 1.8%	2 1.2%
	40歳～49歳	242 100.0%	63 26.0%	63 26.0%	66 27.3%	40 16.5%	1 0.4%	9 3.7%
	50歳～59歳	187 100.0%	66 35.3%	43 23.0%	44 23.5%	22 11.8%	2 1.1%	10 5.3%
	60歳～64歳	82 100.0%	20 24.4%	28 34.1%	22 26.8%	6 7.3%	0 0.0%	6 7.3%
	65歳～69歳	98 100.0%	20 20.4%	26 26.5%	34 34.7%	11 11.2%	0 0.0%	7 7.1%
	70歳～74歳	113 100.0%	29 25.7%	38 33.6%	27 23.9%	10 8.8%	1 0.9%	8 7.1%
	75歳以上	218 100.0%	56 25.7%	55 25.2%	53 24.3%	23 10.6%	4 1.8%	27 12.4%
	無回答	49 100.0%	12 24.5%	6 12.2%	7 14.3%	2 4.1%	0 0.0%	22 44.9%
地区	駅東側周辺	217 100.0%	72 33.2%	53 24.4%	49 22.6%	24 11.1%	2 0.9%	17 7.8%
	駅西側周辺	266 100.0%	84 31.6%	81 30.5%	47 17.7%	36 13.5%	3 1.1%	15 5.6%
	日出谷地区	283 100.0%	76 26.9%	79 27.9%	78 27.6%	41 14.5%	0 0.0%	9 3.2%
	坂田地区	266 100.0%	67 25.2%	80 30.1%	65 24.4%	39 14.7%	2 0.8%	13 4.9%
	加納地区	127 100.0%	34 26.8%	25 19.7%	38 29.9%	19 15.0%	4 3.1%	7 5.5%
	川田谷地区	109 100.0%	21 19.3%	17 15.6%	49 45.0%	12 11.0%	1 0.9%	9 8.3%
	無回答	56 100.0%	13 23.2%	8 14.3%	9 16.1%	3 5.4%	0 0.0%	23 41.1%

問 お住まいの地域や市内に特に整備を望む公共施設等がありますか。  
次の中から 3 つまで選び、番号に○印をおつけください。

クロス／都市整備

性別で見ると、男性・女性ともに「病院」が最も高く、次いで「安心して通行できる道路」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「身近でスポーツなどができる広場」、20歳～29歳では「安心して通行できる道路」、30歳～39歳では「子どもたちが安全に遊べる身近な公園」、70歳～74歳では「高齢者の生活を支援するための施設」、その他の年齢では「病院」が、それぞれ最も高くなっている。次いで、18歳～19歳では「総合運動場など、複合的なスポーツ施設」、20歳～29歳、40歳～49歳、65歳～69歳では「子どもたちが安全に遊べる身近な公園」、30歳～64歳では「安心して通行できる道路」、60歳～64歳、75歳以上では「高齢者の生活を支援するための施設」、65歳～74歳では「市内を自転車で行き来できる自転車道路」、65歳～69歳では「バス停留所・バス路線」となっている。

地区で見ると、駅東側周辺、加納地区では「安心して通行できる道路」、駅西側周辺、日出谷地区、坂田地区では「病院」、川田谷地区では「バス停留所・バス路線」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺及び川田谷地区では「病院」、駅西側周辺では「市内を自転車で行き来できる自転車道路」、日出谷地区では「バス停留所・バス路線」、坂田地区では「市内を自転車で行き来できる自転車道路」及び「安心して通行できる道路」、加納地区では「子どもたちが安全に遊べる身近な公園」及び「市内を自転車で行き来できる自転車道路」となっている。

	調査数(N)	市営駐車場	市営駐輪場	公民館	市民協働活動センター	地区住民が気軽に交流できる施設(コミュニティセンター)	図書館	総合運動場など、複合的なスポーツ施設	身近でスポーツなどができる広場	子どもたちが安全に遊べる身近な公園	病院	高齢者の生活を支援するための施設	役所の支所	住民票の発行などの市民サービスが受けられる市民	美術品・芸術品等を鑑賞できる施設	市内を自転車で行き来できる自転車道路	防犯のための施設、地域	バス停留所・バス路線	安心して通行できる道路	児童館や子育て支援センターなどの施設	下水道	その他	特になし	無回答	
全体	1,324	158	81	36	25	121	106	170	190	265	416	224	131	60	293	188	240	323	116	82	52	42	63		
性別	男性	567	78	39	14	13	60	51	93	93	163	102	55	31	124	82	91	137	38	30	31	17	16		
	女性	700	78	38	21	12	60	49	74	90	163	118	71	27	160	102	141	241	76	50	19	23	27		
	無回答	57	2	4	1	0	1	6	3	7	9	12	4	5	2	9	4	8	5	2	2	2	2	20	
年齢	18歳～19歳	42	2	0	3	0	0	10	12	14	11	7	3	4	0	8	4	8	8	3	3	5	2	0	
	20歳～29歳	127	25	15	5	2	5	16	23	27	29	26	8	6	6	21	16	21	37	17	3	9	7	1	
	30歳～39歳	166	18	14	2	2	6	14	31	23	60	50	8	16	8	34	25	26	52	34	5	4	5	2	
	40歳～49歳	242	31	20	3	3	13	21	40	42	54	69	24	28	9	44	39	53	54	17	17	14	10	7	
	50歳～59歳	187	22	10	7	2	12	14	22	13	23	80	33	17	10	47	27	37	49	13	17	6	3	8	
	60歳～64歳	82	7	3	3	5	12	4	9	9	12	34	20	7	5	19	12	14	20	6	8	1	2	5	
	65歳～69歳	98	12	3	2	1	11	7	10	17	23	35	21	15	5	23	12	23	22	7	10	3	2	1	
	70歳～74歳	113	15	6	3	3	17	5	7	15	21	30	32	14	7	31	18	17	22	7	7	2	3	6	
	75歳以上	218	24	8	7	7	44	12	14	24	22	76	72	19	9	58	32	35	54	10	9	6	8	13	
	無回答	49	2	2	1	0	1	3	2	6	10	9	3	5	1	8	3	6	5	2	3	2	0	20	
	地区	駅東側周辺	217	21	19	5	4	20	13	25	38	59	66	27	11	10	52	28	18	73	19	5	10	12	9
		駅西側周辺	266	23	17	9	4	32	29	37	39	46	92	62	13	14	64	31	42	60	24	8	8	4	11
		日出谷地区	283	37	10	8	5	29	28	40	37	58	104	48	15	13	52	62	70	60	20	15	6	10	6
		坂田地区	266	47	23	10	9	17	18	36	35	46	89	40	55	14	65	36	48	65	30	7	11	4	7
加納地区		127	19	9	2	2	14	9	16	23	28	26	17	18	4	28	17	20	32	11	18	6	5	5	
川田谷地区		109	7	0	1	1	6	6	14	11	16	29	25	14	4	22	10	35	25	10	26	9	7	4	
無回答		56	4	3	1	0	3	3	2	7	12	10	5	5	1	10	4	7	8	2	3	2	0	21	

問 今後さらに「協働のまちづくり」を進める上で、市が特に取り組むべきことはなんだと思いますか。次の中から 3 つまで選び、番号に○印をおつけください。

**クロス／「協働のまちづくり」を進める上で、市が取り組むべきこと**

性別で見ると、男性・女性ともに「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」が最も高くなっている。次いで、男性では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」及び「行政の意識改革や人材育成に努める」、女性では「地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる」となっている。

年齢で見ると、75歳以上では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」が最も高くなっており、その他の年齢では「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」が最も高くなっている。次いで、49歳以下では「地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる」、50歳～59歳では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」及び「行政の意識改革や人材育成に努める」、60歳～64歳では「行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する」、65歳～69歳では「まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる」、70歳～74歳では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」、75歳以上では「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」となっている。

地区で見ると、全地区で「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、川田谷地区では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」、坂田地区では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」及び「行政の意識改革や人材育成に努める」、駅西側周辺では「まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる」、日出谷地区、加納地区では「行政の意識改革や人材育成に努める」となっている。

	調査数 (N)	市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する	まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする	まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる	自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める	地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる	活動に対する社会的評価を高める (協働事業の表彰制度など)	ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める	ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる	活動団体やグループを資金面で支援する	行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する	行政の意識改革や人材育成に努める	その他	特にない	無回答	
全体	1,324 100.0%	480 36.3%	263 19.9%	237 17.9%	292 22.1%	275 20.8%	75 5.7%	159 12.0%	84 6.3%	156 11.8%	261 19.7%	286 21.6%	27 2.0%	136 10.3%	97 7.3%	
性別	男性	567 100.0%	207 36.5%	130 22.9%	113 19.9%	112 19.8%	43 7.6%	66 11.6%	35 6.2%	79 13.9%	124 21.9%	133 23.5%	15 2.6%	46 8.1%	27 4.8%	
	女性	700 100.0%	261 37.3%	130 18.6%	116 16.6%	154 22.0%	155 22.1%	31 4.4%	91 13.0%	47 6.7%	73 10.4%	131 18.7%	147 21.0%	12 1.7%	85 12.1%	45 6.4%
	無回答	57 100.0%	12 21.1%	3 5.3%	8 14.0%	5 8.8%	8 14.0%	1 1.8%	2 3.5%	2 3.5%	4 7.0%	6 10.5%	6 10.5%	0 0.0%	5 8.8%	25 43.9%
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	19 45.2%	12 28.6%	6 14.3%	8 19.0%	14 33.3%	3 7.1%	5 11.9%	5 11.9%	1 2.4%	2 4.8%	0 0.0%	4 9.5%	1 2.4%	
	20歳～29歳	127 100.0%	53 41.7%	22 17.3%	17 13.4%	24 18.9%	27 21.3%	10 7.9%	19 15.0%	7 5.5%	13 10.2%	15 11.8%	20 15.7%	3 2.4%	19 15.0%	4 3.1%
	30歳～39歳	166 100.0%	62 37.3%	40 24.1%	22 13.3%	21 12.7%	51 30.7%	11 6.6%	25 15.1%	10 6.0%	15 9.0%	28 16.9%	32 19.3%	4 2.4%	20 12.0%	3 1.8%
	40歳～49歳	242 100.0%	83 34.3%	46 19.0%	44 18.2%	46 19.0%	65 26.9%	22 9.1%	29 12.0%	14 5.8%	18 7.4%	49 20.2%	62 25.6%	4 1.7%	21 8.7%	6 2.5%
	50歳～59歳	187 100.0%	81 43.3%	42 22.5%	25 13.4%	47 25.1%	34 18.2%	10 5.3%	23 12.3%	10 5.3%	22 11.8%	44 23.5%	47 25.1%	7 3.7%	17 9.1%	8 4.3%
	60歳～64歳	82 100.0%	33 40.2%	20 24.4%	21 25.6%	14 17.1%	12 14.6%	4 4.9%	15 18.3%	4 4.9%	11 13.4%	30 36.6%	21 25.6%	1 1.2%	5 6.1%	3 3.7%
	65歳～69歳	98 100.0%	33 33.7%	24 24.5%	27 27.6%	22 22.4%	16 16.3%	2 2.0%	19 19.4%	6 6.1%	11 11.2%	21 21.4%	25 25.5%	1 1.0%	9 9.2%	7 7.1%
	70歳～74歳	113 100.0%	38 33.6%	20 17.7%	19 16.8%	36 31.9%	18 15.9%	3 2.7%	8 7.1%	9 8.0%	17 15.0%	21 18.6%	30 26.5%	3 2.7%	14 12.4%	11 9.7%
	75歳以上	218 100.0%	66 30.3%	36 16.5%	51 23.4%	70 32.1%	31 14.2%	9 4.1%	15 6.9%	19 8.7%	40 18.3%	50 22.9%	41 18.8%	4 1.8%	24 11.0%	29 13.3%
	無回答	49 100.0%	12 24.5%	1 2.0%	5 10.2%	4 8.2%	7 14.3%	1 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	4 8.2%	2 4.1%	6 12.2%	0 0.0%	3 6.1%	25 51.0%
地区	駅東側周辺	217 100.0%	81 37.3%	42 19.4%	33 15.2%	54 24.9%	53 24.4%	15 6.9%	26 12.0%	17 7.8%	29 13.4%	47 21.7%	46 21.2%	3 1.4%	21 9.7%	13 6.0%
	駅西側周辺	266 100.0%	119 44.7%	52 19.5%	66 24.8%	58 21.8%	57 21.4%	17 6.4%	29 10.9%	16 6.0%	31 11.7%	57 21.4%	52 19.5%	3 1.1%	19 7.1%	14 5.3%
	日出谷地区	283 100.0%	95 33.6%	62 21.9%	47 16.6%	57 20.1%	56 19.8%	12 4.2%	43 15.2%	20 7.1%	36 12.7%	51 18.0%	63 22.3%	7 2.5%	32 11.3%	16 5.7%
	坂田地区	266 100.0%	95 35.7%	59 22.2%	46 17.3%	66 24.8%	60 22.6%	12 4.5%	39 14.7%	14 5.3%	25 9.4%	58 21.8%	66 24.8%	7 2.6%	26 9.8%	12 4.5%
	加納地区	127 100.0%	43 33.9%	24 18.9%	17 13.4%	25 19.7%	22 17.3%	7 5.5%	13 10.2%	13 10.2%	15 11.8%	25 19.7%	28 22.0%	5 3.9%	18 14.2%	6 4.7%
	川田谷地区	109 100.0%	33 30.3%	22 20.2%	22 20.2%	26 23.9%	20 18.3%	11 10.1%	8 7.3%	4 3.7%	16 14.7%	19 17.4%	25 22.9%	2 1.8%	16 14.7%	8 7.3%
	無回答	56 100.0%	14 25.0%	2 3.6%	6 10.7%	6 10.7%	7 12.5%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	4 7.1%	4 7.1%	6 10.7%	0 0.0%	4 7.1%	28 50.0%

問 あなたは、桶川市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。  
 あてはまる番号1つに○印をおつけください。

**クロス／子育て支援**

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっている。

年齢で見ると、全年齢で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで18歳～19歳では「そう思う」、その他の年齢では「どちらかといえばそう思わない」となっている。

地区で見ると、全地区で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっている。

		調査数 (N)	そう 思う	ぼど そち うら か う い え	ぼど そち うら か と な い え	そ う と 思 わ な い	無 回 答
全体		1,324 100.0%	110 8.3%	<b>785</b> <b>59.3%</b>	<b>257</b> <b>19.4%</b>	59 4.5%	113 8.5%
性別	男性	567 100.0%	58 10.2%	<b>327</b> <b>57.7%</b>	<b>115</b> <b>20.3%</b>	32 5.6%	35 6.2%
	女性	700 100.0%	51 7.3%	<b>442</b> <b>63.1%</b>	<b>134</b> <b>19.1%</b>	24 3.4%	49 7.0%
	無回答	57 100.0%	1 1.8%	<b>16</b> <b>28.1%</b>	8 14.0%	3 5.3%	<b>29</b> <b>50.9%</b>
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	<b>7</b> <b>16.7%</b>	<b>29</b> <b>69.0%</b>	5 11.9%	1 2.4%	0 0.0%
	20歳～29歳	127 100.0%	10 7.9%	<b>84</b> <b>66.1%</b>	<b>25</b> <b>19.7%</b>	4 3.1%	4 3.1%
	30歳～39歳	166 100.0%	12 7.2%	<b>104</b> <b>62.7%</b>	<b>37</b> <b>22.3%</b>	13 7.8%	0 0.0%
	40歳～49歳	242 100.0%	24 9.9%	<b>147</b> <b>60.7%</b>	<b>53</b> <b>21.9%</b>	9 3.7%	9 3.7%
	50歳～59歳	187 100.0%	9 4.8%	<b>123</b> <b>65.8%</b>	<b>38</b> <b>20.3%</b>	10 5.3%	7 3.7%
	60歳～64歳	82 100.0%	4 4.9%	<b>54</b> <b>65.9%</b>	<b>17</b> <b>20.7%</b>	2 2.4%	5 6.1%
	65歳～69歳	98 100.0%	6 6.1%	<b>63</b> <b>64.3%</b>	<b>18</b> <b>18.4%</b>	1 1.0%	10 10.2%
	70歳～74歳	113 100.0%	14 12.4%	<b>63</b> <b>55.8%</b>	<b>19</b> <b>16.8%</b>	4 3.5%	13 11.5%
	75歳以上	218 100.0%	23 10.6%	<b>106</b> <b>48.6%</b>	<b>39</b> <b>17.9%</b>	12 5.5%	38 17.4%
	無回答	49 100.0%	1 2.0%	<b>12</b> <b>24.5%</b>	6 12.2%	3 6.1%	<b>27</b> <b>55.1%</b>
地区	駅東側周辺	217 100.0%	19 8.8%	<b>120</b> <b>55.3%</b>	<b>46</b> <b>21.2%</b>	14 6.5%	18 8.3%
	駅西側周辺	266 100.0%	18 6.8%	<b>183</b> <b>68.8%</b>	<b>42</b> <b>15.8%</b>	6 2.3%	17 6.4%
	日出谷地区	283 100.0%	30 10.6%	<b>168</b> <b>59.4%</b>	<b>46</b> <b>16.3%</b>	18 6.4%	21 7.4%
	坂田地区	266 100.0%	26 9.8%	<b>166</b> <b>62.4%</b>	<b>56</b> <b>21.1%</b>	10 3.8%	8 3.0%
	加納地区	127 100.0%	7 5.5%	<b>77</b> <b>60.6%</b>	<b>31</b> <b>24.4%</b>	2 1.6%	10 7.9%
	川田谷地区	109 100.0%	9 8.3%	<b>54</b> <b>49.5%</b>	<b>29</b> <b>26.6%</b>	6 5.5%	11 10.1%
	無回答	56 100.0%	1 1.8%	<b>17</b> <b>30.4%</b>	7 12.5%	3 5.4%	<b>28</b> <b>50.0%</b>

問 安心して子どもを育てられるまちにするために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

**クロス/安心して子どもを育てられるまちにするために、市が取り組むべきこと**

性別で見ると、男性・女性ともに「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」が最も高く、次いで「多様な保育サービスの充実」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「出産や子育てに関する相談・支援体制の充実」及び「多様な保育サービスの充実」、20歳～59歳、70歳～74歳では「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、60歳～64歳では「多様な保育サービスの充実」、65歳～69歳、75歳以上では「子育てを支援する地域づくりの促進」が、それぞれ最も高くなっている。次いで、20歳～59歳では「多様な保育サービスの充実」、60歳～64歳では「子育てを支援する地域づくりの促進」、65歳～69歳、75歳以上では「出産や子育てに関する相談・支援体制の充実」、70歳～74歳では「多様な保育サービスの充実」及び「子育てを支援する地域づくりの促進」となっている。

地区で見ると、駅東側周辺、日出谷地区、川田谷地区では「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、駅西側周辺、坂田地区では「多様な保育サービスの充実」、加納地区では「子育てを支援する地域づくりの促進」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、川田谷地区では「多様な保育サービスの充実」、駅西側周辺、坂田地区、加納地区では「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、日出谷地区では「子育てを支援する地域づくりの促進」となっている。



	調査数 (N)	出産や子育てに関する相談・支援体制の充実	多様な保育サービスの充実	子育てを支援する地域づくりの促進	経済的支援の充実 こども医療費助成制度など	その他	特にない	無回答	
全体	1,324 100.0%	451 34.1%	528 39.9%	477 36.0%	570 43.1%	60 4.5%	48 3.6%	93 7.0%	
性別	男性	567 100.0%	204 36.0%	229 40.4%	208 36.7%	253 44.6%	19 3.4%	25 4.4%	24 4.2%
	女性	700 100.0%	239 34.1%	288 41.1%	261 37.3%	302 43.1%	36 5.1%	22 3.1%	40 5.7%
	無回答	57 100.0%	8 14.0%	11 19.3%	8 14.0%	15 26.3%	5 8.8%	1 1.8%	29 50.9%
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	19 45.2%	19 45.2%	10 23.8%	18 42.9%	0 0.0%	3 7.1%	0 0.0%
	20歳～29歳	127 100.0%	45 35.4%	60 47.2%	47 37.0%	62 48.8%	4 3.1%	4 3.1%	4 3.1%
	30歳～39歳	166 100.0%	51 30.7%	74 44.6%	68 41.0%	86 51.8%	16 9.6%	3 1.8%	0 0.0%
	40歳～49歳	242 100.0%	74 30.6%	95 39.3%	84 34.7%	125 51.7%	15 6.2%	9 3.7%	6 2.5%
	50歳～59歳	187 100.0%	70 37.4%	82 43.9%	65 34.8%	86 46.0%	7 3.7%	8 4.3%	2 1.1%
	60歳～64歳	82 100.0%	27 32.9%	42 51.2%	28 34.1%	26 31.7%	5 6.1%	2 2.4%	5 6.1%
	65歳～69歳	98 100.0%	39 39.8%	37 37.8%	40 40.8%	36 36.7%	1 1.0%	4 4.1%	8 8.2%
	70歳～74歳	113 100.0%	38 33.6%	42 37.2%	42 37.2%	46 40.7%	3 2.7%	5 4.4%	12 10.6%
	75歳以上	218 100.0%	80 36.7%	69 31.7%	85 39.0%	73 33.5%	5 2.3%	10 4.6%	29 13.3%
	無回答	49 100.0%	8 16.3%	8 16.3%	8 16.3%	12 24.5%	4 8.2%	0 0.0%	27 55.1%
地区	駅東側周辺	217 100.0%	69 31.8%	86 39.6%	76 35.0%	102 47.0%	14 6.5%	12 5.5%	12 5.5%
	駅西側周辺	266 100.0%	102 38.3%	116 43.6%	91 34.2%	108 40.6%	9 3.4%	7 2.6%	13 4.9%
	日出谷地区	283 100.0%	91 32.2%	108 38.2%	111 39.2%	133 47.0%	14 4.9%	11 3.9%	14 4.9%
	坂田地区	266 100.0%	108 40.6%	114 42.9%	100 37.6%	110 41.4%	8 3.0%	10 3.8%	9 3.4%
	加納地区	127 100.0%	36 28.3%	49 38.6%	53 41.7%	51 40.2%	5 3.9%	5 3.9%	9 7.1%
	川田谷地区	109 100.0%	34 31.2%	45 41.3%	35 32.1%	50 45.9%	6 5.5%	3 2.8%	8 7.3%
	無回答	56 100.0%	11 19.6%	10 17.9%	11 19.6%	16 28.6%	4 7.1%	0 0.0%	28 50.0%

問 あなたは、桶川市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。  
 あてはまる番号1つに○印をおつけください。

**クロス／高齢者の生活**

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっている。

年齢で見ると、全年齢で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっている。

地区で見ると、川田谷地区では「どちらかといえばそう思わない」が、その他の地区では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっている。次いで、川田谷地区では「どちらかといえばそう思う」、その他の地区では「どちらかといえばそう思わない」となっている。

		調査数 (N)	そう 思う	ばど そち うら か う と い え	ばど そち うら か と い え	そう と 思 わ な い	無 回 答
全体		1,324 100.0%	84 6.3%	630 47.6%	431 32.6%	82 6.2%	97 7.3%
性別	男性	567 100.0%	47 8.3%	269 47.4%	183 32.3%	38 6.7%	30 5.3%
	女性	700 100.0%	36 5.1%	347 49.6%	238 34.0%	41 5.9%	38 5.4%
	無回答・不明	57 100.0%	1 1.8%	14 24.6%	10 17.5%	3 5.3%	29 50.9%
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	6 14.3%	20 47.6%	14 33.3%	1 2.4%	1 2.4%
	20歳～29歳	127 100.0%	13 10.2%	74 58.3%	33 26.0%	5 3.9%	2 1.6%
	30歳～39歳	166 100.0%	12 7.2%	86 51.8%	60 36.1%	7 4.2%	1 0.6%
	40歳～49歳	242 100.0%	12 5.0%	115 47.5%	93 38.4%	14 5.8%	8 3.3%
	50歳～59歳	187 100.0%	5 2.7%	88 47.1%	66 35.3%	16 8.6%	12 6.4%
	60歳～64歳	82 100.0%	5 6.1%	38 46.3%	25 30.5%	7 8.5%	7 8.5%
	65歳～69歳	98 100.0%	4 4.1%	45 45.9%	33 33.7%	5 5.1%	11 11.2%
	70歳～74歳	113 100.0%	9 8.0%	52 46.0%	36 31.9%	5 4.4%	11 9.7%
	75歳以上	218 100.0%	17 7.8%	103 47.2%	63 28.9%	20 9.2%	15 6.9%
	無回答・不明	49 100.0%	1 2.0%	9 18.4%	8 16.3%	2 4.1%	29 59.2%
	地区	駅東側周辺	217 100.0%	20 9.2%	104 47.9%	65 30.0%	15 6.9%
駅西側周辺		266 100.0%	18 6.8%	137 51.5%	79 29.7%	13 4.9%	19 7.1%
日出谷地区		283 100.0%	16 5.7%	134 47.3%	102 36.0%	18 6.4%	13 4.6%
坂田地区		266 100.0%	8 3.0%	149 56.0%	89 33.5%	14 5.3%	6 2.3%
加納地区		127 100.0%	15 11.8%	56 44.1%	40 31.5%	10 7.9%	6 4.7%
川田谷地区		109 100.0%	6 5.5%	38 34.9%	45 41.3%	10 9.2%	10 9.2%
無回答		56 100.0%	1 1.8%	12 21.4%	11 19.6%	2 3.6%	30 53.6%

問 高齢者が安心して住み続けられるまちづくりとして、市が特に取り組むべきことは何だと思えますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

**クロス／高齢者が安心して住み続けられるまちづくりとして、市が取り組むべきこと**

性別で見ると、男性・女性ともに「医療施設の整備・充実」が最も高くなっており、次いで「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20～29歳、30～39歳では「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」、その他の年齢では「医療施設の整備・充実」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳、50歳～59歳、70歳～74歳では「福祉施設（サービス付き高齢者向け住宅）の整備と充実」、20歳～29歳、30歳～39歳では「医療施設の整備・充実」、40歳～49歳、60歳～69歳、75歳以上では「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」となっている。

地区で見ると、全地区で「医療施設の整備・充実」が最も高くなっており、次いで「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」となっている。

	調査数（N）	相談窓口の充実や相談機能の強化	壮年期からの健康づくりの推進	学習機会の充実	スポーツ・レクリエーション活動の支援	就労機会の充実	活躍機会の充実	福祉施設（サービス付き高齢者向け住宅）の整備と充実	住宅改造補助の充実	高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）	医療施設の整備・充実	貸付菜園の確保・拡充	その他	特に必要ない	無回答	
全体	1,324	393	215	66	139	262	129	476	254	581	638	58	39	29	50	
性別	男性	567	161	109	27	70	113	51	196	102	253	268	40	18	16	13
	女性	700	226	97	34	66	140	76	266	146	320	357	16	20	12	11
	無回答	57	6	9	5	3	9	2	14	6	8	13	2	1	1	26
		100.0%	10.5%	15.8%	8.8%	5.3%	15.8%	3.5%	24.6%	10.5%	14.0%	22.8%	3.5%	1.8%	1.8%	45.6%
年齢	18歳～19歳	42	6	9	2	8	4	4	15	6	23	14	2	3	5	0
	20歳～29歳	127	39	22	5	16	23	8	42	19	62	55	3	5	3	2
	30歳～39歳	166	35	27	7	18	51	16	51	32	88	67	5	8	4	0
	40歳～49歳	242	55	42	11	24	74	35	79	66	100	104	16	7	6	3
	50歳～59歳	187	62	25	10	13	40	30	79	36	75	106	4	7	1	2
	60歳～64歳	82	32	9	3	7	13	12	32	14	41	50	1	1	1	2
	65歳～69歳	98	40	15	3	12	16	5	33	19	44	55	3	2	1	5
	70歳～74歳	113	42	20	5	16	13	5	49	23	41	63	7	0	3	2
	75歳以上	218	77	39	18	23	22	11	84	34	98	115	16	5	5	9
	無回答	49	5	7	2	2	6	3	12	5	9	9	1	1	0	25
地区	217	63	34	12	25	42	25	74	45	100	108	9	6	7	6	
駅東側周辺	100.0%	29.0%	15.7%	5.5%	11.5%	19.4%	11.5%	34.1%	20.7%	46.1%	49.8%	4.1%	2.8%	3.2%	2.8%	
駅西側周辺	266	79	56	21	33	51	32	114	40	123	128	10	2	3	3	
日出谷地区	100.0%	29.7%	21.1%	7.9%	12.4%	19.2%	12.0%	42.9%	15.0%	46.2%	48.1%	3.8%	0.8%	1.1%	1.1%	
坂田地区	283	92	45	10	24	64	25	90	59	120	127	15	10	7	7	
100.0%	32.5%	15.9%	3.5%	8.5%	22.6%	8.8%	31.8%	20.8%	42.4%	44.9%	5.3%	3.5%	2.5%	2.5%		
加納地区	266	94	40	10	27	50	25	96	53	129	141	13	6	4	3	
100.0%	35.3%	15.0%	3.8%	10.2%	18.8%	9.4%	36.1%	19.9%	48.5%	53.0%	4.9%	2.3%	1.5%	1.1%		
川田谷地区	127	33	19	2	18	23	12	45	21	50	62	6	8	7	3	
100.0%	26.0%	15.0%	1.6%	14.2%	18.1%	9.4%	35.4%	16.5%	39.4%	48.8%	4.7%	6.3%	5.5%	2.4%		
無回答	109	22	13	9	10	25	7	41	29	47	61	4	6	1	2	
100.0%	20.2%	11.9%	8.3%	9.2%	22.9%	6.4%	37.6%	26.6%	43.1%	56.0%	3.7%	5.5%	0.9%	1.8%		
無回答	56	10	8	2	2	7	3	16	7	12	11	1	1	0	26	
	100.0%	17.9%	14.3%	3.6%	3.6%	12.5%	5.4%	28.6%	12.5%	21.4%	19.6%	1.8%	1.8%	0.0%	46.4%	

問 市政全般に対するあなたの関心度について、あてはまる番号1つに○印をおつけください。

**クロス／市政全般への関心度**

性別で見ると、男性は「ある程度関心を持っている」、女性は「あまり関心を持っていない」が最も高くなっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、60歳～64歳では「あまり関心を持っていない」、その他の年齢では「ある程度関心を持っている」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、60歳～64歳では「ある程度関心を持っている」、その他の年齢では「あまり関心を持っていない」となっている。

地区で見ると、加納地区、川田谷地区では「あまり関心を持っていない」が、その他の地区では「ある程度関心を持っている」が、それぞれ最も高くなっている。次いで、加納地区、川田谷地区では「ある程度関心を持っている」、その他の地区では「あまり関心を持っていない」となっている。

		調査数 (N)	とても 関心を持 つ	ある程 度関心 を	あまり 関心 を持 つ	全く 関心 を持 つ	無 回 答
全体		1,324 100.0%	96 7.3%	559 42.2%	504 38.1%	97 7.3%	68 5.1%
性別	男性	567 100.0%	61 10.8%	256 45.1%	195 34.4%	41 7.2%	14 2.5%
	女性	700 100.0%	32 4.6%	293 41.9%	302 43.1%	53 7.6%	20 2.9%
	無回答	57 100.0%	3 5.3%	10 17.5%	7 12.3%	3 5.3%	34 59.6%
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	2 4.8%	12 28.6%	24 57.1%	4 9.5%	0 0.0%
	20歳～29歳	127 100.0%	7 5.5%	38 29.9%	61 48.0%	19 15.0%	2 1.6%
	30歳～39歳	166 100.0%	11 6.6%	52 31.3%	83 50.0%	19 11.4%	1 0.6%
	40歳～49歳	242 100.0%	12 5.0%	97 40.1%	110 45.5%	21 8.7%	2 0.8%
	50歳～59歳	187 100.0%	10 5.3%	88 47.1%	76 40.6%	11 5.9%	2 1.1%
	60歳～64歳	82 100.0%	5 6.1%	28 34.1%	43 52.4%	5 6.1%	1 1.2%
	65歳～69歳	98 100.0%	4 4.1%	60 61.2%	31 31.6%	1 1.0%	2 2.0%
	70歳～74歳	113 100.0%	11 9.7%	54 47.8%	38 33.6%	5 4.4%	5 4.4%
	75歳以上	218 100.0%	31 14.2%	124 56.9%	33 15.1%	9 4.1%	21 9.6%
	無回答	49 100.0%	3 6.1%	6 12.2%	5 10.2%	3 6.1%	32 65.3%
地区	駅東側周辺	217 100.0%	21 9.7%	92 42.4%	81 37.3%	14 6.5%	9 4.1%
	駅西側周辺	266 100.0%	23 8.6%	121 45.5%	104 39.1%	14 5.3%	4 1.5%
	日出谷地区	283 100.0%	19 6.7%	132 46.6%	97 34.3%	29 10.2%	6 2.1%
	坂田地区	266 100.0%	11 4.1%	121 45.5%	108 40.6%	17 6.4%	9 3.4%
	加納地区	127 100.0%	10 7.9%	48 37.8%	57 44.9%	8 6.3%	4 3.1%
	川田谷地区	109 100.0%	8 7.3%	37 33.9%	50 45.9%	11 10.1%	3 2.8%
	無回答	56 100.0%	4 7.1%	8 14.3%	7 12.5%	4 7.1%	33 58.9%

問 あなたは市役所からの市政情報の提供についてどのようにお考えですか。  
 あてはまる番号1つに○印をおつけいただき、「不十分なところ」については（ ）内に具体的にお書きください。

**クロス／市政情報の提供への評価**

性別で見ると、男性・女性ともに「必要な情報が十分伝えられている」が6割以上と最も高くなっており、次いで「一部、不十分なところがある」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「必要な情報が十分伝えられている」が最も高くなっており、次いで18歳～64歳では「一部、不十分なところがある」、65歳以上では「無回答」となっている。

地区で見ると、全地区において「必要な情報が十分伝えられている」が最も高くなっており、次いで川田谷地区では「無回答」、それ以外の地区では「一部、不十分なところがある」となっている。

		調査数 (N)	必要な情報が十分伝 えられている	一部、不十分なところ がある	不十分である	無回答
全体		1,324 100.0%	826 62.4%	224 16.9%	86 6.5%	188 14.2%
性別	男性	567 100.0%	361 63.7%	110 19.4%	42 7.4%	54 9.5%
	女性	700 100.0%	457 65.3%	108 15.4%	42 6.0%	93 13.3%
	無回答	57 100.0%	8 14.0%	6 10.5%	2 3.5%	41 71.9%
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	32 76.2%	6 14.3%	2 4.8%	2 4.8%
	20歳～29歳	127 100.0%	96 75.6%	20 15.7%	4 3.1%	7 5.5%
	30歳～39歳	166 100.0%	106 63.9%	30 18.1%	17 10.2%	13 7.8%
	40歳～49歳	242 100.0%	153 63.2%	49 20.2%	26 10.7%	14 5.8%
	50歳～59歳	187 100.0%	128 68.4%	29 15.5%	12 6.4%	18 9.6%
	60歳～64歳	82 100.0%	50 61.0%	18 22.0%	2 2.4%	12 14.6%
	65歳～69歳	98 100.0%	59 60.2%	15 15.3%	5 5.1%	19 19.4%
	70歳～74歳	113 100.0%	74 65.5%	15 13.3%	5 4.4%	19 16.8%
	75歳以上	218 100.0%	122 56.0%	37 17.0%	12 5.5%	47 21.6%
	無回答	49 100.0%	6 12.2%	5 10.2%	1 2.0%	37 75.5%
地区	駅東側周辺	217 100.0%	133 61.3%	43 19.8%	13 6.0%	28 12.9%
	駅西側周辺	266 100.0%	171 64.3%	49 18.4%	19 7.1%	27 10.2%
	日出谷地区	283 100.0%	187 66.1%	45 15.9%	19 6.7%	32 11.3%
	坂田地区	266 100.0%	179 67.3%	41 15.4%	19 7.1%	27 10.2%
	加納地区	127 100.0%	81 63.8%	24 18.9%	10 7.9%	12 9.4%
	川田谷地区	109 100.0%	66 60.6%	17 15.6%	4 3.7%	22 20.2%
	無回答	56 100.0%	9 16.1%	5 8.9%	2 3.6%	40 71.4%

問 市役所の市政情報（行政サービス）などについて、何から情報を得ていますか。  
次の中から主なもの2つまで選び、番号に○印をおつけください。

**クロス／市政情報**

性別で見ると、男性・女性ともに「広報おけがわ」が8割台と高くなっており、次いで「回覧」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「広報おけがわ」が最も高くなっており、次いで30歳～39歳では「ホームページ」、その他の年齢では「回覧」となっている。

地区で見ると、全地区において「広報おけがわ」が最も高くなっており、次いで「回覧」となっている。

	調査数 (N)	広報おけがわ	議会 会だより	回覧	新聞	掲 示 板	ホ ー ム ペ ー ジ	議 会 傍 聴	議 会 議 員	の自治 合、 団 体	知 人	そ の 他	無 回 答	
全体	1,324 100.0%	<b>1,112</b> <b>84.0%</b>	211 15.9%	<b>339</b> <b>25.6%</b>	81 6.1%	34 2.6%	211 15.9%	0 0.0%	10 0.8%	26 2.0%	89 6.7%	28 2.1%	56 4.2%	
性別	男性	567 100.0%	<b>476</b> <b>84.0%</b>	107 18.9%	<b>148</b> <b>26.1%</b>	39 6.9%	13 2.3%	104 18.3%	0 0.0%	7 1.2%	13 2.3%	30 5.3%	11 1.9%	
	女性	700 100.0%	<b>612</b> <b>87.4%</b>	98 14.0%	<b>185</b> <b>26.4%</b>	42 6.0%	21 3.0%	105 15.0%	0 0.0%	3 0.4%	12 1.7%	59 8.4%	17 2.4%	
	無回答	57 100.0%	<b>24</b> <b>42.1%</b>	6 10.5%	6 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	<b>33</b> <b>57.9%</b>
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	<b>29</b> <b>69.0%</b>	4 9.5%	<b>9</b> <b>21.4%</b>	6 14.3%	3 7.1%	5 11.9%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	7 16.7%	1 2.4%	0 0.0%
	20歳～29歳	127 100.0%	<b>79</b> <b>62.2%</b>	11 8.7%	<b>32</b> <b>25.2%</b>	10 7.9%	4 3.1%	28 22.0%	0 0.0%	2 1.6%	1 0.8%	18 14.2%	7 5.5%	2 1.6%
	30歳～39歳	166 100.0%	<b>126</b> <b>75.9%</b>	18 10.8%	28 16.9%	4 2.4%	3 1.8%	<b>46</b> <b>27.7%</b>	0 0.0%	2 1.2%	1 0.6%	20 12.0%	8 4.8%	3 1.8%
	40歳～49歳	242 100.0%	<b>214</b> <b>88.4%</b>	25 10.3%	<b>60</b> <b>24.8%</b>	8 3.3%	8 3.3%	49 20.2%	0 0.0%	2 0.8%	2 0.8%	15 6.2%	6 2.5%	2 0.8%
	50歳～59歳	187 100.0%	<b>166</b> <b>88.8%</b>	36 19.3%	<b>43</b> <b>23.0%</b>	6 3.2%	2 1.1%	38 20.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.6%	13 7.0%	2 1.1%	3 1.6%
	60歳～64歳	82 100.0%	<b>77</b> <b>93.9%</b>	10 12.2%	<b>23</b> <b>28.0%</b>	2 2.4%	1 1.2%	15 18.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.7%	3 1.2%	1 2.4%	2 1.2%
	65歳～69歳	98 100.0%	<b>92</b> <b>93.9%</b>	17 17.3%	<b>34</b> <b>34.7%</b>	8 8.2%	4 4.1%	13 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.0%	2 2.0%	0 0.0%	3 3.1%
	70歳～74歳	113 100.0%	<b>108</b> <b>95.6%</b>	27 23.9%	<b>43</b> <b>38.1%</b>	9 8.0%	5 4.4%	7 6.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.7%	6 5.3%	0 0.0%	2 1.8%
	75歳以上	218 100.0%	<b>203</b> <b>93.1%</b>	59 27.1%	<b>62</b> <b>28.4%</b>	28 12.8%	4 1.8%	8 3.7%	0 0.0%	3 1.4%	11 5.0%	7 3.2%	2 0.9%	9 4.1%
	無回答	49 100.0%	<b>18</b> <b>36.7%</b>	4 8.2%	5 10.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	<b>31</b> <b>63.3%</b>
地区	駅東側周辺	217 100.0%	<b>185</b> <b>85.3%</b>	33 15.2%	<b>56</b> <b>25.8%</b>	5 2.3%	12 5.5%	32 14.7%	0 0.0%	4 1.8%	6 2.8%	13 6.0%	7 3.2%	7 3.2%
	駅西側周辺	266 100.0%	<b>232</b> <b>87.2%</b>	49 18.4%	<b>55</b> <b>20.7%</b>	15 5.6%	9 3.4%	39 14.7%	0 0.0%	1 0.4%	5 1.9%	18 6.8%	6 2.3%	4 1.5%
	日出谷地区	283 100.0%	<b>242</b> <b>85.5%</b>	47 16.6%	<b>84</b> <b>29.7%</b>	17 6.0%	6 2.1%	53 18.7%	0 0.0%	2 0.7%	6 2.1%	20 7.1%	5 1.8%	4 1.4%
	坂田地区	266 100.0%	<b>237</b> <b>89.1%</b>	41 15.4%	<b>69</b> <b>25.9%</b>	26 9.8%	5 1.9%	48 18.0%	0 0.0%	2 0.8%	4 1.5%	12 4.5%	6 2.3%	3 1.1%
	加納地区	127 100.0%	<b>101</b> <b>79.5%</b>	19 15.0%	<b>35</b> <b>27.6%</b>	12 9.4%	0 0.0%	24 18.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.6%	11 8.7%	2 1.6%	3 2.4%
	川田谷地区	109 100.0%	<b>92</b> <b>84.4%</b>	15 13.8%	<b>35</b> <b>32.1%</b>	4 3.7%	2 1.8%	13 11.9%	0 0.0%	1 0.9%	3 2.8%	14 12.8%	2 1.8%	3 2.8%
	無回答	56 100.0%	<b>23</b> <b>41.1%</b>	7 12.5%	5 8.9%	2 3.6%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	<b>32</b> <b>57.1%</b>

問 あなたは、10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいと思いますか。  
次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

### クロス／桶川市の将来像

性別で見ると、男性では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」及び「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が最も高くなっている。女性では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が最も高くなっており、次いで「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」、40歳～49歳、65歳～69歳では「子供が育つ環境や教育環境が良いまち」及び「医療機関や保健サービスが充実しているまち」、50歳～59歳、60歳～64歳、70歳～74歳、75歳以上では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」及び「防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち」、20歳～29歳、30歳～39歳では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」、50歳～59歳では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」、60歳～64歳、70歳～74歳では「高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち」、75歳以上では「高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち」及び「防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち」となっている。

地区で見ると、駅東側周辺、駅西側周辺、日出谷地区において「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が最も高く、坂田地区、加納地区、川田谷地区では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、駅西側周辺、日出谷地区では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」、坂田地区、加納地区、川田谷地区では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」となっている。

	調査数 (N)	子どもが育つ環境や教育環境が良いまち	文化・芸術・スポーツに力を入れているまち	歴史や伝統を大切にしているまち	充実しているまち	医療機関や保健サービスが充実しているまち	高齢者や障害者への福祉サービスが充実しているまち	地球にやさしいまち	環境への負荷に配慮した、安全で安心して暮らせるまち	防犯や防犯などにすぐれ、美しい街並みや都市景観のあるまち	道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち	水辺や緑など、自然環境の良いまち	産業活動が活発なまち	農業・工業・商業など、人が集い、賑わいのある観光事業が盛んなまち	働く場所の多いまち	その他	無回答
全体	1,324 100.0%	635 48.0%	134 10.1%	93 7.0%	658 49.7%	456 34.4%	111 8.4%	530 40.0%	153 11.6%	282 21.3%	123 9.3%	173 13.1%	111 8.4%	155 11.7%	6 0.5%	65 4.9%	
性別	男性	567 100.0%	273 48.1%	77 13.6%	54 9.5%	273 48.1%	189 33.3%	43 7.6%	230 40.6%	79 13.9%	132 23.3%	65 11.5%	86 15.2%	44 7.8%	62 10.9%	2 0.4%	6 1.1%
	女性	700 100.0%	358 51.1%	57 8.1%	38 5.4%	378 54.0%	264 37.7%	67 9.6%	294 42.0%	73 10.4%	147 21.0%	56 8.0%	85 12.1%	67 9.6%	91 13.0%	4 0.6%	14 2.0%
	無回答	57 100.0%	4 7.0%	0 0.0%	1 1.8%	7 12.3%	3 5.3%	1 1.8%	6 10.5%	1 1.8%	3 5.3%	2 3.5%	2 3.5%	0 0.0%	2 3.5%	0 0.0%	45 78.9%
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	24 57.1%	10 23.8%	1 2.4%	15 35.7%	9 21.4%	4 9.5%	15 35.7%	7 16.7%	12 28.6%	2 4.8%	7 16.7%	6 14.3%	3 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳～29歳	127 100.0%	80 63.0%	22 17.3%	10 7.9%	54 42.5%	28 22.0%	14 11.0%	40 31.5%	17 13.4%	40 31.5%	10 7.9%	21 16.5%	14 11.0%	13 10.2%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳～39歳	166 100.0%	113 68.1%	18 10.8%	6 3.6%	79 47.6%	32 19.3%	10 6.0%	73 44.0%	17 10.2%	45 27.1%	19 11.4%	21 12.7%	20 12.0%	20 12.0%	3 1.8%	0 0.0%
	40歳～49歳	242 100.0%	119 49.2%	28 11.6%	19 7.9%	119 49.2%	77 31.8%	19 7.9%	106 43.8%	40 16.5%	51 21.1%	22 9.1%	41 16.9%	15 6.2%	34 14.0%	0 0.0%	2 0.8%
	50歳～59歳	187 100.0%	80 42.8%	18 9.6%	17 9.1%	103 55.1%	78 41.7%	16 8.6%	68 36.4%	26 13.9%	37 19.8%	20 10.7%	20 10.7%	14 7.5%	33 17.6%	1 0.5%	2 1.1%
	60歳～64歳	82 100.0%	32 39.0%	4 4.9%	5 6.1%	49 59.8%	42 51.2%	6 7.3%	38 46.3%	5 6.1%	16 19.5%	10 12.2%	10 12.2%	7 8.5%	9 11.0%	1 1.2%	2 2.4%
	65歳～69歳	98 100.0%	53 54.1%	7 7.1%	8 8.2%	53 54.1%	44 44.9%	13 13.3%	45 45.9%	13 13.3%	15 15.3%	9 9.2%	9 9.2%	9 9.2%	10 10.2%	0 0.0%	0 0.0%
	70歳～74歳	113 100.0%	47 41.6%	7 6.2%	7 6.2%	72 63.7%	55 48.7%	14 12.4%	50 44.2%	7 6.2%	24 21.2%	10 8.8%	11 9.7%	9 8.0%	11 9.7%	0 0.0%	1 0.9%
	75歳以上	218 100.0%	85 39.0%	20 9.2%	19 8.7%	113 51.8%	91 41.7%	14 6.4%	91 41.7%	21 9.6%	40 18.3%	21 9.6%	31 14.2%	17 7.8%	22 10.1%	1 0.5%	14 6.4%
	無回答	49 100.0%	2 4.1%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	1 2.0%	4 8.2%	0 0.0%	2 4.1%	0 0.0%	2 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	44 89.8%
地区	駅東側周辺	217 100.0%	97 44.7%	27 12.4%	18 8.3%	121 55.8%	76 35.0%	13 6.0%	93 42.9%	33 15.2%	57 26.3%	22 10.1%	18 8.3%	18 8.3%	26 12.0%	1 0.5%	3 1.4%
	駅西側周辺	266 100.0%	141 53.0%	30 11.3%	21 7.9%	150 56.4%	107 40.2%	22 8.3%	110 41.4%	31 11.7%	32 12.0%	20 7.5%	32 12.0%	21 7.9%	29 10.9%	0 0.0%	4 1.5%
	日出谷地区	283 100.0%	139 49.1%	29 10.2%	15 5.3%	140 49.5%	108 38.2%	28 9.9%	121 42.8%	29 10.2%	59 20.8%	33 11.7%	39 13.8%	18 6.4%	43 15.2%	1 0.4%	4 1.4%
	坂田地区	266 100.0%	135 50.8%	23 8.6%	17 6.4%	134 50.4%	93 35.0%	24 9.0%	120 45.1%	36 13.5%	59 22.2%	22 8.3%	35 13.2%	24 9.0%	36 13.5%	2 0.8%	4 1.5%
	加納地区	127 100.0%	70 55.1%	12 9.4%	7 5.5%	64 50.4%	37 29.1%	11 8.7%	38 29.9%	17 13.4%	40 31.5%	12 9.4%	23 18.1%	20 15.7%	9 7.1%	1 0.8%	2 1.6%
	川田谷地区	109 100.0%	48 44.0%	12 11.0%	14 12.8%	45 41.3%	33 30.3%	11 10.1%	42 38.5%	7 6.4%	33 30.3%	14 12.8%	24 22.0%	8 7.3%	11 10.1%	1 0.9%	2 1.8%
	無回答	56 100.0%	5 8.9%	1 1.8%	1 1.8%	4 7.1%	2 3.6%	2 3.6%	6 10.7%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%	2 3.6%	2 3.6%	1 1.8%	0 0.0%	46 82.1%



# 【調査票】

## 桶川市のまちづくりについて

### ご意見をお聞かせください

市民意識調査へのご協力をお願い

平素から市民の皆様には、市政にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

桶川市では、平成23年に策定した第五次総合振興計画に掲げたまちの将来像「みんなで作る 育む 活気あふれる交流拠点都市 おけがわ」の実現に向け、総合的かつ計画的なまちづくりを進めております。この計画の進行状況を把握するとともに、令和3年度から始まる次期総合計画の策定に向けた基礎資料とするため、このたび、市民意識調査を実施することにいたしました。

この調査票は、桶川市に住民登録をされている18歳以上の市民3,000名を無作為に抽出し、お送りしています。

なお、この調査票は統計的に処理し、目的以外には利用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年12月 桶川市長 小野克典


ご記入にあたってのお願い

- あて名のご本人がご自分の考えでお答えください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族などがご本人のお考えを聞きながらご記入ください。
- ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いします。
- 選択する○の数や、次の問への進み方にご注意ください。

**令和2年1月17日（金）まで**に、下の①または②

どちらかの方法でご回答をお寄せください。なお、調査票及び封筒には、住所・氏名をお書きにならなくて結構です。

- ご不明な点がございましたら、以下のお問合せ先までお問合せください。

①郵送で ご回答の場合	この調査票に直接ご回答をご記入いただき、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにご投函ください。
②インターネット でご回答の場合	下のQRコードまたはURLアドレスから、ご回答サイトへお進みください。なお、二重回答を防ぐため、次のコードをご入力ください。  URL: <a href="https://jp.surveymonkey.com/r/okegawa_eng">https://jp.surveymonkey.com/r/okegawa_eng</a> ○コード: <b>aaaaaa</b> ※英小文字のみ6桁 ※このコードにより、ご回答者が特定されることはありません。

<お問合せ先> 桶川市役所 企画財政部 企画調整課  
〒363-8501 埼玉県桶川市泉 1-3-28  
電話: 048-788-4903/FAX: 048-787-5409  
E-mail: kikaku@city.okegawa.lg.jp

問1 あなたは、今住んでいる桶川市を住みよい所であると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           1. 住みよい            2. どちらかといえば住みよい         </div> 3. ふつう	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           4. どちらかといえば住みにくい            5. 住みにくい         </div> 6. わからない
↓	↓

問1-1 「1.住みよい」「2.どちらかといえば住みよい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(○は2つまで)

1. 自然環境がよい
2. 道路の状況がよい
3. 都市基盤施設や公共施設が充実している
4. 住宅(生活)環境がよい
5. 通勤、通学、買い物の便がよい
6. 子どもの教育環境がよい
7. 地域コミュニティがよい
8. 住み慣れている
9. 騒音、振動、大気汚染等の公害がない
10. 災害の心配が少ない
11. 商売や事業がしやすい
12. 防犯面で安全・安心である
13. 高齢者に対する支援が充実している
14. 医療機関が充実している
15. 障害者に対する支援が充実している
16. 文化活動の内容が充実している
17. その他 ( )

問1-2 「4.どちらかといえば住みにくい」「5.住みにくい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(○は2つまで)

1. 自然環境がよくない
2. 道路の状況がよくない
3. 都市基盤施設や公共施設が充実していない
4. 住宅(生活)環境がよくない
5. 通勤、通学、買い物に不便
6. 子どもの教育環境がよくない
7. 地域コミュニティがよくない
8. 住み慣れていない
9. 騒音、振動、大気汚染等の公害がある
10. 災害が心配である
11. 商売や事業がしにくい
12. 防犯面で不安を感じる
13. 高齢者に対する支援が充実していない
14. 医療機関が充実していない
15. 障害者に対する支援が充実していない
16. 文化活動の内容が充実していない
17. その他 ( )

問2 あなたは、次に示す桶川市の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○印をおつけください。

	満足 とても	満足 やや	満足 やや	不満 やや	不満 とても
<b>(1)地域社会について</b>					
ア. 近所づきあいや地域のつながり	1	2	3	4	5
イ. 自治会・町内会等の地域活動	1	2	3	4	5
ウ. 子どもを育てる場所として	1	2	3	4	5
エ. 高齢者が生活する場所として	1	2	3	4	5
<b>(2)教育・文化について</b>					
オ. 図書館や公民館などにおける社会教育活動	1	2	3	4	5
カ. 文化・芸術活動	1	2	3	4	5
キ. スポーツ・レクリエーション活動	1	2	3	4	5
ク. 生涯学習の機会・内容	1	2	3	4	5
ケ. 国際交流の推進	1	2	3	4	5
<b>(3)保健医療・福祉について</b>					
コ. 健康診断などの保健活動	1	2	3	4	5
サ. 病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
シ. 保育所・放課後児童クラブなどにおける子育て支援サービス	1	2	3	4	5
ス. 高齢者福祉サービス	1	2	3	4	5
セ. 障害者福祉サービス	1	2	3	4	5
<b>(4)衛生について</b>					
ソ. 家庭ゴミの収集・処理	1	2	3	4	5
タ. し尿や家庭雑排水の処理	1	2	3	4	5
<b>(5)安全性について</b>					
チ. 信号機・ガードレールなどの交通安全施設	1	2	3	4	5
ツ. 地震や風水害などへの災害対策	1	2	3	4	5
テ. 防犯灯などの防犯施設	1	2	3	4	5
<b>(6)便利さについて</b>					
ト. バスの利用（市内循環バス「べにばなGO」）	1	2	3	4	5
ナ. バスの利用（路線バス）	1	2	3	4	5
ニ. 鉄道の利用	1	2	3	4	5
ヌ. 買い物・金融機関などの利用	1	2	3	4	5

	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である
<b>(7)快適さについて</b>					
ネ. みどりの豊かさなどの自然環境	1	2	3	4	5
ノ. 川などの水辺と親しめる環境	1	2	3	4	5
ハ. 音や振動のない静けさ	1	2	3	4	5
ヒ. 空気のきれいさ	1	2	3	4	5
<b>(8)公共施設等について</b>					
ル. 保育所や幼稚園などの施設	1	2	3	4	5
レ. 小学校や中学校などの施設	1	2	3	4	5
ロ. 子どもの遊び場や公園など	1	2	3	4	5
リ. 道路の整備状況	1	2	3	4	5
ミ. 下水道の整備状況	1	2	3	4	5
ム. 趣味や学習のための施設	1	2	3	4	5
メ. グラウンドなどのスポーツ施設	1	2	3	4	5
<b>(9)市政について</b>					
モ. 窓口・電話口での職員の対応	1	2	3	4	5
ヤ. 住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	1	2	3	4	5
1. 広報「おけがわ」の内容	1	2	3	4	5
3. 市のホームページの内容	1	2	3	4	5
5. 行政のスリム化	1	2	3	4	5
リ. 市民意見・要望の市政への反映	1	2	3	4	5

問3 あなたは、今後も桶川市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 住み続けるつもりでいる  | 3. 事情が許せば転出したい |
| 2. 事情が許せば住み続けたい | 4. 転出するつもりでいる  |

問4 前問で「3. 事情が許せば転出したい」、あるいは「4. 転出するつもりでいる」を選んだ方におたずねします。その理由は何でしょうか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 家族構成が変わったから         | 9. 自然環境がよくないから         |
| 2. 家賃や地価が高いから          | 10. 道路などの都市基盤が整っていないから |
| 3. 仕事の都合で              | 11. 公共施設が不足しているから      |
| 4. 通勤・通学する際に不便だから      | 12. 災害などの発生時に不安があるから   |
| 5. 日常の買い物が不便だから        | 13. 子育て環境がよくないから       |
| 6. 知人や親戚がいない、少ないから     | 14. その他 ( )            |
| 7. 教育環境がよくないから         | 15. 特に理由はない            |
| 8. 高齢者の介護サービスなどがよくないから |                        |

## 自由時間の過ごし方について

問5 あなたは、平日の自由時間や、週末などの休日の自由時間に、現在どのように過ごしていますか。また、どのような過ごし方をしたいと希望していますか。次の中から主なもの5つまでを選び、番号に○印をおつけください。

	現在の過ごし方 (○は5つまで)	希望の過ごし方 (○は5つまで)
テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など	1	1
パソコン、スマートフォン、ゲームなど	2	2
家族とのだんらん	3	3
友人などとのつきあい	4	4
軽い運動	5	5
市内でのスポーツ活動	6	6
市外でのスポーツ活動	7	7
市内での文化・芸術活動	8	8
市外での文化・芸術活動	9	9
ボランティア・社会参加活動	10	10
スポーツ観戦、観測など	11	11
趣味・娯楽	12	12
学習活動	13	13
ショッピング、飲食	14	14
行楽、旅行	15	15
何もしないでのんびり過ごす	16	16
その他	17	17

## まちづくり全般について

問6 次の項目のうち、ここ数年で（桶川市に転入して間もない方は、お住まいになってから）よくなったと感じる項目を3つ選んで、その番号を「回答欄ア」にご記入ください。

また、もっと住みよいまちにするために、これからの市政において特に力を入れるべき項目を次の中から3つ選び、その番号を「回答欄イ」にご記入ください。

回答欄	ア. よくなったもの 3つ			
	イ. 力をいれてほしいもの 3つ			

1. 土地利用の適正化	21. こども医療費の無料化の充実
2. 市街地の整備	22. 女性の地位向上（男女共同参画）
3. 桶川駅の整備	23. 情報提供の充実
4. 市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	24. 国際交流の推進
5. 身近な生活道路の整備	25. ボランティア活動の支援育成
6. 上水道の整備	26. 農業の振興
7. 公共下水道の整備	27. 工業の活性化、企業誘致
8. 治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	28. 地元商業の振興
9. 自然環境の保全	29. 雇用対策
10. 良好な住宅地の整備	30. 桶川駅周辺の中心市街地の活性化
11. 街並み・景観づくり	31. 観光振興
12. 信号機など交通安全施設整備	32. スポーツ・レクリエーションの振興
13. 公害防止対策	33. 学校教育の充実
14. 消防、防災、防犯対策の充実	34. 生涯学習の振興
15. 公園・緑地の整備	35. 地域文化の振興
16. ゴミの減量化やリサイクルの推進	36. 広域行政の推進
17. 保健や医療の充実	37. 公共施設の市町間の相互利用の推進
18. 高齢者福祉サービスの充実	38. 行政のスリム化
19. 障害者福祉サービスの充実	39. その他（
20. 出産・子育て支援サービスの充実	40. 特にな

## 桶川市の土地利用について

桶川市では現在、下図のように土地利用構想を策定し、まちづくりを推進しています。

桶川駅周辺を商業系ゾーン、既存工業団地や工業地を工業系ゾーンに土地利用を区分するとともに、首都圏中央連絡自動車道のインターチェンジ周辺には複合開発エリアを設定しています。

また将来、人口減少、少子高齢化の一層の進展が見込まれることから、集約型の都市構造として、日常の生活圏において、地域福祉、医療、買物サービスなどが利用でき、安心して住み続けられる「歩いて暮らせるまちづくり」の形成を図ることとしています。具体的には、桶川駅周辺の中心市街地に都市拠点、坂田地区・日出谷地区の東西の新市街地に地域生活拠点、加納地区・川田谷地区・日出谷地区の北部にコミュニティ拠点を位置付け、各拠点に日常的なサービス機能を集積し、これらの拠点を公共交通ネットワークでつなぐことで、地域間交流の促進を図ることとしています。

これらを踏まえ、今後の土地利用の基本的な方向性について、問7～問11にお答えください。

桶川市の土地利用構想図（略図）



※上図は、桶川市第五次総合振興計画における土地利用構想図を簡略化したものです。

問7 桶川市の将来を考える上で、土地を計画的に利用していく必要がありますが、今後どのような方向性が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1. 住宅地を増やす      | 6. 農地の保全を進める |
| 2. 現在の住宅地の質を高める | 7. 開発を抑制していく |
| 3. 工業地を増やす      | 8. 現状のままでよい  |
| 4. 商業地を増やす      | 9. その他 ( )   |
| 5. 緑地を増やす       |              |

問 8 今後の住宅地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. 市域全体に住宅地を増やしていく                   | 3. 現状のままでよい |
| 2. 街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める | 4. その他 ( )  |

問 9 今後の工業地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |  |
|--|
| 1. 積極的な企業誘致を行うため、新たな工業地の造成を推進する                              |
| 2. 住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の移転用の工業地を造成するなど、土地利用の整序を推進する |
| 3. 周辺の住宅地や農地などと調和するように、さらに緩衝緑地を増やす                           |
| 4. 現状のままでよい  |
| 5. その他 ( )   |

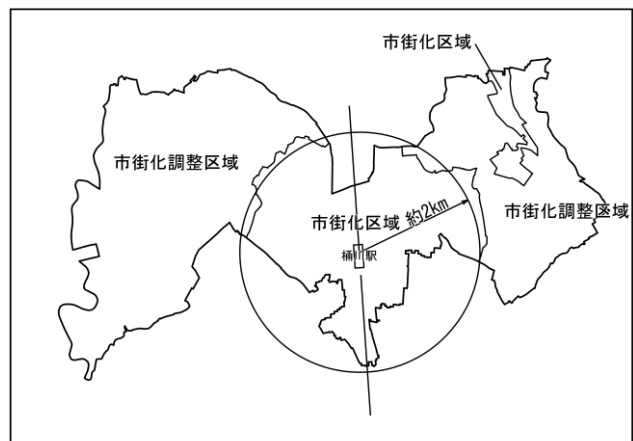
問 10 今後の商業地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |                           |
|---------------------------|
| 1. 桶川駅周辺の商業施設の充実を促進する     |
| 2. 幹線道路沿いへの商業施設の誘致を推進する   |
| 3. 住宅地の近くに近隣型商業施設の分散立地を図る |
| 4. 現状のままでよい               |
| 5. その他 ( )                |

問 11 今後の市街化調整区域※のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |  |
|--|
| 1. 農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく             |
| 2. 農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく |
| 3. 農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく         |
| 4. 現状のままでよい                              |
| 5. その他 ( )                               |

※「市街化調整区域」とは「市街化を抑制すべき区域」であり、原則として開発など建築行為が制限されています。一方、市街化区域は、計画的に市街化を促進する区域です。桶川市では、主に駅を中心に 2km 程度の範囲を市街化区域（一部飛び地あり）、それ以外を市街化調整区域としています。（右図参照）





## 都市整備について

問12 お住まいの地域や市内に特に整備を望む公共施設等がありますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

- |                                    |                                     |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 市営駐車場                           | 13. 美術品・芸術品等を鑑賞できる施設                |
| 2. 市営駐輪場                           | 14. 市内を自転車で行き来できる自転車道路              |
| 3. 公民館                             | 15. 交番や駐在所など、地域防犯のための施設             |
| 4. 市民協働*活動センター                     | 16. バス停留所・バス路線                      |
| 5. 地区住民が気軽に交流できる施設<br>(コミュニティセンター) | 17. 安心して通行できる道路                     |
| 6. 図書館                             | 18. 児童館や子育て支援センターなど、<br>子育て支援のための施設 |
| 7. 総合運動場など、複合的なスポーツ施設              | 19. 下水道                             |
| 8. 身近でスポーツなどができる広場                 | 20. その他( )                          |
| 9. 子どもたちが安全に遊べる身近な公園               | 21. 特にない                            |
| 10. 病院                             |                                     |
| 11. 高齢者の生活を支援するための施設               |                                     |
| 12. 住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の支所    |                                     |

※「協働」とは、市民と行政が対等な立場で協力し、互いに同じ目的意識を持ちながら目的達成に向けてまちづくりに取り組んでいくこと。

## 景観について

問13 あなたは、桶川市には優れた景観があると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. あると思う         | 3. どちらかといえばあると思わない |
| 2. どちらかといえばあると思う | 4. あると思わない         |

問14 問13で、「1.あると思う」あるいは「2.どちらかといえばあると思う」を選んだ方におたずねします。特に優れた景観として挙げられるものを具体的にお書きください。

## 協働(※)と参画のまちづくりについて

問15 あなたは、桶川市では、協働\*のまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

※「協働」とは、市民と行政が対等な立場で協力し、互いに同じ目的意識を持ちながら目的達成に向けてまちづくりに取り組んでいくこと。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そうと思わない        |

問16 今後さらに「協働のまちづくり」を進める上で、市が特に取り組むべきことはなんでしょうか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

- |   |
|---|
| 1. 市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する                    |
| 2. まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする                 |
| 3. まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる           |
| 4. 自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める                |
| 5. 地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる                |
| 6. 活動に対する社会的評価を高める（協働事業の表彰制度など）               |
| 7. ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める         |
| 8. ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる       |
| 9. 活動団体やグループを資金面で支援する                         |
| 10. 行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する                   |
| 11. 行政の意識改革や人材育成に努める                          |
| 12. その他（ <span style="float: right;">）</span> |
| 13. 特にない                                      |

問17 あなたは、社会全体における男女の地位について、どのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 男性の方が優遇されている         | 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている | 5. 女性の方が優遇されている         |
| 3. 平等                   |                         |

問18 男女共同参画社会のために、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1. 社会における男女共同参画に関する啓発活動 | 7. 育児や介護への社会的支援の充実                            |
| 2. 学校における男女共同参画に関する教育   | 8. 女性に対する差別や人権侵害への対策                          |
| 3. 雇用格差の解消              | 9. ワーク・ライフ・バランス*の推進                           |
| 4. 政策や意思決定等の場での女性登用の促進  | 10. 男女共同参画の視点に立った防災・防犯対策                      |
| 5. 女性の意識や能力の向上          |   |
| 6. 男性の意識や能力の向上          | 11. その他（ <span style="float: right;">）</span> |

※「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」の意味で、働きながら私生活も充実させられるように職場や社会環境を整えること。

### 子育て支援について

問19 あなたは、桶川市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そうと思わない        |

問20 安心して子どもを育てられるまちにするために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 出産や子育てに関する相談・支援体制の充実 | 4. こども医療費助成制度など経済的支援の充実 |
| 2. 多様な保育サービスの充実         | 5. その他（ ）               |
| 3. 子育てを支援する地域づくりの促進     | 6. 特にない                 |

### 高齢者の生活について

問21 あなたは、桶川市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そうと思わない        |

問22 高齢者が安心して住み続けられるまちづくりとして、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

- |                              |                                      |
|------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 相談窓口の充実や相談機能の強化           | 8. 住宅改造補助の充実                         |
| 2. 壮年期からの健康づくりの推進            | 9. 高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化） |
| 3. 学習機会の充実                   | 10. 医療施設の整備・充実                       |
| 4. スポーツ・レクリエーション活動の支援        | 11. 貸付菜園の確保・拡充                       |
| 5. 就労機会の充実                   | 12. その他（ ）                           |
| 6. 活躍機会の充実                   | 13. 特に必要ない                           |
| 7. 福祉施設（サービス付き高齢者向け住宅）の整備と充実 |                                      |

### 地球温暖化への取り組みについて

問23 あなたは、普段の生活の中で、地球温暖化への取り組みをしていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. している     | 3. あまりしていない |
| 2. ときどきしている | 4. 全くしていない  |

問24 次のうち、あなたが取り組んでいるものはありますか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。

1. 車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている
2. 近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている
3. 買い物にはマイバックを持参している
4. 冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以下に設定するようにしている
5. こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている
6. 自宅にソーラーパネルを設置している
7. シャワーや食器洗いの際に、水を節約している
8. 生ゴミなどのコンポスト化(※)を行っている
9. その他 ( )
10. 特に何もしていない

※「コンポスト化」とは、野菜くずや残飯などの生ゴミや、落ち葉などを堆肥に変えること。

### 観光振興について

問25 あなたは、桶川市の更なる観光振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. インターネット等を活用したPRや情報発信の強化
2. 中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進
3. 観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進
4. 食やお土産等の商品づくりやブランド化の推進
5. 観光ボランティアガイドの育成支援など、住民主体の観光まちおこしの支援
6. 観光資源(自然や歴史文化)の掘り起こしと創造
7. 近隣市町と連携した広域的観光の推進
8. 観光案内板、マップ、散策ルートづくりなどの充実
9. その他 ( )

問26 あなたは、観光振興にかかわる、次のどの活動への参加に興味がありますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. 郷土学習会への参加
2. 観光資源発掘ツアー(まち歩き)への参加
3. 観光マップや散策ルートづくりへの参加
4. 文化財など、資源を守り育てる活動への参加
5. 観光ボランティアガイド
6. その他 ( )
7. 興味はない

## 公共施設の利用について

問27 現在、あなたは桶川市の公共施設を利用していますか。利用している場合、年間の利用頻度であてはまる番号1つに○印をおつけください。  
また、利用頻度が低い（4 または 5 と回答した）場合は、その理由としてあてはまる番号すべてに○印をおつけください。

施設	利用頻度 (1つ選び、番号に○)					利用頻度が低い理由 (左表④・⑤の場合、 あてはまる番号すべてに○)						
	① ほぼ毎日	② 週に1回以上	③ 月に1回以上	④ 年に数回程度	⑤ ほぼ利用していない	① 利用する必要(機会)がない	② 利用日・利用時間が合わない	③ 利用したい設備・機能がない	④ 交通アクセスが不便	⑤ 民間や市外の同様の施設を利用	⑥ 施設の存在を知らない	⑦ その他
桶川市民ホール	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
勤労福祉会館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
市民活動サポートセンター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
コミュニティセンター (スマイルピアザ坂田)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
公民館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
図書館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
歴史民俗資料館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
屋内スポーツ施設(桶川サン・アリーナ)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
屋外スポーツ施設(総合運動場など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
児童館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
子育て支援センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
児童発達支援センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
保健センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
老人福祉センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
べに花ふるさと館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
農業センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
行政系施設(市庁舎など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
公園	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7

※左表で④・⑤の場合は右表も回答

### 桶川駅周辺の中心市街地について

問28 あなたは、桶川駅周辺の中心市街地には、どのような機能や場を今後、充実させる必要があると思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. 行政サービス機能	8. スポーツのできる場
2. 地域住民の交流機能	9. コンサートやイベントのできる場
3. 買い物のできる商業機能	10. 飲食のできる場
4. 福祉・医療機能	11. オフィス機能
5. 文化・芸術の発信、鑑賞の場	12. ホテル等の宿泊機能
6. 子育て支援機能	13. その他 ( )
7. 教育機能	

### 日常生活で利用する施設について

問29 あなたが日常生活で利用する施設についてお伺いします。利用する施設について、それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を1つ選び、番号に○印をおつけください。

①日常の買い物	
生鮮食品（食料品）	1. 主に市内で購入      2. 主に市外で購入 3. 購入しない
洋服などの衣料品	1. 主に市内で購入      2. 主に市外で購入 3. 購入しない
②施設の利用	
趣味・娯楽	1. 主に市内の施設を利用      2. 主に市外の施設を利用 3. 利用しない
外食（飲食）	1. 主に市内の施設を利用      2. 主に市外の施設を利用 3. 利用しない
運動（スポーツ）	1. 主に市内の施設を利用      2. 主に市外の施設を利用 3. 利用しない

問30 市政全般に対するあなたの関心度について、あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. とても関心を持っている  | 3. あまり関心を持っていない |
| 2. ある程度関心を持っている | 4. 全く関心を持っていない  |

問31 市役所の市政情報（行政サービス）などについて、何から情報を得ていますか。次の中から主なもの2つまで選び、番号に○印をおつけください。

- |           |           |              |            |
|-----------|-----------|--------------|------------|
| 1. 広報おけがわ | 4. 新聞     | 7. 議会傍聴      | 10. 知人     |
| 2. 議会だより  | 5. 掲示板    | 8. 議会議員      | 11. その他（ ） |
| 3. 回覧     | 6. ホームページ | 9. 自治会、団体の会合 |            |

問32 あなたは市役所からの市政情報の提供についてどのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけいただき、「不十分なところ」については（ ）内に具体的にお書きください。

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| 1. 必要な情報が十分伝えられている            |  |
| 2. 一部、不十分なところがある →（不十分なところ： ） |  |
| 3. 不十分である →（不十分なところ： ）        |  |

問33 あなたは、今後の税の使途や負担について、どのようなお考えをお持ちですか。次の各項目について、最もあてはまると思われる番号1つに○印をおつけください。

	負担が増えても、サービス水準を上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない
1. 行政サービス全般	1	2	3	4	5
2. <b>都市基盤整備の経費</b> （道路や公共施設などの維持・建替え・新設など）	1	2	3	4	5
3. <b>防災・減災対策の経費</b> （耐震事業や防災資機材の備蓄、防災知識の普及など）	1	2	3	4	5
4. <b>教育のための経費</b> （教育内容の充実や教育環境の整備など）	1	2	3	4	5
5. <b>福祉のための経費</b> （増加する高齢者や減少する子どものための費用など）	1	2	3	4	5
6. <b>公共施設の使用料等</b> （公民館の使用料、スポーツ施設の使用料など）	1	2	3	4	5

問34 「桶川市第五次総合振興計画」の施策（詳細は、P.21、22 をご覧ください。）に関する以下の40項目について、「満足度」と「充実希望度」を、それぞれ回答してください。  
「満足度」と「充実希望度」を5段階で評価したときのあなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。  
なお、「充実希望度」は「今後、桶川市がどの程度充実していくべきか」という観点でお答えください。

		満足度					充実希望度				
		満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である	充実すべき	やや充実すべき	現状程度でよい	優先度を下げるべき	どちらともいえない
回答例 ○○の整備		1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
参画・協働	1. 協働の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 自主的活動の推進と交流促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	4. 就学前教育の支援・充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5. 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. 青少年の健全な育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7. 生涯学習・生涯スポーツの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. 人権教育・啓発と平和の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 文化・芸術の振興・保存・継承	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
健康・福祉	10. 健康づくりの推進・医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11. 子育て支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12. 高齢者施策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 障害者（児）支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 地域福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 自立した生活への支援体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16. ノーマライゼーション※の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民生活	17. 地球温暖化対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 資源循環型社会の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19. 快適で衛生的な地域環境の創出	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 防災対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 防犯まちづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22. 交通安全対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 安全な消費生活の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



		満足度					充実希望度				
		満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である	充実すべき	やや充実すべき	現状程度でよい	優先度を下げるべき	どちらかといえばない
みどり・都市基盤	24. 良好な住環境の創出と保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25. 歩いて暮らせるまちの実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27. 都市計画道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28. 生活道路の整備・改善	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29. 憩いの自然空間の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	30. みどり空間の創出	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業	31. 治水対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	32. 農業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33. 工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34. 商業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行財政運営	36. 就労支援と勤労者福利厚生の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37. 計画行政の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38. 経営的な視点からの財政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	39. 情報共有の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40. 広域行政の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

※「ノーマライゼーション」とは、高齢者や障害者であっても、地域で普通（ノーマル）の生活ができ、かつ、差別されることのない社会が通常であるという考え方のこと。

問35 あなたは、10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち
2. 文化・芸術・スポーツに力を入れているまち
3. 歴史や伝統を大切にすまち
4. 医療機関や保健サービスが充実しているまち
5. 高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち
6. 環境への負荷に配慮した、地球にやさしいまち
7. 防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち
8. 美しい街並みや都市景観のあるまち
9. 道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち
10. 水辺や緑など、自然環境の良いまち
11. 農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち
12. 人が集い、賑わいのある観光事業が盛んなまち
13. 雇用環境が充実して、働く場所の多いまち
14. その他 ( )

問36 あなたは、将来の人口減少社会に向けてどのようなところに不安を感じていますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. 地域を支える担い手の不足  | 6. 地域の伝統や文化の喪失 |
| 2. 地域を支える産業の衰退   | 7. 公的サービスの縮小   |
| 3. 商店街などのにぎわいの喪失 | 8. 公共交通手段の縮小   |
| 4. 地域コミュニティの希薄化  | 9. 社会保障費の負担増加  |
| 5. 空き家・空き地の増加    | 10. その他 ( )    |

問37 これからの桶川市のまちづくりについて、何かご意見やご提案（アイデア）、夢をお持ちでしたら、自由にご意見をお書きください。




問一7 あなたは桶川市に何年お住まいになっていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 5年未満      | 3. 10年以上20年未満 |
| 2. 5年以上10年未満 | 4. 20年以上      |

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

郵送でご回答される場合は、令和2年1月17日（金）までに、同封の返信用封筒に本調査票を入れ、切手を貼らずに投函ください。

《参考》「桶川市第五次総合振興計画」の施策の概要

	施策名	目指す姿	対象
参画・協働	1. 協働の推進	・協働の手法やルールが確立され、市民が主体的にまちづくりに関わり活動している	市民、市民公益活動団体、企業及び事業者等
	2. 自主的活動の推進と交流促進	・まちづくりへの理解を深め、ボランティア活動等を通して参画している ・いろいろな団体が交流しながらまちづくり活動を行っている ・多様な国際交流活動を展開している	市民、ボランティア団体、NPO 法人、自治会
	3. 男女共同参画社会の推進	・男女が互いに理解し、それぞれの生き方や価値観を尊重しながら、社会のあらゆる分野で活躍している	市民、市民団体、企業、ドメスティック・バイオレンス (DV) 被害者
教育・文化	4. 就学前教育の支援・充実	・心身共に健やかに成長している ・子どもの成長を相談する環境が整っている	未就学児、保護者
	5. 学校教育の充実	・生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を身に付けている	小・中学生、学校、保護者、地域
	6. 青少年の健全な育成	・基本的な社会生活習慣を身に付けている ・家庭と地域が連携して安心・安全な生活を営んでいる	青少年、保護者、地域
	7. 生涯学習・生涯スポーツの充実	・いつでも、どこでも、学習する場がある ・年齢や体力などに応じてスポーツに取り組んでいる	市民
	8. 人権教育・啓発と平和の推進	・人権と平和に対する理解と認識が深まっている ・人権と平和が尊重される社会づくりのために行動している	市民
	9. 文化・芸術の振興・保存・継承	・多様な文化芸術にふれ親しんでいる ・地域の歴史や文化財を大切にしている	市民、文化財
健康・福祉	10. 健康づくりの推進・医療の充実	・生涯にわたり健康な生活を送ることができる ・身近な地域で医療を受けることができる ・安定した医療保険制度により医療を受けることができる	市民
	11. 子育て支援の充実	・子どもがのびのびと個性豊かに育ち、育てられる環境となっている	子ども（出生前を含む）、保護者、ひとり親家庭
	12. 高齢者施策の充実	・意欲や能力に応じて社会参加をしている ・地域で生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っている	高齢者及びその家族
	13. 障害者（児）支援の充実	・自立に向けた支援やサービスを身近な地域で受けている ・意欲や能力に応じて社会参加をしている ・地域で活動できる環境が整っている	障害のある人
	14. 地域福祉の推進	・市民・地域・行政等が協働で取り組むことができる ・相互理解と支えあいを育てることができる ・市民・地域の意欲と力を生かすことができる ・だれもが安心していきいきと暮らすことができる	市民、地域、行政等
	15. 自立した生活への支援体制の充実	・経済的に自立した生活を送ることができる	生活困窮者、生活保護受給者
	16. ノーマライゼーションの推進	・ノーマライゼーションの意識が育まれている ・公共施設などを安全かつ快適に利用している	市民
市民生活	17. 地球温暖化対策の推進	・地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる	市民、企業、市全域
	18. 資源循環型社会の構築	・ごみの発生抑制に努めるとともに、資源として循環的に利用している ・適正な一般廃棄物処理を行っている	市民、企業、市全域
	19. 快適で衛生的な地域環境の創出	・日常生活や企業活動のあらゆる場面で、環境に配慮した取り組みを行っている ・生活排水を適正に処理している	市民、企業、市全域
	20. 防災対策の推進	・災害等に対して安心して安全な基盤や体制づくりに取り組んでいる ・防災に関する正しい知識を身に付けている ・災害発生時に防災情報を迅速・的確に入手し、的確な行動をとることができる	市民、地域、企業、市全域

	21. 防犯まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの防犯意識が高まる</li> <li>安心して安全な地域社会実現のため、防犯組織と連携した防犯活動の充実強化を図っている</li> </ul>	市民、地域、関係機関、市全域
	22. 交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全意識を高め、安全で安心な交通社会で生活している</li> <li>交通安全施設が整備されることによって、安心して通行することができる</li> </ul>	市民、地域
	23. 安全な消費生活の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立した消費活動を行うための正しい知識、情報を持っている</li> <li>被害を回避、または予防している</li> </ul>	市民
みどり・都市基盤	24. 良好な住環境の創出と保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>住環境に配慮され、かつ、災害に強く、安心して住み続けられるよう計画的に整備が進められている</li> </ul>	市全域
	25. 歩いて暮らせるまちの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちの顔としてにぎわっている</li> <li>生活に必要な機能が備わり、暮らしやすいまちになっている</li> <li>安全で利便性の高い交通網が整備され、円滑に移動できる</li> </ul>	中心市街地、新市街地、田園地域
	26. 魅力あるまちづくりへの新たな取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地では統一感のあるまち並みについて、郊外では豊かな田園の景観について、保全・活用するための取組がなされている</li> </ul>	市全域
	27. 都市計画道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内外とのアクセスが向上し、安全かつ快適に道路を利用することができる</li> </ul>	道路を利用する人
	28. 生活道路の整備・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでも安全で快適に道路を利用することができる</li> </ul>	道路を利用する人
	29. 憩いの自然空間の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>保全・再生され、身近に触れあう機会がある</li> <li>活用されることによって、日常生活に潤いを与えている</li> </ul>	樹林地・雑木林、耕作地（田畑、河川、水路）
	30. みどり空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動などによって守られ、育まれている</li> <li>市民の憩いの場になるとともに、防災拠点としての機能も備えている</li> </ul>	まちなかのみどり、公園など
	31. 治水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>冠水などによる被害から守られている</li> </ul>	市全域
産業	32. 農業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的で安定的な経営を行っている</li> <li>安定した生産基盤が整っている</li> <li>安心・安全な食べものを手に入れることができる</li> <li>地産の農畜産物を積極的に購入している</li> <li>農業を理解し、親しんでいる</li> </ul>	農業者、消費者
	33. 工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業活動の維持・発展に必要な経営基盤を確保・確立している</li> <li>企業が進出しやすい環境が整っている</li> </ul>	企業、起業家
	34. 商業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な経営支援を受けることによって、消費者のニーズに合った商業活動を行っている</li> <li>市内で多様な買い物サービスが提供され、買い物客で賑わっている</li> </ul>	商業者、消費者、起業家
	35. 観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を発掘・活用することによって、多くの人が訪れ、楽しむ事ができる</li> <li>観光情報が市内外に発信されることによって、多くの人の関心が集まっている</li> </ul>	市内の観光地、市内外の人
	36. 就労支援と勤労者福利厚生の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労に関する情報提供や相談を受ける体制が整っている</li> <li>健康で安心して働ける体制が整っている</li> </ul>	働く意欲のある人、勤労者
	行財政運営	37. 計画行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画に基づき的確に推進されている</li> <li>効果的・効率的な組織を構築している</li> <li>質の高い行政サービスを提供している</li> </ul>
38. 経営的な視点からの財政運営		<ul style="list-style-type: none"> <li>計画に沿って、持続可能な財政運営が行われている</li> </ul>	財政
39. 情報共有の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>市政に関するさまざまな情報が共有されている</li> </ul>	市民、行政
40. 広域行政の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>広域的な課題に取り組み、市民サービスの拡充や行政サービスの効率化・安定化が図られている</li> </ul>	桶川市及び近隣自治体

# 中学生まちづくりアンケート 実施結果概要



令和4年2月  
桶川市企画調整課





実施期間：令和4年1月12日～26日

実施方法：google formによるWEB回答

対象：市内中学校2年生 608名

有効回答数：546件 回答率89.8%

地区と町丁目：

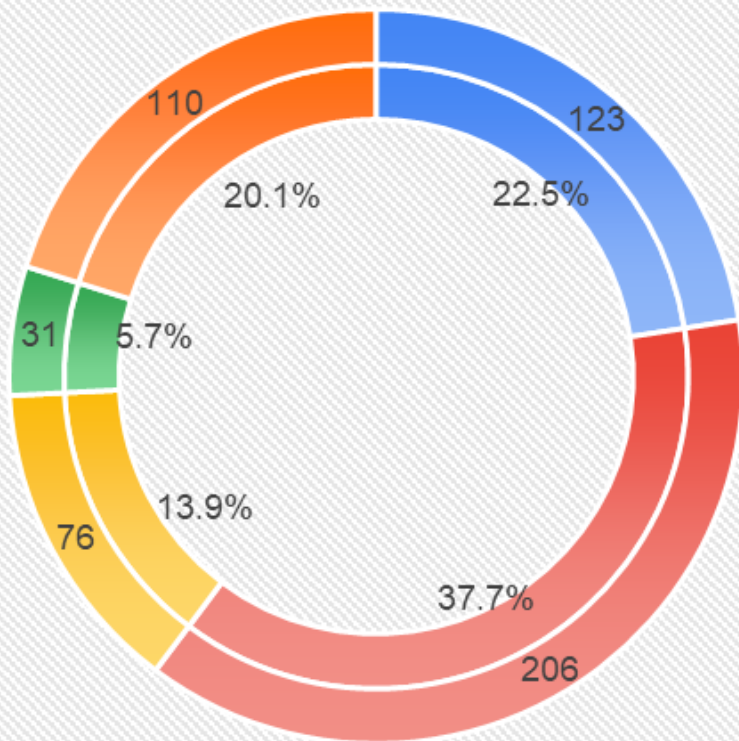
- 駅東側周辺：東1・2丁目、西1・2丁目、南1・2丁目、北1・2丁目、寿1・2丁目、神明1・2丁目
- 駅西側周辺：泉1・2丁目、若宮1・2丁目、鴨川1・2丁目、朝日1～3丁目
- 日出谷地区：上日出谷、下日出谷、下日出谷東1～3丁目、下日出谷西1～3丁目
- 坂田地区：末広1～3丁目、坂田、坂田東1～3丁目、坂田西1～3丁目
- 加納地区：加納、篠津、五町台、舎人新田、小針領家、倉田、赤堀1・2丁目
- 川田谷地区：川田谷

	男性	女性	無回答	合計
駅東側周辺	38	32	1	71
駅西側周辺	61	40	0	101
日出谷地区	81	69	0	150
坂田地区	72	68	1	141
加納地区	28	24	0	52
川田谷地区	21	10	0	31
合計	301	243	2	546

	男性	女性	無回答	合計
駅東側周辺	53.5%	45.1%	1.4%	100.0%
駅西側周辺	60.4%	39.6%	0.0%	100.0%
日出谷地区	54.0%	46.0%	0.0%	100.0%
坂田地区	51.1%	48.2%	0.7%	100.0%
加納地区	53.8%	46.2%	0.0%	100.0%
川田谷地区	67.7%	32.3%	0.0%	100.0%
合計	55.1%	44.5%	0.4%	100.0%

Q4.桶川市のことが好きですか。(全体)

Q4.桶川市のことが好きですか。



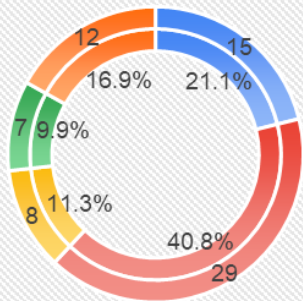
- ①好き
- ②どちらかという人喜欢
- ③あまり好きではない
- ④好きではない
- ⑤わからない

N=546

# Q4.桶川市のことが好きですか。(地区別)

Q4.桶川市のことが好きですか。  
(駅東側周辺)

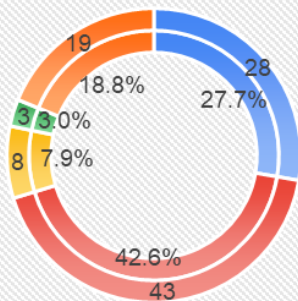
- ①好き
- ②どちらかという人喜欢
- ③あまり好きではない
- ④好きではない
- ⑤わからない



N=71

Q4.桶川市のことが好きですか。  
(駅西側周辺)

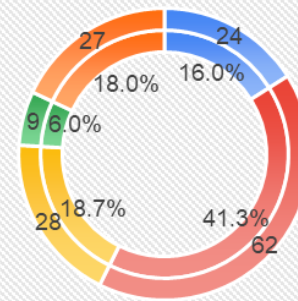
- ①好き
- ②どちらかという人喜欢
- ③あまり好きではない
- ④好きではない
- ⑤わからない



N=101

Q4.桶川市のことが好きですか。  
(日出谷地区)

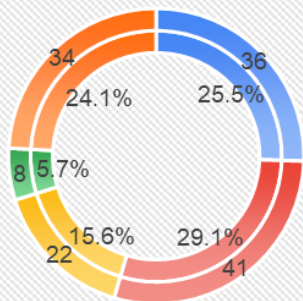
- ①好き
- ②どちらかという人喜欢
- ③あまり好きではない
- ④好きではない
- ⑤わからない



N=150

Q4.桶川市のことが好きですか。  
(坂田地区)

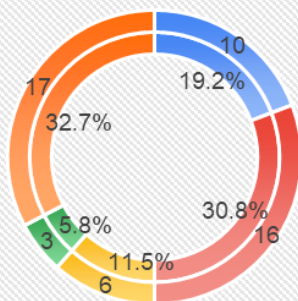
- ①好き
- ②どちらかという人喜欢
- ③あまり好きではない
- ④好きではない
- ⑤わからない



N=141

Q4.桶川市のことが好きですか。  
(加納地区)

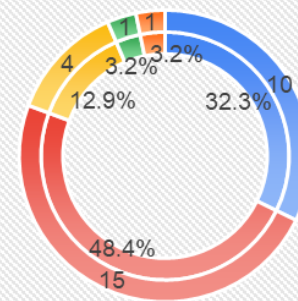
- ①好き
- ②どちらかという人喜欢
- ③あまり好きではない
- ④好きではない
- ⑤わからない



N=52

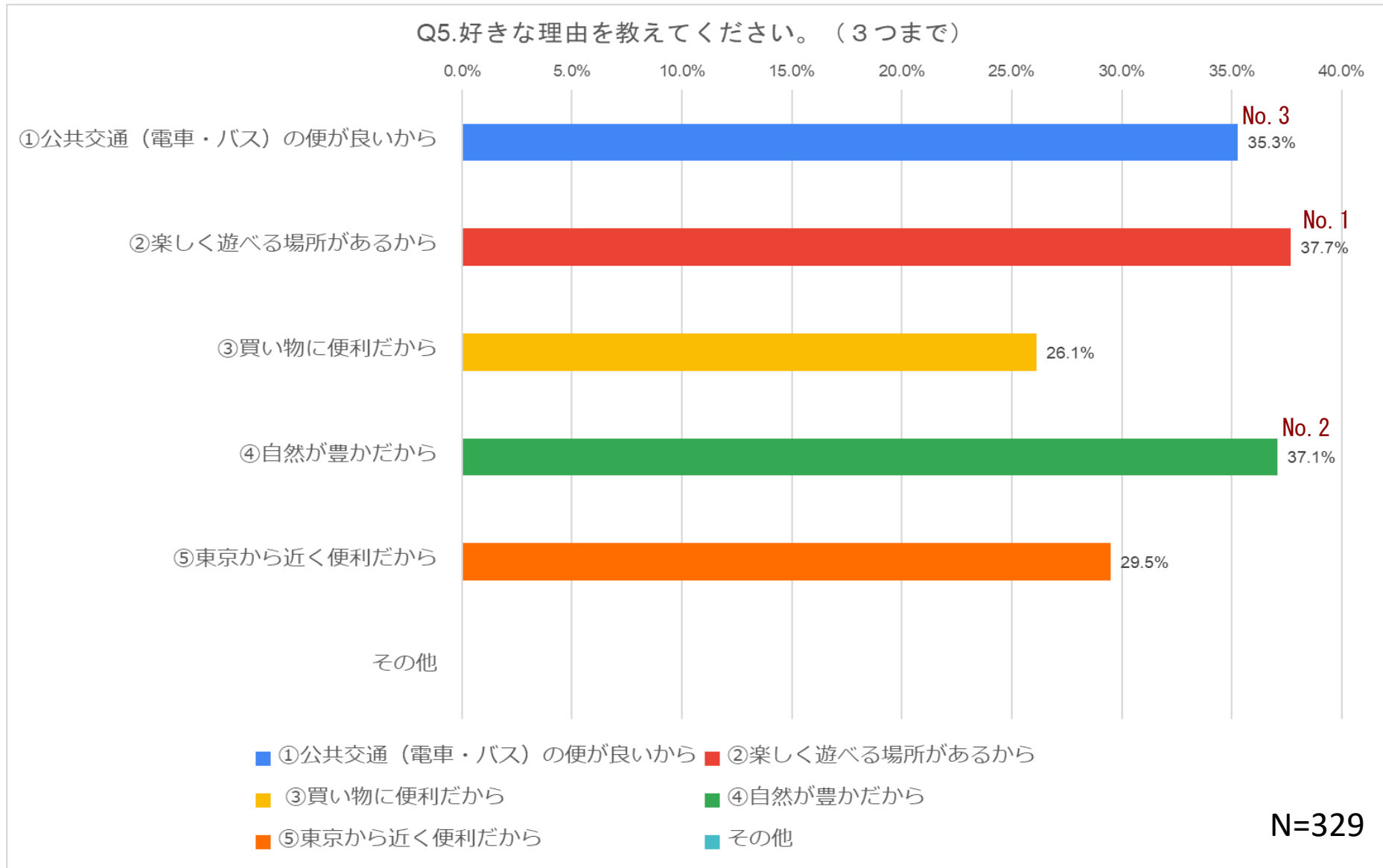
Q4.桶川市のことが好きですか。  
(川田谷地区)

- ①好き
- ②どちらかという人喜欢
- ③あまり好きではない
- ④好きではない
- ⑤わからない

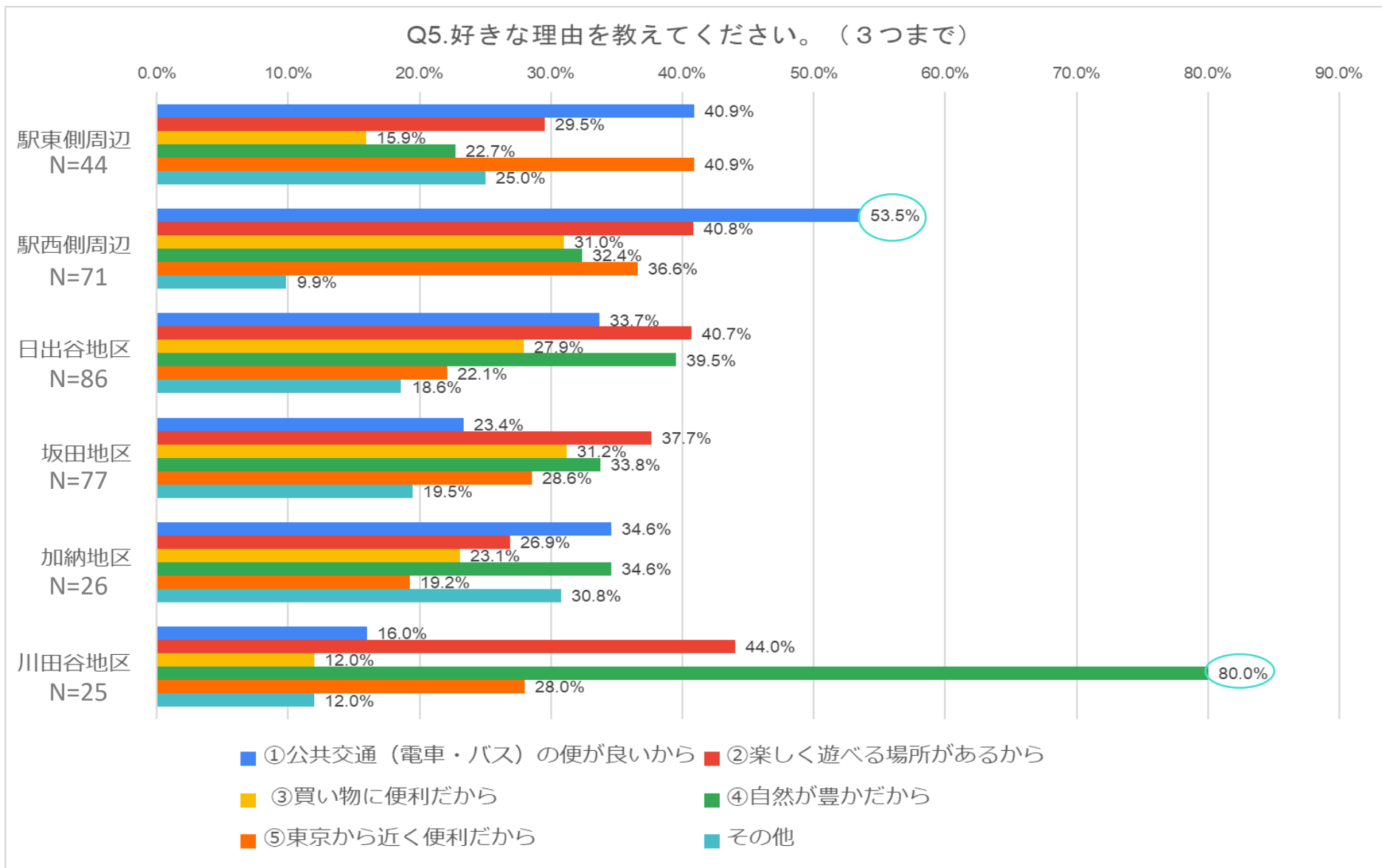


N=31

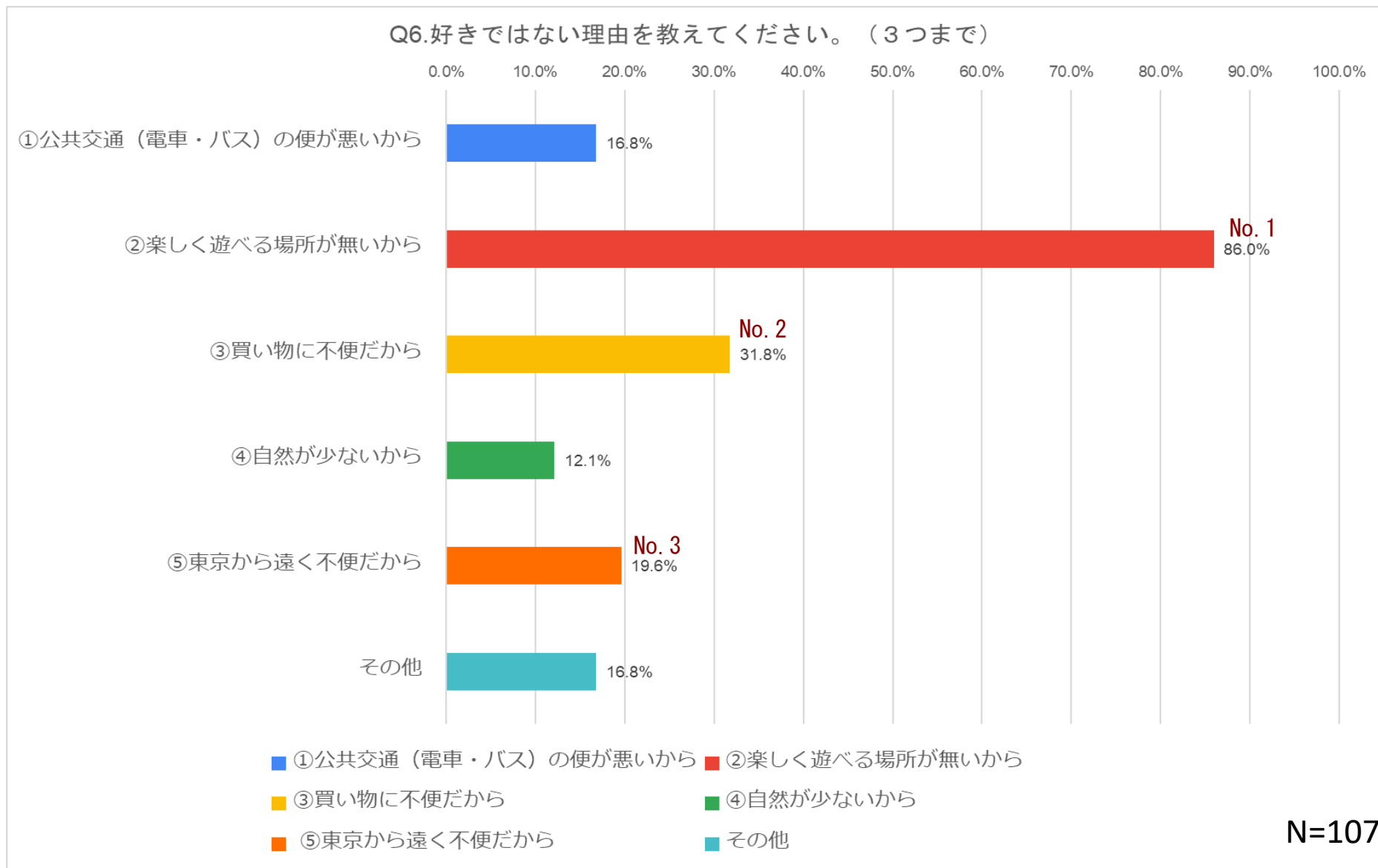
# Q5.好きな理由を教えてください。〈複数回答 3つまで〉（全体）



# Q5.好きな理由を教えてください。〈複数回答 3つまで〉 (地区別)

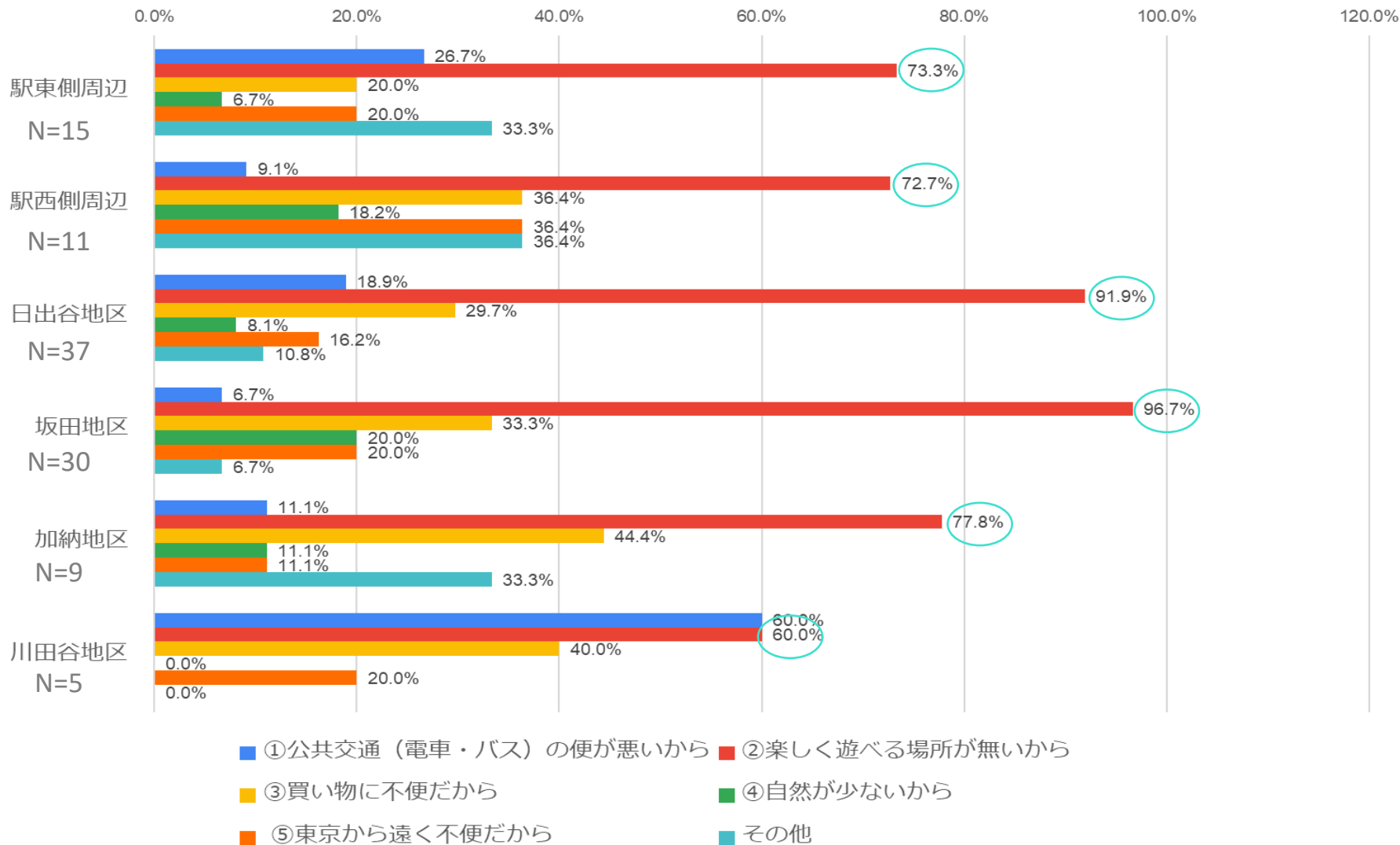


# Q6.好きではない理由を教えてください。〈複数回答 3つまで〉 (全体)



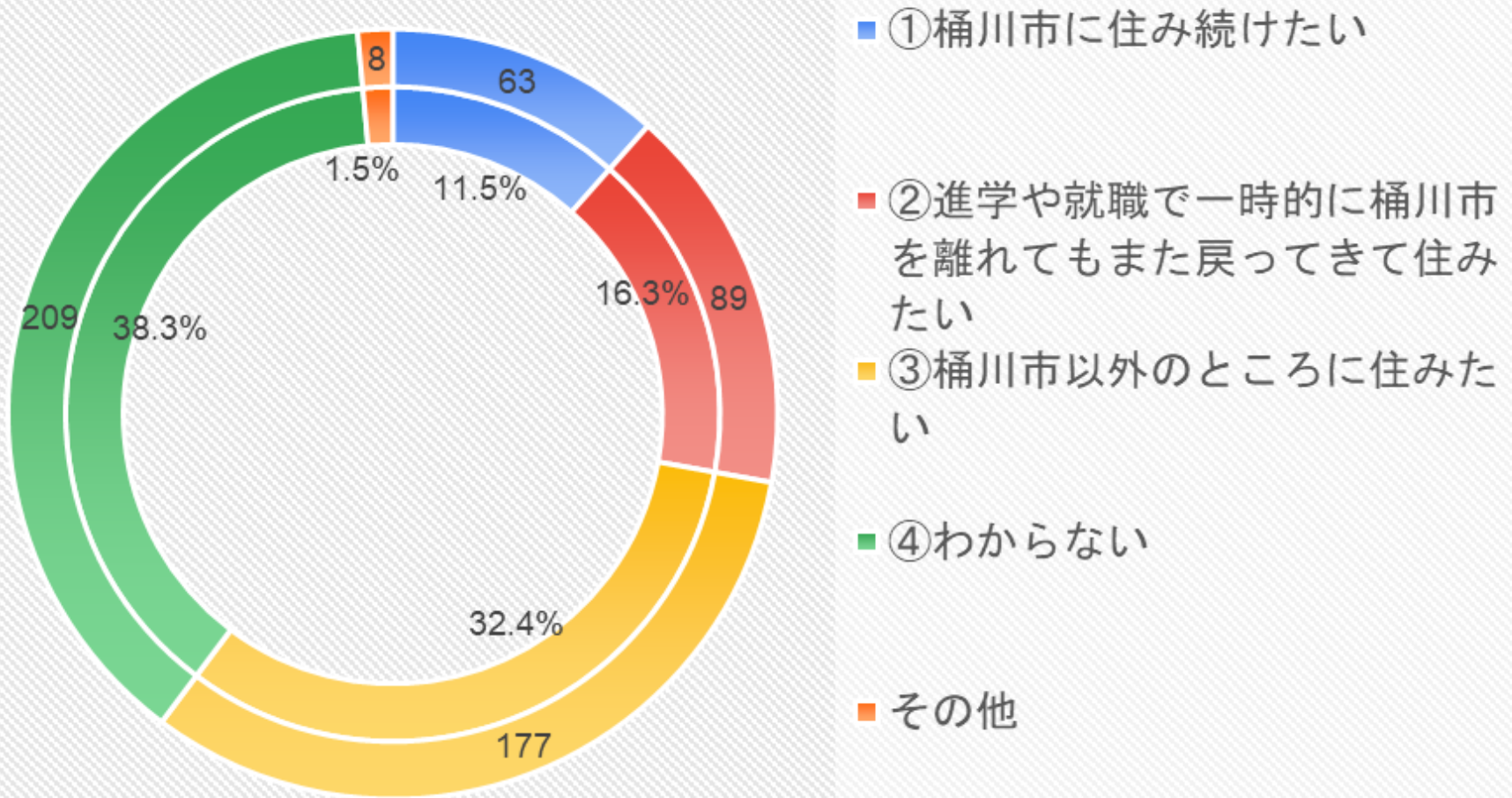
# Q6.好きではない理由を教えてください。〈複数回答 3つまで〉 (地区別)

Q6.好きではない理由を教えてください。(3つまで)



# Q7.これからも桶川市に住み続けたいですか。（全体）

## Q7.これからも桶川市に住み続けたいですか。

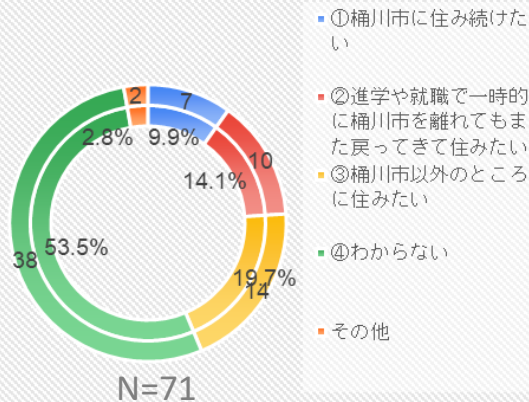


N=546

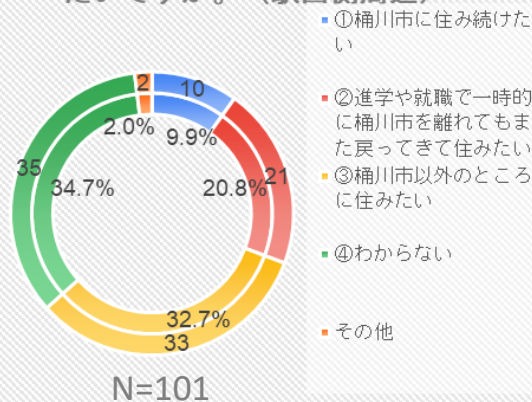


# Q7.これからも桶川市に住み続けたいですか。(地区別)

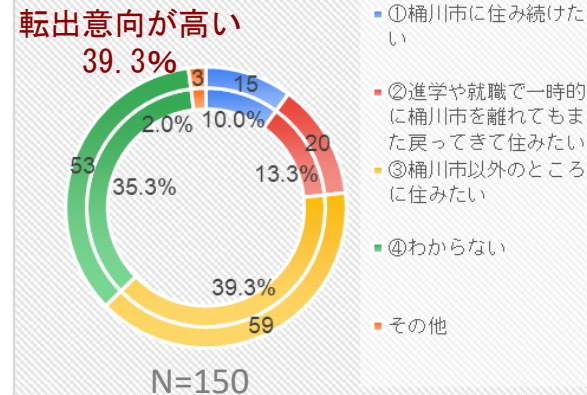
Q7.これからも桶川市に住み続けたいですか。(駅東側周辺)



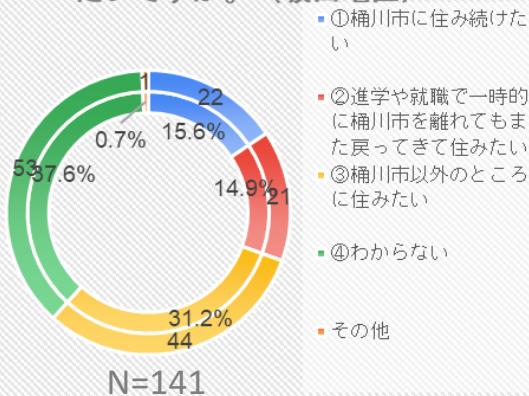
Q7.これからも桶川市に住み続けたいですか。(駅西側周辺)



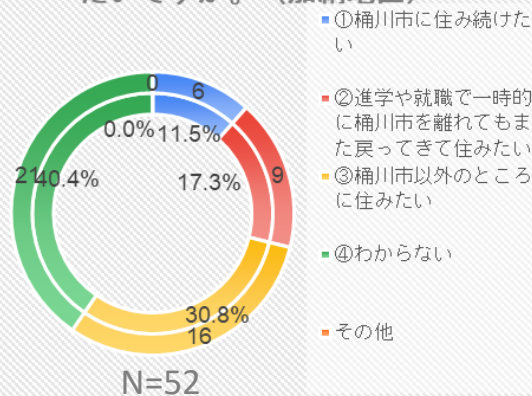
Q7.これからも桶川市に住み続けたいですか。(日出谷地区)



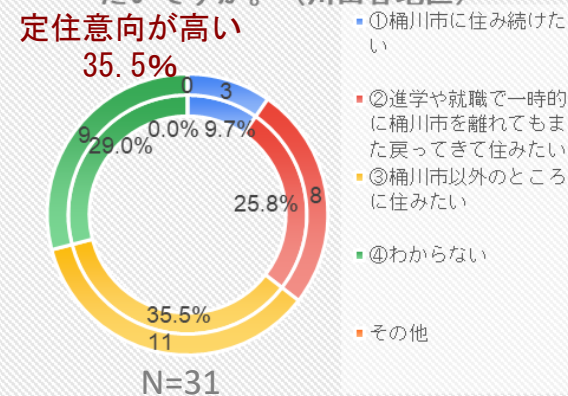
Q7.これからも桶川市に住み続けたいですか。(坂田地区)



Q7.これからも桶川市に住み続けたいですか。(加納地区)

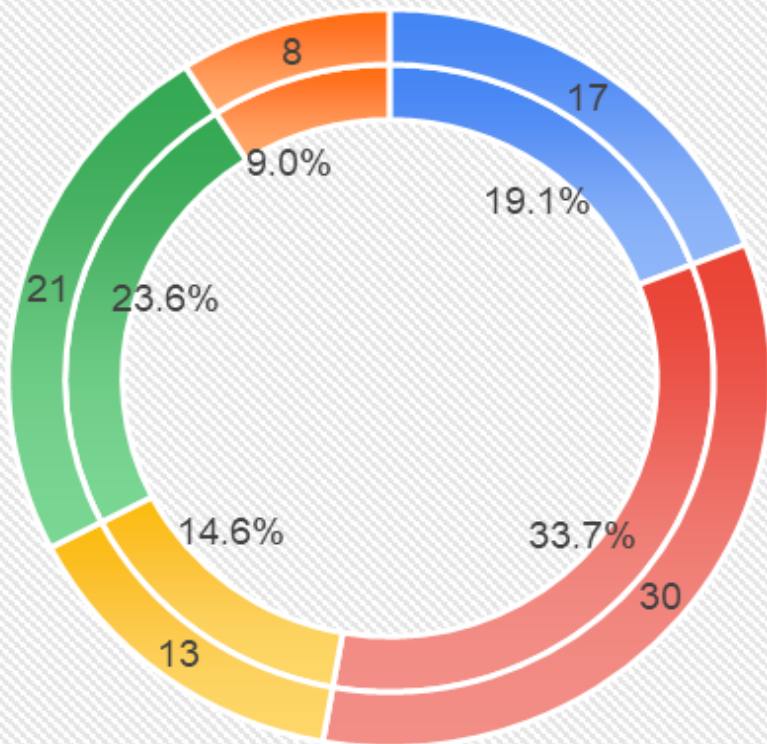


Q7.これからも桶川市に住み続けたいですか。(川田谷地区)



## Q8. いつ頃戻りたいですか（全体）

### Q8. いつ頃戻りたいですか



No. 3 ■ ①結婚した時に戻ってきて住みたい

No. 1 ■ ②自分の住む家を建てる時に戻ってきて住みたい

■ ③子育てをする時に戻ってきて住みたい

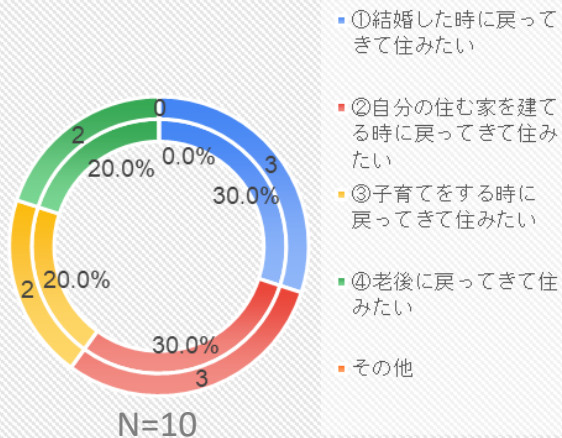
No. 2 ■ ④老後に戻ってきて住みたい

■ その他

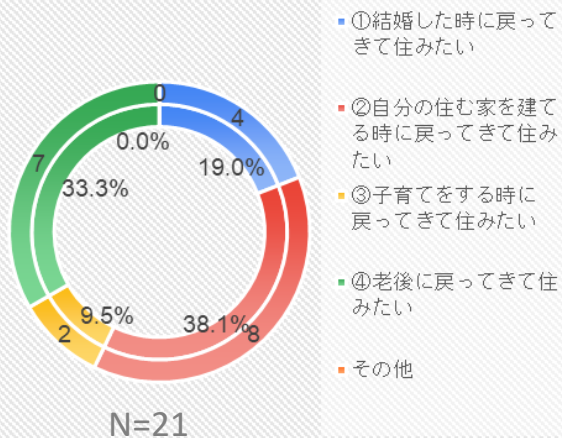
N=89

# Q8. いつ頃戻りたいですか (地区別)

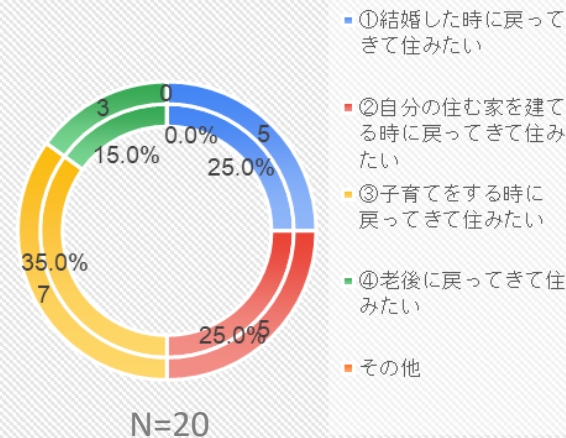
## Q8.いつ頃もどりたいたいですか (駅東側周辺)



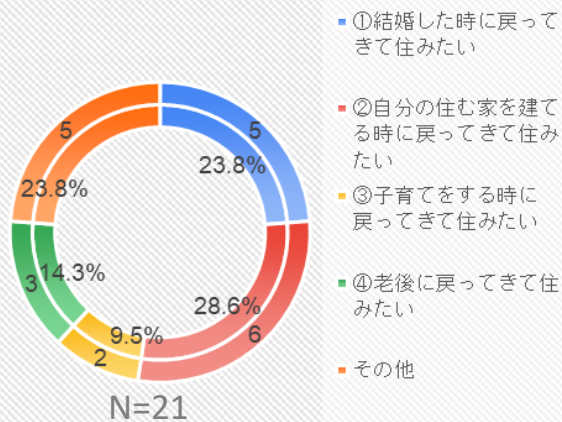
## Q8.いつ頃もどりたいたいですか (駅西側周辺)



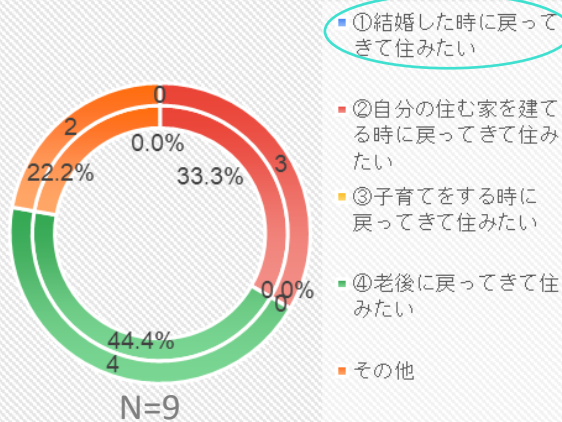
## Q8.いつ頃もどりたいたいですか (日出谷地区)



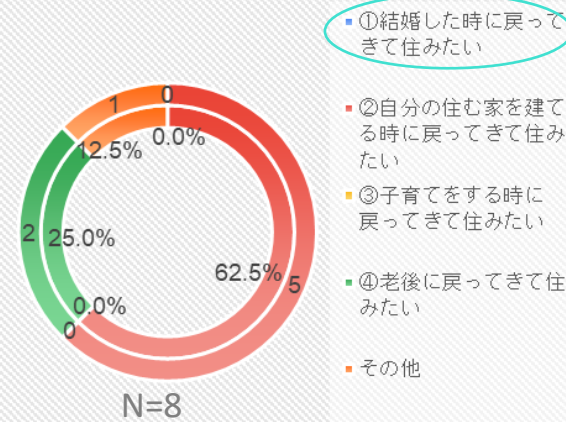
## Q8.いつ頃もどりたいたいですか (坂田地区)



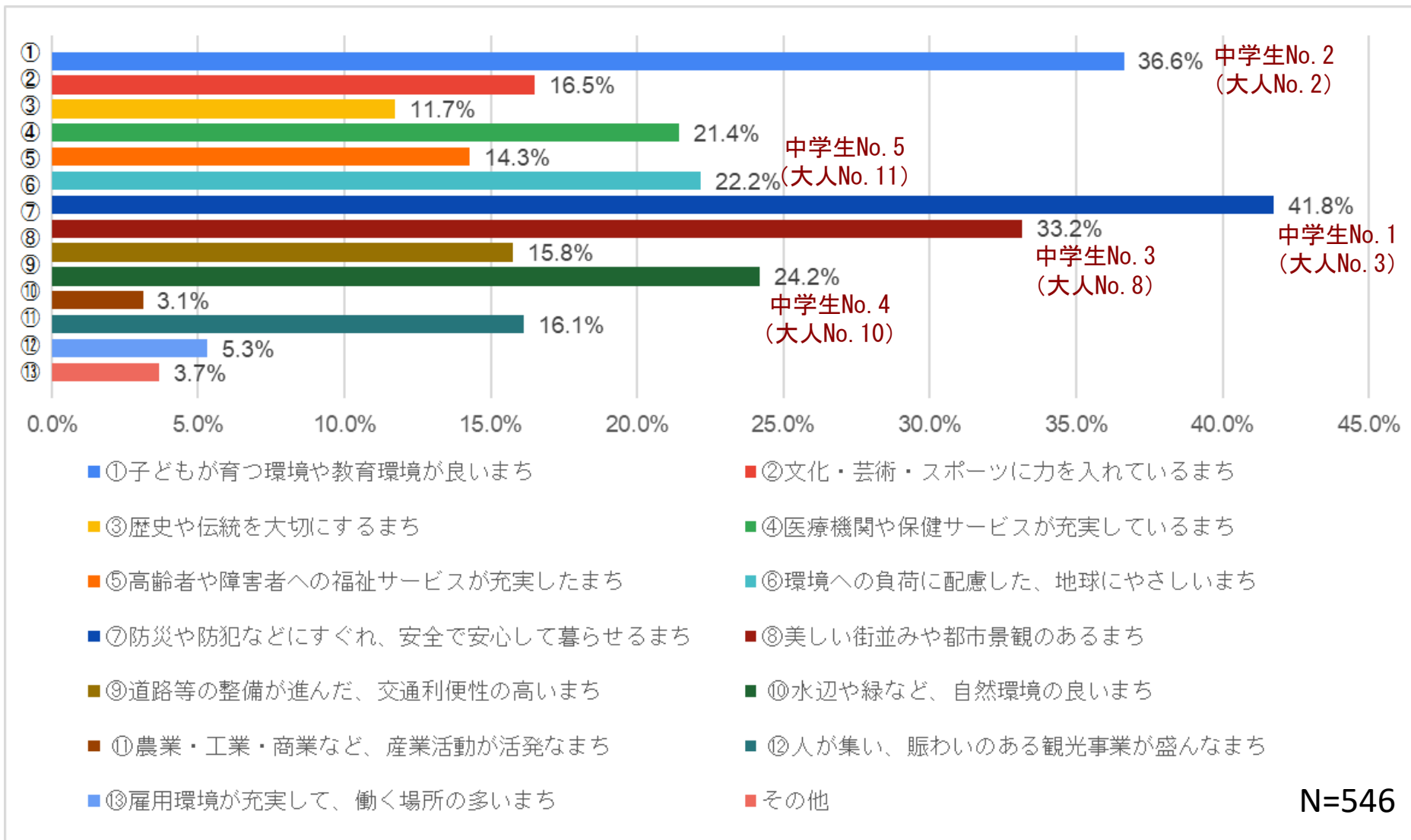
## Q8.いつ頃もどりたいたいですか (加納地区)



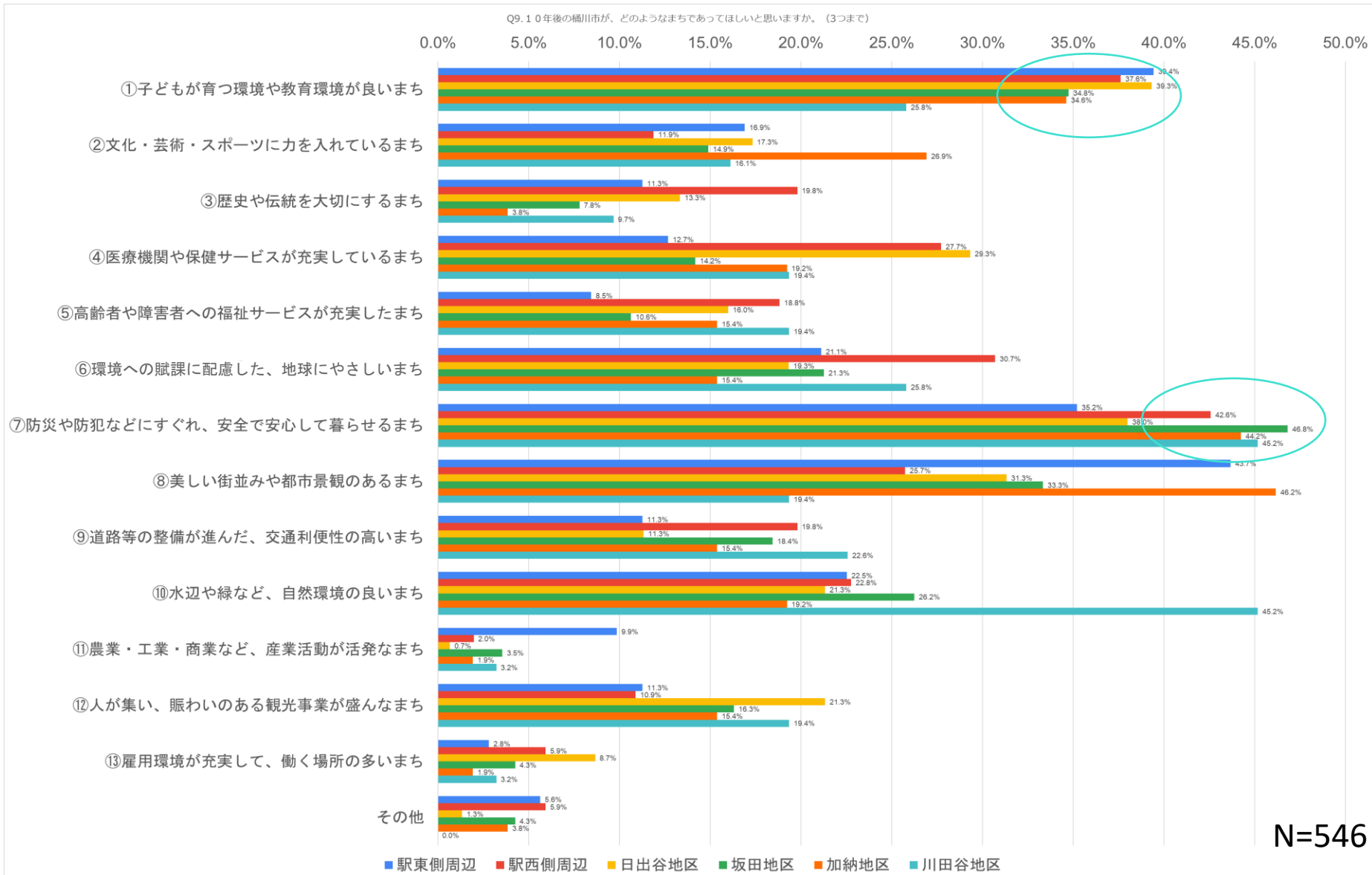
## Q8.いつ頃もどりたいたいですか (川田谷地区)



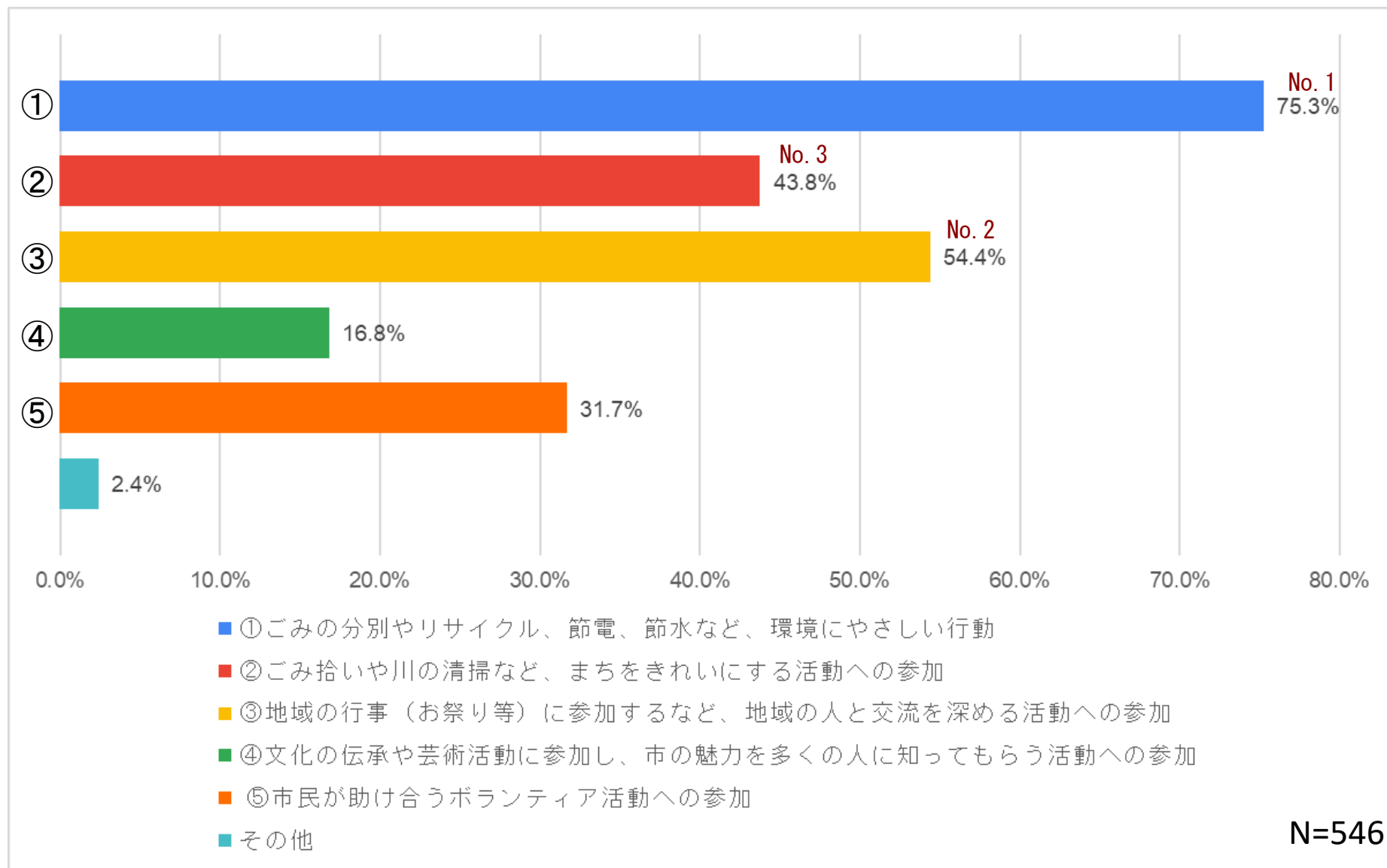
Q9. 1 0年後の桶川市が、どのようなまちであってほしいと思いますか。  
 〈複数回答 3つまで〉 (全体)



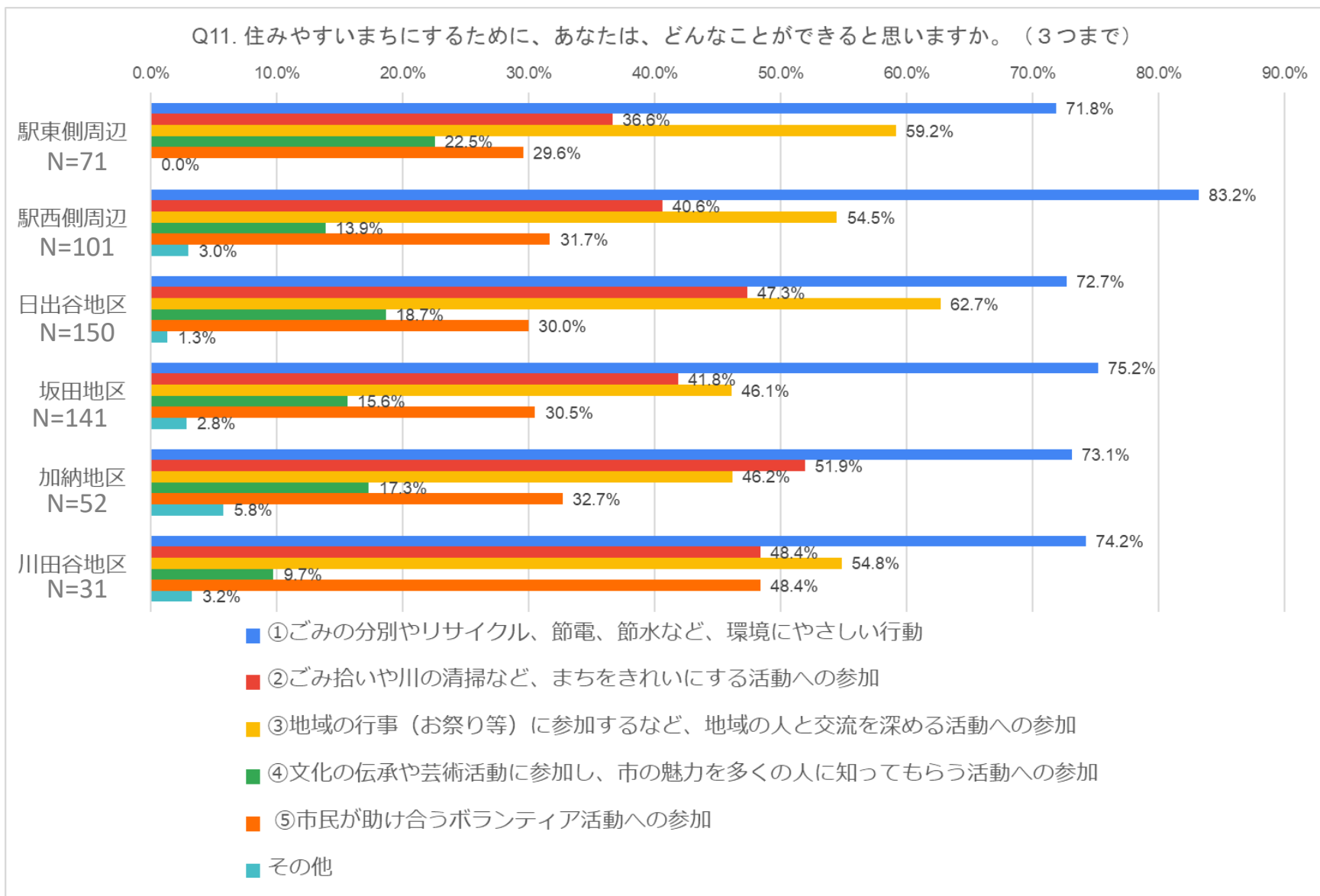
# Q9. 10年後の桶川市が、どのようなまちであってほしいと思いますか。 〈複数回答 3つまで〉 (地区別)



Q11. 住みやすいまちにするために、あなたは、どんなことができると思いますか。  
(複数回答 3つまで) (全体)



# Q11. 住みやすいまちにするために、あなたは、どんなことができると思いますか。 (複数回答 3つまで) (地区別)



Q10.未来の桶川へのメッセージ

自然豊かな楽しい街	自然豊かで、みんながえがおなまち	安全な町であってほしい
自然豊かな街桶川	自然環境がいいまちであってほしい	安全な街桶川
自然豊かな街であってほしい	自然を守る街であってほしい	安全な街であってほしい
自然豊かな街	自然を守って賑やかなまち桶川	安全な街
自然豊かな桶川	自然や観光に恵まれたまち	安全なまち
自然豊かなまち桶川	自然の豊かな街であってほしい	安全で優しい桶川市
自然豊かなまちであってほしい	自然にあふれていてシラサギやカモが田んぼに住み着いてる桶川	安全で暮らしやすいまちであってほしい
自然豊かで歴史が残っているまち桶川	～自然と歴史で溢れた街～桶川	安全で便利なまち桶川
自然豊かで優しい町	自然と都会のバランスが取れた街	安全で平和であってほしい
自然豊かで誰でも住みやすいまち	自然で豊かなまち桶川	安全で伝統文化を大切にするまち桶川
自然豊かで住みやすい街であってほしいです	自然しかない街で自然しかないような	安全で住心地の良いまち桶川
自然豊かで環境が良いまちであってほしい	自然が豊かな街であってほしい	安全で住みやすい街
自然豊かで活気あふれる桶川市	自然が豊かなまち	安全で住みやすい
自然豊かで楽しく暮らせるまちであってほしい	自然が豊かで大人だけでなく子供が元気一杯で遊べる施設や場所があるまち	安全で自然豊かなまちであってほしい
自然豊かで外見がいいまちであってほしい	自然が多くスポーツなどが盛んな街であってほしい	安全で居心地が良いまち桶川
自然豊かで安全に暮らせるような桶川	自然が多く、安心して暮らせるまち	安全で環境にやさしいまちであってほしい
自然豊かで安心安全なまち桶川	自然がいっぱいで人と動物が共存出来る街 動物がいっぱい	安全で過しやすい町桶川
自然豊かでのびのび暮らせるまち桶川	自然がある、公園とかが賑わうまち	安全で安心な街桶川
自然豊かでこのままな町桶川	自然あふれる緑豊かな街おけがわ	安全できれいな街桶川
自然豊かできれいなまち桶川		安全 安心できるよう
自然豊かできれいなまち		安心感のある街桶川
自然豊かであってほしい		安心安全自然あふれる桶川市



## Q10.未来の桶川へのメッセージ

安心安全な美しいまち

綺麗になっていてほしい

緑豊かなのんびりできる街

安心安全な街

綺麗な街であって欲しい

緑豊かで個性的なまち桶川

安心安全で緑が豊かなまち桶川

綺麗な街であってほしい

緑豊かで観光客があふれるまちになってほしい

安心安全で自然豊かなまち桶川市

綺麗な街

緑輝く豊かなまち桶川

安心で子供も大人も楽しい街桶川

綺麗な街

緑と暮らすまち桶川

安心で環境いい街桶川

綺麗な街

緑と生き物と共存する桶川市

安心で快適なまち桶川

綺麗なまちであってほしい

緑が豊かな街

安心できれいな街桶川

綺麗なまちであってほしい

緑が豊かで発達しているまち桶川

安心できる落ち着くまちであってほしい

綺麗なまちであってほしい

緑が沢山で活気のある街であって欲しい

安心できる街であってほしい

綺麗で優しいまち桶川

緑が多く田舎といえの町

安心・安全な日常で活気があるまち桶川

綺麗で豊かな町

ずっと安全な街桶川市！

綺麗で暮らしやすいまち桶川

世界的な大問題である、環境問題の分野で日本を引っ張るまちになってほしい。  
環境保全に取り組むまち

災害に安全

綺麗で暮らしやすいまち

災害がない桶川

綺麗で都市景観がある街。

環境に優しく日本各地から訪れてくるような街 桶川

道路が整備されお怪我はない街桶川

綺麗で生活しやすいまち

環境に優しく、いい意味で今のままであってほしい。

道がきれいな桶川市！

綺麗で住みやすいまち

環境によくみんなが楽しめる街

素敵な街

綺麗で楽しい場所がたくさんあり子供が育ちやすい街であってほしい

環境が整っていて若者も住みやすい制度やまちづくりをしてほしいです。  
環境がよいまちであってほしい

素晴らしい町であってほしい

綺麗で穏やかなまち桶川

静かで住みやすい街 桶川

綺麗で安心安全、店が豊富な街桶川

環境がきれいな街

静かで自然豊かな心温まるまち桶川

綺麗でしずかなまち

環境、氷魚その他色々な優しい街になってほしい

## Q10.未来の桶川へのメッセージ

みんな仲良くて安全な桶川

楽しめる街

誰もが不自由なく暮らせるような街であってほしい

みんなの理想が詰まった、誰もが楽しく過ごせる街

楽しく毎日が過ごせるまち

誰もが充実できる桶川市

みんなで遊べる施設がたくさんあって欲しい

楽しくて豊かな街桶川

誰もが住みやすい街であってほしい

みんなが毎日楽しく生活を送れる桶川であってほしい

楽しくて文化が沢山桶川市

誰もが住みやすいと思う街

みんなが暮らしやすいまち桶川

楽しくてみんなが嬉しい桶川市

誰もが幸せに過ごせるところであってほしい。

みんなが笑顔なまちであってほしい

楽しくいれる場所があって自然が多いまち桶川

誰もが安心して暮らせる自然豊かな

みんなが住みやすく交通網が便利な街になって欲しい

楽しく、明るいまち桶川

誰にでも優しい街であってほしい

みんなが住みやすく安心・安全な街

楽しく、便利で、暮らしやすい街であってほしい。

誰でも過ごしやすい環境に優しい街

みんなが住みやすく、きれいな街であってほしい！！

楽しい街であってほしい

全員が不満なく快適にらせるまちになってほしい

みんなが幸せで伝統を大事にするまち

楽しい街

いろんな人が住みやすい所であってほしい

みんなが楽しく遊べる施設がたくさんあるようなまちであって欲しい

楽しい桶川市

いろんな人が気持ちよく住める街であってほしい

みんなが楽しく暮らしてより良い桶川

楽しいまちであってほしい

とても住みやすくスポーツに力を入れる街であってほしい

みんなが安全過ごせるまちであって欲しい

楽しいまちであってほしい

どこも住みやすくしてほしい

みんなが安全に暮らせる街

楽しいまちであってほしい

どこでも住みやすいまち

みんなが安心出来るまちであってほしい。

楽しいまち

みんなが安心して暮らせるまち桶川

明るく優しいまち桶川

みんなが安心して暮らせるまちに

豊かな街であってほしい

明るく元気で地球に優しいまち桶川

みんなが安心して暮らせて、ここに住みたいと思うような桶川であって欲しい。

豊かで明るいまちであってほしい

明るくて楽しい町桶川

みんなが安心して住める町であってほしい

豊かできれいな街桶川

明るく、都心に近いまち

みんなが安心して楽しく過ごせる桶川市

明るい街なっていてほしい

## Q10.未来の桶川へのメッセージ

子供達や高齢者が安全で暮らしやすい生活ができるような街であってほしい 子供や高齢者が暮らしやすく、買い物が便利な街であって欲しい	人々の交流が盛んで活気のある街になってほしい。 人々が笑顔でいられるような街桶川	都市景観があって自然環境が維持できるまちでいてほしい。 都市化したまちであって欲しい
子供も大人も楽しく遊べる街	人々が助け合うまちであってほしい	都会過ぎず田舎過ぎずちょうどいいまち
子供の笑顔が耐えない桶川市！	人々が自然との共存、歴史を大切にする街	都会のようにたくさんの年代の人がいろいろなところから遊びに来るような賑わっているまちであってほしい 都会のまちであってほしい
子供の考えを聞き入れてくれる街	人のあたたかさに触れられるまち	都会な街であってほしい
子供が遊べるところがある桶川	人に地球に未来に優しいまち桶川	都会で賑やかな街
子供が好きな遊びができる街であって欲しい	人で賑わう街桶川	田舎でのどかな街がいいです
子供がワイワイ遊べる街	人が沢山来る街であってほしい	田舎から都会へにぎやかな桶川
子供から大人まで住みやすいまちであってほしい	人が多くて賑わいのある街であってほしい	
子供から高齢者までの人が楽しめるような街であってほしい	人がみんな優しい桶川	
子供から高齢者が笑顔でいられるよう		スポーツと歴史の街桶川
子どもたちが安心して過ごすことのできる、思いやりが溢れるまちであってほしい	便利な街 便利で伝統的なまち桶川 便利で災害のない安全なまち	スポーツが有名な街になってほしい スポーツが盛んな街であって欲しい スポーツが盛んで豊かな街桶川
伝統を大切にする街桶川		人工芝や天然芝のサッカーコートがたくさんある町
伝統を守り続ける桶川市	東京並みに豊かになる桶川	運動ができる場所がふえる
伝統を守り続ける桶川	東京都に負けない桶川市	
歴史や文化を大切に誰でも住みやすい桶川	東京より豊かなまちであってほしい	変わらないまちであってほしい
歴史に残る桶川市、未来を守る桶川市	東京より楽しく大阪よりご飯が美味しい街	変わらず温かみに溢れた街であってほしい
文化、自然が共生するまち桶川	東京みたいな都会なまちになってますよーに	変わってなさそうで変わっている桶川市
文化や芸術、スポーツにy医からを入れている町であってほしい。	有名な街 有名なまちであってほしい	

## Q10.未来の桶川へのメッセージ

元気な街	遊ぶところが多いまちであってほしい	平和主義な街であってほしい
元気で温かいまち桶川	ショッピングモールなどの子供や大人すべての人が楽しめる場所が多くあって欲しい	平和なまちであってほしい
元気できれいなまち桶川	ショッピングモールがあって賑やかな街であってほしい	平和で豊かな町
空気のきれいな	コンビニやスーパーがたくさんある便利な市	平和で豊かなまちであってほしい
活動が活発で明るい桶川		平和で安心して過ごせる街
活気と魅力のあふれるまち桶川	住んでる人たちが安心安全に暮らせる街	平和でクリーンなまち
活気が溢れて自然が豊かなまち桶川	住んでて居心地のいい街	争いがない平和で暮らしやすい街であってほしい
笑顔で素敵な街桶川	住む人々が住みやすく明るく活気のある街（桶川）になって欲しい	栄えて平和で賑やかな街
笑顔で住みやすい街であって欲しい	住みやすく環境がいいまちであってほしい	
笑顔であふれる桶川になってほしい	住みやすく快適なまち桶川市	美しくて自然環境が整ってる桶川市
笑顔が溢れるめっちゃ明るい街であってほしい。	住みやすい最高のまち桶川	美しい町並みと賑わいのある桶川市
笑顔があふれる街桶川	住みやすい街であってほしい	美しい街並みで賑わいのある街であってほしい！
笑顔があふれる街であってほしい	住みやすいまちであってほしい	美しいまち桶川
笑顔いっぱい豊かな街	自由で住みやすい街桶川	
笑顔あふれる桶川にしたい	埼玉県で一番住みやすいまちであってほしい	賑やかな街であってほしい
	市民にも自然にも優しいまち桶川	賑やかなまちであってほしい
交通利便性が高く環境との調和が取れたまち桶川	市民が暮らしやすいと思えるまち	賑やかなまち
交通網が発達し、駅前がきれいに整備された街	市民が協力しあえる平和なまちであってほしい	賑やかで皆が笑顔なまちであって欲しい
	市民が安心して暮らせる街であってほしい	賑やかな桶川市
観光名所といえはの桶川市		
観光客を増やす	紅花のようにたくさんの笑顔であふれるまち桶川	
	紅花でおけおけなまち桶川	

## Q10.未来の桶川へのメッセージ

事故のないまちであってほしい

地味でダサくないまち

光の歩む都市桶川

事件や自殺、事故がない平和な日常を過ごせる街であって欲しい

地元の紅花を全国へ

近未来的で暮らしやすい街 桶川

事件とかが起きない街

紅花がきれいな街桶川

近代化しても自然豊かな街であって欲しい

老若男女問わず楽しく暮らせる幸福度の高いまちであってほしい

大人から子供までみんなが心から楽しいと思えるようなまち桶川

気軽に買い物や遊びに行けるところが増えてほしい

野球場を作って若者たちが体を動かせる場所がいっぱいある街

歴史資料館などが多いのはいいが本音子供は楽しくない。遊べるところ  
大きなショッピングモールがほしい

気軽に楽しむことができ、昔と今を継承できるグローバルな街

～夜景も星もみんなの笑顔も～ 光のあふれるまち桶川

多様性を認められるみんなが幸せに暮らせる桶川市

夜でも安全に歩けるような明るいまちであってほしい

生活しやすいまち桶川

学生の遊び場があるまちであってほしい

面白い街であってほしい

性別年齢問わず誰でも暮らしやすいと思えるまち

懐の広い街桶川

夢があふれ、思い出育む桶川

世代を超えたまち

快適で豊かな住みやすい桶川であって欲しい

未来輝く 便利都市 桶川

信号が日本一早い街桶川

穏やかで明るいまち桶川

防犯に優れた街

色々楽しく遊べる場所がある街であってほしい

桶川市民一人一人が楽しく暮らせるまちであってほしい

犯罪がないまちであってほしい

助け合い輪が広がる優しい場所

桶川市以外の人たちが来て楽しいと思え、市内が明るく高齢者の人々が  
住みやすいと思えるような所であってほしいです。  
桶川を知らないという人が今より減ってほしい。

暮らしやすい

充実な街であって欲しい。

平等でみんなが楽しめるまち

次へつなごう桶川市

桶川ならこれ、というような誇れるようなものが一つぐらいはあって  
欲しい  
よりよい環境で住みやすい街であって欲しい

普通であってほしい

最先端テクノロジーと自然があるキレイな街

不便のない明るいまち桶川

今よりももっと住みやすいまちであってほしい

買い物が近くでできるまち

今の環境のまま歴史溢れた桶川になってほしい

遊ぶところが多い町

動植物があるきれいなまちであってほしい

高齢者に優しい豊かな街

ゴミ一つない桶川市

働きやすく、子供を育てるのに快適な街であって欲しい

このままのやさしい街であってほしい

仲が良い街で、あってほしい。

公園が多くたくさん子どもたちが楽しめる街

がんばれすごい街

中山道がもっと活発になり他の街から人気があるような街

安全な道を増やしてほしい 道路と車道をしっかり区別してほしい

かるたに残るまち

## Q10.未来の桶川へのメッセージ

お年寄りに優しい賑わう街

エコタウンokegawa

いつまでも生き続けられる桶川市

いつでも帰れる紅花の街里(まちざと)・桶川

いい感じなまち桶川

10年立っても変わらなかったまち桶川

「少し都市化がはじまって少し人口の多い桶川」「自然豊かで都市化があまり進んでない街になってほしい

# 中学生まちづくりアンケート

桶川市では現在、次期総合振興計画※の策定作業を進めています。この計画に若者（中学生）の皆さんのご意見や想いを反映するため、「中学生まちづくりアンケート」を実施します。10年後、20年後のご自身を想像しながら、回答してください。

※総合振興計画とは、市の最上位計画で市政の目標や今後の方向性を示す計画です。

\*必須

Q1.性別をお答えください。

1つだけマークしてください。

男性

女性

Q2.通学している中学校をお答えください。\*

1つだけマークしてください。

①桶川中学校

②桶川東中学校

③桶川西中学校

④加納中学校

Q3.お住まいの地区をお答えください。\*

1つだけマークしてください。

駅東側周辺（東1・2丁目、西1・2丁目、南1・2丁目、北1・2丁目、寿1・2丁目、神明1・2丁目）

駅西側周辺（泉1・2丁目、若宮1・2丁目、鴨川1・2丁目、朝日1～3丁目）

日出谷地区（上日出谷、下日出谷、下日出谷東1～3丁目、下日出谷西1～3丁目）

坂田地区（未広1～3丁目、坂田、坂田東1～3丁目、坂田西1～3丁目）

加納地区（加納、篠津、五町台、舎人新田、小針領家、倉田、赤堀1・2丁目）

川田谷地区（川田谷）

Q4.桶川市のことが好きですか。\*

1つだけマークしてください。

- ①好き 質問5にスキップします
- ②どちらかという人喜欢い 質問5にスキップします
- ③あまり好きではない 質問6にスキップします
- ④好きではない 質問6にスキップします
- ⑤わからない 質問7にスキップします

質問7にスキップします

Q4で桶川市を好き・どちらかという人喜欢いと回答した方に質問します。

Q5.好きな理由を教えてください。(3つまで)\*

- ①公共交通(電車・バス)の便が良いから
- ②楽しく遊べる場所があるから
- ③買い物に便利だから
- ④自然が豊かだから
- ⑤東京から近く便利だから

その他:  \_\_\_\_\_

質問7にスキップします

Q4で桶川市をあまり好きではない・好きではないと回答した方に質問します。

Q6.好きではない理由を教えてください。(3つまで)\*

- ①公共交通(電車・バス)の便が悪いから
- ②楽しく遊べる場所が無いから
- ③買い物に不便だから
- ④自然が少ないから
- ⑤東京から遠く不便だから

その他:  \_\_\_\_\_

質問7にスキップします



Q7.これからも桶川市に住み続けたいですか。 \*

1つだけマークしてください。

- ①桶川市に住み続けたい 質問9にスキップします
- ②進学や就職で一時的に桶川市を離れてもまた戻ってきて住みたい  
質問8にスキップします
- ③桶川市以外のところに住みたい 質問9にスキップします
- ④わからない 質問9にスキップします
- その他: \_\_\_\_\_

質問9にスキップします

Q7.で進学や就職で一時的に桶川市を離れてもまた戻ってきて住みたいと回答した方に質問します。

Q8. いつ頃戻りたいですか \*

1つだけマークしてください。

- ①結婚した時に戻ってきて住みたい
- ②自分の住む家を建てる時に戻ってきて住みたい
- ③子育てをする時に戻ってきて住みたい
- ④老後に戻ってきて住みたい
- その他: \_\_\_\_\_

Q9. 10年後の桶川市が、どのようなまちであってほしいと思いますか。（3つまで）\*

- ①子どもが育つ環境や教育環境が良いまち
- ②文化・芸術・スポーツに力を入れているまち
- ③歴史や伝統を大切にするまち
- ④医療機関や保健サービスが充実しているまち
- ⑤高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち
- ⑥環境への負荷に配慮した、地球にやさしいまち
- ⑦防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち
- ⑧美しい街並みや都市景観のあるまち
- ⑨道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち
- ⑩水辺や緑など、自然環境の良いまち
- ⑪農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち
- ⑫人が集い、賑わいのある観光事業が盛んなまち
- ⑬雇用環境が充実して、働く場所の多いまち

その他:  \_\_\_\_\_

Q10. 未来（10年後）の桶川市をイメージして、思い浮かぶまちのキャッチコピー（未来の桶川へのメッセージ）があれば一言お書きください。

「〇〇〇で〇〇〇なまち桶川」「〇〇〇なまちであってほしい」など自由にご記入ください。

---

---

---

---

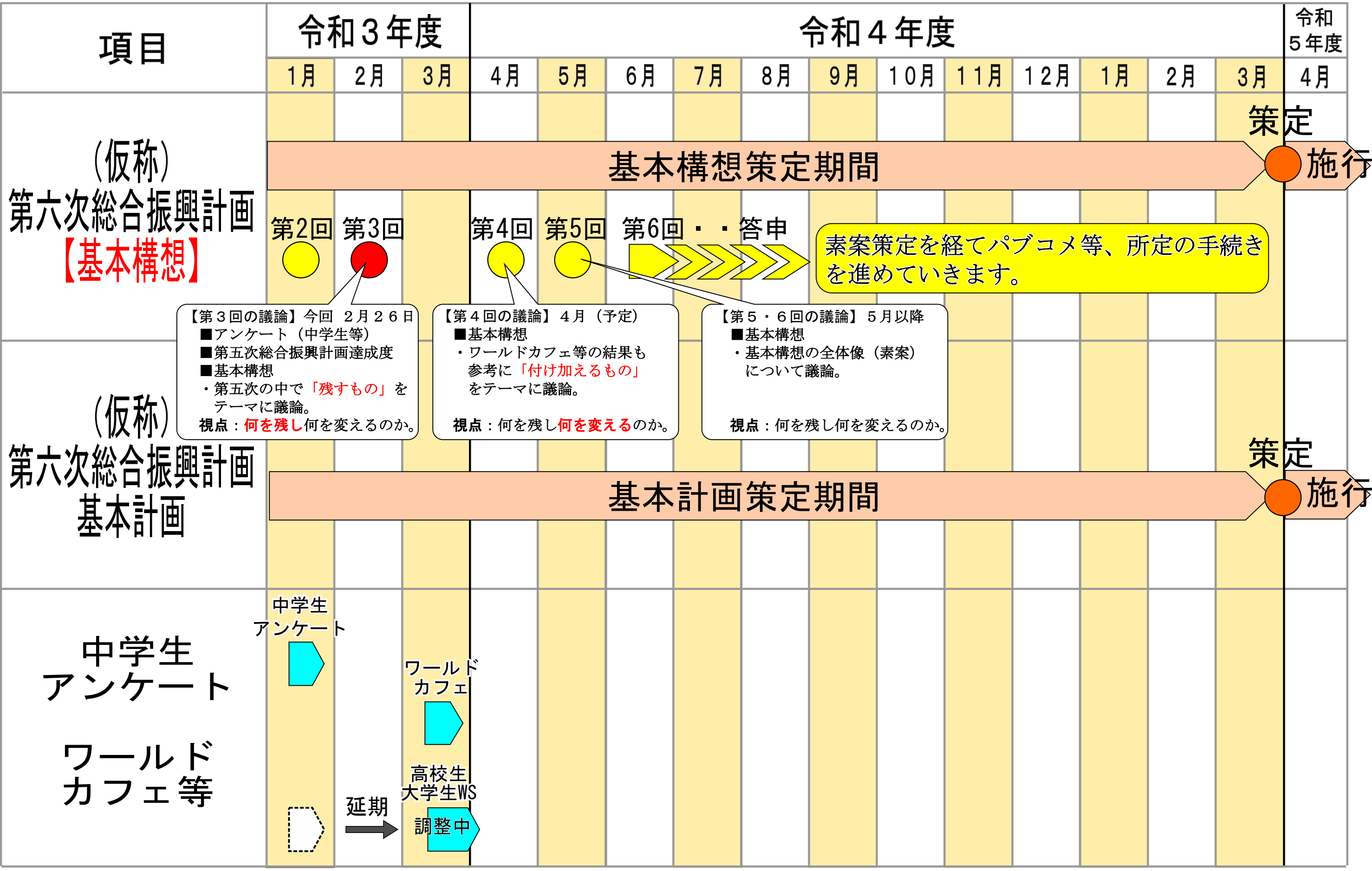
---

---

Q11. 住みやすいまちにするために、あなたは、どんなことができると思いますか。（3つまで）\*

- ①ごみの分別やリサイクル、節電、節水など、環境にやさしい行動
- ②ごみ拾いや川の清掃など、まちをきれいにする活動への参加
- ③地域の行事（お祭り等）に参加するなど、地域の人と交流を深める活動への参加
- ④文化の伝承や芸術活動に参加し、市の魅力を多くの人に知ってもらう活動への参加
- ⑤市民が助け合うボランティア活動への参加

その他:  \_\_\_\_\_



# 桶川市第五次総合振興計画 抜粋



## 基本構想



## 第1章 目的と期間

桶川市第五次総合振興計画における基本構想は、本市の将来の姿を示す将来像を掲げるとともに、その実現に必要なとされる施策の大綱を定めるものです。

基本構想の計画期間は、平成23年度（2011年）から平成32年度（2020年）までの10年間とします。

## 第2章 基本理念

桶川市第五次総合振興計画基本構想の基本理念は、本市のまちづくりを行っていく上で最も重要な基本姿勢であり、市民と行政が共有する基本的な考え方です。

基本理念としては、次の5つを掲げます。

### 一人ひとりを大切にするまち

市民一人ひとりの尊厳や人権を尊重し、個性や価値観を認め合う社会をつくとともに、あらゆる世代がともに支え合い、未来への夢と希望を持って暮らすことができるまちづくりを進めます。

### 安心・安全に住み続けられるまち

子どもから高齢者まで安心して暮らすことができるよう、地域での見守り体制や行政による支援を整えるとともに、防犯・防災体制の確立を進め、気軽に移動し、施設などを利用できるまちづくりを進めます。

### 人と自然が共生するまち

一人ひとりが環境に対する意識を高めることで、ごみの減量化や資源の有効活用を図りながら\*循環型社会の形成に努めるとともに、里地・里山などのみどり豊かな美しい風景を次代に引き継ぐことができるまちづくりを進めます。

### 活力に満ち人が集うまち

交通立地条件をいかし、市内外、世代間を問わず、市民、\*市民公益活動団体、企業及び事業者等、市（行政）との交流・連携・共生を深めることで、産業の振興や教育、市民生活などの向上を図り、地域のにぎわいや活力を創造し、自立できるまちづくりを進めます。

### みんなで作るまち

市民一人ひとりが主役となり、まちづくりに自主的に参加できる機会をつくり、自らがまちづくりの担い手と実感できるようにするとともに、市民、市民公益活動団体、企業及び事業者等、市（行政）がそれぞれの役割と責任を自覚し、互いに協力し合い、みんなで作る、協働のまちづくりを進めます。

\* 循環型社会：環境への負荷を減らすため、自然界から採取する資料をできるだけ少なくし、それらを有効に使うことによって、廃棄されるものを最小限に抑える社会のこと。

\* 市民公益活動団体：市民が自発的な参加によって行っている公益性のある非営利の活動をしている団体のこと。ボランティア団体やNPO法人、自治会などが該当する。

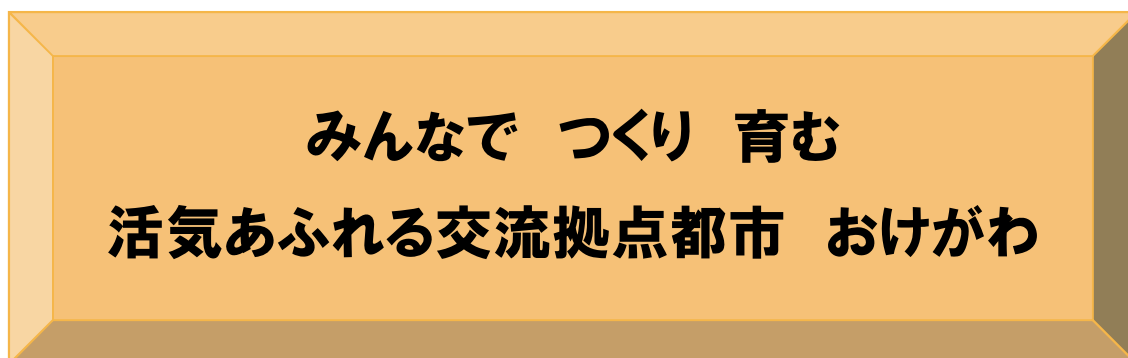
## 第3章 将来像

本市の将来像は、「みんなで つくり <sup>はぐく</sup> 育む 活気あふれる交流拠点都市 おけがわ」と決めました。

「みんなで つくり 育む」とは市民一人ひとりがまちづくりの担い手となり、積極的に参加することを示し、市民、\*市民公益活動団体、企業及び事業者等が市（行政）との協働のまちづくりを進めることを示します。

また、まちの歴史や文化をみんなで見つめ、個性や魅力を大切な宝ものとして、いかしていくという姿勢を示しています。

「交流拠点都市」とは、首都圏中央連絡自動車道など広域幹線道路の結節点という交通利便性をいかし、周辺環境との調和の中で新たな産業の集積や企業誘致などを進めながら、市の発展を目指すとともに、祭りやイベントなどを通じて、地域の魅力にふれあい、人々が集い、交流する場や機会を増やすことにより、にぎわいのあるまちづくりを進め、人・モノ・情報などあらゆる交流の拠点となる都市の将来の姿を示しています。



\* 市民公益活動団体：p. 21 参照。

## 第4章 まちづくりの枠組み

### 1 人口フレーム

本市の総人口は、75,965人（平成22年11月1日現在）であり、ここ数年の傾向としては微増となっています。

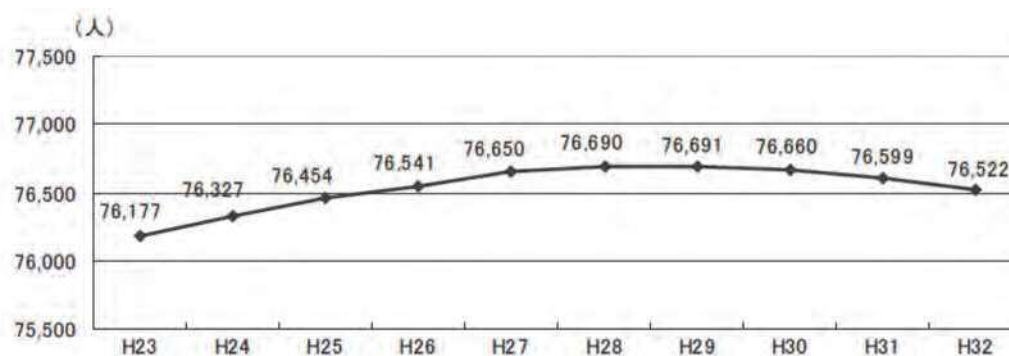
年齢人口構成を見ると、人口に占める65歳以上の割合は、20.8%（平成21年）から31.2%（平成32年）にまで増加すると予測されます。

また、15歳未満の割合は、13.5%（平成21年）から10.7%（平成32年）にまで減少すると予測されます。

平成16年以降については、出生数が死亡数を上回る自然増、転入が転出を上回る社会増の状況が続いています。このため、本計画においては、計画的な土地利用を図ることによって、人口増加を目指します。

**目標人口（平成32年） 77,000人**

図 コーホート要因法による 桶川市将来人口推計



	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
年少人口(0～14歳)	9,824	9,662	9,551	9,389	9,201	9,068	8,850	8,680	8,476	8,318
生産年齢人口(15～64歳)	48,783	48,071	47,388	46,755	46,252	45,801	45,471	45,206	45,081	44,848
老年人口(65歳以上)	17,570	18,594	19,515	20,397	21,197	21,821	22,370	22,774	23,042	23,356

（各年1月1日の推計人口）

※人口フレームの検討にあたっては、平成21年住民基本台帳による本市の人口をもとに、コーホート要因法による推計を行い、それに人口増加のためのさまざまな施策における定着人口を加味しています。

※コーホート要因法：年齢ごとの人数に、生残率（1年後あるいは5年後の生き残り率）や転入・転出などの移動率、あるいは出生率（1年間に1人の女性が子どもを産む比率）を掛け合わせて、将来の人口を推計する手法のこと。



## 2 土地利用

### (1) 土地利用の基本的な考え方

本市は、昭和 30 年代より都市化の波を受け、急速な住宅化が進展してきました。

近年では、首都圏中央連絡自動車道や上尾道路などの広域幹線道路の整備が進み、この 10 年間に本市を取り巻く交通条件は、埼玉県央地域の好位置をいかすことができる結節点として大きく変化することが予測されます。

市街地の土地利用にあたっては、住宅と商業、医療・福祉サービスなどの充実を目指します。一方郊外では、農業・工業・流通の生産の場と里地・里山などみどりが調和する土地利用を計画的に進める必要があります。

このため、「歩いて暮らせるまちづくり」、「広域交通網をいかしたまちづくり」、「水辺と農が調和するまちづくり」を土地利用の基本方針とします。

さらに、本市の都市づくりの経緯を踏まえ、生活・交流の場となる市街地と、働く場と憩いの場を提供する田園地域が調和する集約型の都市構造の構築を進めます。

また、桶川駅を玄関とする中心市街地の都市拠点、日常の生活利便性を高める東西の地域生活拠点を形成します。インターチェンジ周辺などの開発可能性の高い地域においては、複合的な産業機能の開発誘導を進め、必要に応じて周辺環境に配慮した詳細な土地利用計画及び整備方針について検討をしていきます。

#### ① 土地利用の基本方針

##### 歩いて暮らせるまちづくり

本市は、今後少子高齢化が進行し、さらに将来的には、人口減少社会への転換が予測されるため、高齢者になっても安心して住み続けることができること、若者や子育て世帯が快適かつ便利に暮らすことができる住環境が求められています。

桶川駅周辺の中心市街地では、駅東口周辺地域や中山道を整備し、人が集い快適に過ごせる魅力ある拠点として活性化していきます。

また、現在進められている土地区画整理事業を着実に推進するとともに、日常的に歩ける範囲を\*基礎的なコミュニティとして位置づけ、生活に不可欠な商業、医療・福祉、公共サービス、公園緑地などを地域ごとに集約し、バランス良く配置された住環境の形成を進めます。

さらに、だれもがそれらの機能を十分に利用できるよう、移動を補完するためのバス交通網の充実や自転車利用の促進を図ることにより、だれもが安心して住み続けられ、歩いて暮らせるまちを実現する土地利用を進めます。

##### 広域交通網をいかしたまちづくり

今後 10 年の間には、首都圏中央連絡自動車道及び上尾道路の全線開通が予定されており、都市間交通網が大きく改善されます。本市の発展にとって、広域交通の結節点による利便性をいかした製造業や流通業務施設などの産業立地を誘導する良い機会になります。

\* 基礎的なコミュニティ：本市では、基礎的なコミュニティとして、1 万人程度の小学校区域を日常の生活圏、2 つの小学校区域を合わせた中学校区域程度を地域生活圏と位置づけている。

また、広域交通網の充実に伴い、中山道宿場町の歴史と文化を持つ本市の特性をいかした観光のまちづくりの推進による交流の活性化など、幅広い産業振興の取り組みが求められています。

広域交通網の充実による商業・医療・娯楽など高次な都市機能の利用圏域の拡大は、利用者の流入の可能性が広がると同時に、周辺都市への流出の可能性も拡大するなど、競争条件が厳しくなることも考えられることから、都市経営の視点からの成長戦略も必要となります。

首都圏中央連絡自動車道のインターチェンジ周辺の土地利用については、\*田園都市産業ゾーン基本方針に基づき整備を進めます。また、上尾道路などの広域幹線道路の沿道については、周辺環境に配慮し、沿道型サービス施設の充実を図ります。県道川越栗橋線及び西側大通り線の交差部には、広域的交通網をいかした商業施設など、都市機能の充実を図ります。

さらに、桶川駅周辺の中心市街地においては、ターミナル機能を充実させ都市拠点の形成を図ります。また、広域幹線道路の沿道などに道の駅などの観光のまちづくり拠点を整備し、人・モノ・情報が行き交う交流拠点都市として、市全域に活力を生み出すための計画的な土地利用を進めます。

### 水辺と農が調和するまちづくり

本市の東には元荒川、西には荒川が流れ、貴重な緑の空間が広がっており、中小河川の源流地があります。江川沿いなどの水田、周囲の斜面林と一体となった風景、屋敷林、雑木林が農地とともに数多く見られましたが、都市化によりその多くが失われています。

生物多様性の維持による持続可能な社会の実現に向けて、国の\*自然再生推進法に基づく取り組みが、荒川の旧流路を中心に市民と行政が一体となって進められています。湿地環境の保全や旧流路の復元により自然、生態系の保全・再生を目指すものです。市としても国の施策に積極的に取り組み、県及び近隣の関係自治体と協力して、その推進を図ります。

こうした豊富な水辺環境を有する本市の郊外では、自然環境を保全し、再生していくとともに、農業生産を継続することも求められています。農地は、米、野菜、果樹のほか花きなどの農産物を生産し、安全な食料供給と潤いのある都市生活への役割は大きいものがあります。しかし、都市化とともに後継者不足もあって、\*耕作放棄地が増えている現状があります。

その一方で、人々のライフスタイルの変化や価値観の多様化により、身近に農や自然に親しむ場や健康づくりの場として、市民の農地への期待が高まっています。今後は、このような社会の背景を踏まえ、新規農業者の就労支援や地産地消など、農業振興を積極的に行い、耕作放棄地を健全な農地に活用する支援を行っていきます。

本市の郊外においては、多くの市民の参加を促進しながら、水辺と農が調和する土地利用を進めます。

\* 田園都市産業ゾーン基本方針：平成18年に策定され、首都圏中央連絡自動車道沿線地域における周辺の田園環境と調和した産業基盤づくりの推進に向け、県の姿勢と取組方策を示したもの。

\* 自然再生推進法：自然再生を総合的に推進し、生物多様性の確保を通じて自然と共生する社会の実現を図り、あわせて地球環境の保全に寄与することを目的としたもので平成15年より施行されている。

\* 耕作放棄地：以前耕地であったもので、過去1年以上作物を栽培せず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地のこと。

## ② 集約型の都市構造

### ●市街地と田園地域で構成

本市の都市構造は、桶川駅及び中山道周辺を中心とする既成市街地と、坂田地区、日出谷地区の中には、良好な基盤整備を進めている新市街地があります。一方、市東西の市街化調整区域には、農村と住宅が調和した景観を保持する田園地域があります。

また、既に少子高齢化が進んでおり、日常生活のコミュニティにおいては、地域福祉・医療、買い物サービスが可能な安心して住み続けられる地域社会の形成が重要になります。そのためには、中心市街地の都市拠点、市東西の地域生活拠点、コミュニティ拠点からなる集約型の都市構造の実現を目指します。

なお、拠点とはそれぞれの活動の中心となる役割を持っており、一定の広さを持つ区域（エリア）を示しています。

### ●中心市街地の都市拠点化

桶川駅周辺の中心市街地を本市の都市拠点と位置づけ、市の文化・交流機能の中心として充実します。この中心市街地では、拠点性を確保するため、桶川駅東口のターミナル機能確立し、人・文化などのさまざまな交流や業務機能の充実を図ります。そこで、駅東口・西口の商業環境の向上と合わせて、中山道をいかしたまちづくりやまち並みの創出により、人が集まる魅力をもつ都市拠点としての活性化を推進します。

### ●東西の地域生活拠点の形成

本市の市街地は、桶川駅及び中山道周辺を中心とした既成市街地と東西の新市街地からなります。

本市においては、1万人程度の小学校区域のコミュニティを日常の生活圏とし、2つの小学校区域を合わせた中学校区域程度を地域生活圏と位置づけ、東側の坂田地区及び西側の日出谷地区の新市街地には、歩いて暮らせるまちの中心的な役割を果たす地域生活拠点を形成します。

### ●身近なコミュニティ拠点の充実

コミュニティ拠点は、地域福祉や集会施設、診療所などが立地する既存集落の中心的な区域であり、地域生活拠点との連携を図ります。少子高齢化、価値観の多様化、プライバシーの配慮などから地域の結びつきが希薄化する中、世代間を越えた交流やさまざまな活動の場として、公民館などを中心にだれもが安心して住み続けられる地域づくりを目指します。

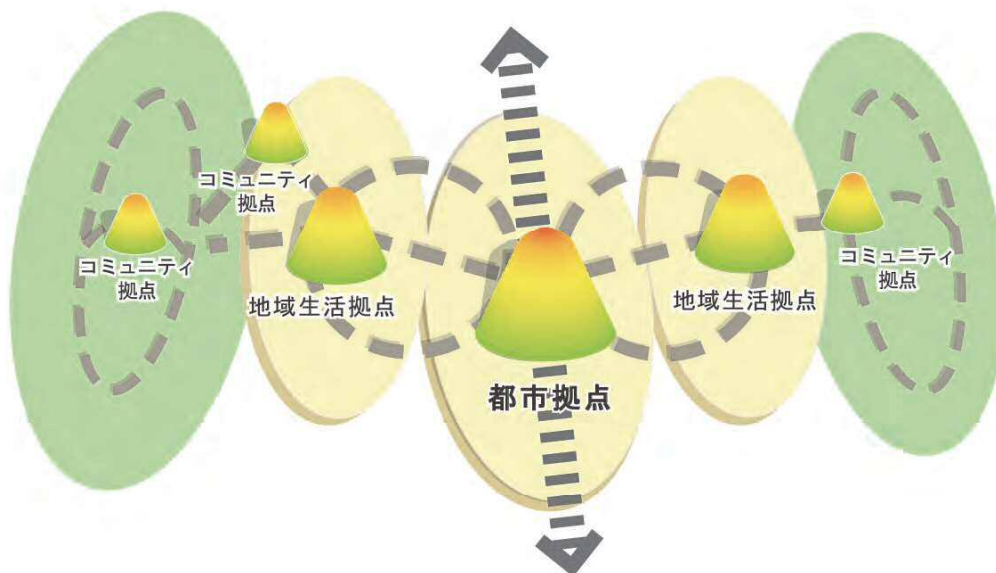
### ●市内をつなぐネットワークの充実

高齢者を含む多くの市民が容易に移動できるよう、公共交通ネットワークの整備・充実が必要です。

桶川駅周辺の都市拠点と坂田地区及び日出谷地区の地域生活拠点、市東西の田園地域とを結ぶ公共交通網の整備・充実を図り、市内での移動を容易にし、地域間交流の促進を目指します。

(参考) 本市が目指すまちの姿

図 本市における集約型の都市構造 (イメージ)



集約型の都市構造とは、都市機能や日常的なサービス機能を集積させる拠点を位置づけ、さまざまな拠点を公共交通ネットワークでつなぐことで、暮らしやすさと市全域の発展を確保するものです。

## (2) 土地利用構想

本市の都市構造を踏まえ、市街地、田園、工業系、商業系のゾーンに土地利用を区分します。その上で、計画的な誘導エリアを設定し、都市拠点、地域生活拠点、コミュニティ拠点、観光まちづくり拠点、公園・みどりの拠点からなる5つの拠点の形成を図るとともに、緑・水辺軸及び沿道サービス軸からなる2つの軸を位置づけます。

### 【ゾーン】

#### ①市街地ゾーン

桶川駅周辺の中心市街地では、東口駅前広場、駅東口通り線などの整備に合わせて、若い世代や高齢者など多様な世代が住める利便性の高い住宅地を目指します。既成市街地の基盤整備が整った地域では、良好なまち並みを維持保全するとともに、基盤未整備な地域では、生活道路やオープンスペースなど生活環境の改善に取り組んでいきます。また、坂田地区や日出谷地区においては、計画的な市街地整備を進め、質の高い居住環境を創出します。

#### ②田園ゾーン

郊外に広がる田園地域では、優良農地の保全や土地改良事業などによる農業基盤の整備、観光農業・直売所設置などの推進を図り、都市近郊農業のための営農環境を保全します。米、路地野菜、花・鉢物、果樹、畜産など多様な都市農業の展開を目指します。また、田園風景の維持とともに生垣や屋敷林などを保全し、既存集落や住宅地の生活環境の向上を図ります。なお、桶川加納インターチェンジ北西の加納北部地区については、敷地規模にゆとりある優良な田園型住宅地として農住調和地区と位置づけます。

#### ③工業系ゾーン

既存工業団地や工業地では、企業の操業環境を維持し、製造・流通加工などの生産活動の活性化に努めます。土地利用転換の機会には、住宅地化を未然に防止し、生産・流通活動の高度化・情報化に伴う業種転換を促し、生産・研究開発活動の場であることを維持します。

#### ④商業系ゾーン

桶川駅周辺では、都市拠点として商業施設、業務施設、文化施設、都市型住宅などが連続し、歩いて暮らせる快適で利便性の高い都市空間の形成を目指します。特に、駅東口では、まちの顔となる駅前広場や駅東口通り線の整備を進めるとともに、旧桶川南小学校跡地の利活用と合わせて、商業環境の充実や街なか居住の推進を図ります。また、中山道沿道では、歴史、文化をいかしたまち並みの保全・創出や景観誘導などを図り、基盤整備と連携した街なか観光に力点を置き、旧郵便局跡地や中山道宿場館などの利活用により、回廊性を高める魅力ある観光まちづくり拠点を形成します。さらに、新市街地における地

域生活拠点と位置づける日出谷地区には、\*最寄り品のみならず\*買回り品を含む商業地の形成を誘導します。

## 【計画的な誘導エリア】

### ⑤複合開発エリア

首都圏中央連絡自動車道による交通利便性をいかし、周辺環境と調和した土地利用を進めるエリアとして、桶川加納インターチェンジ周辺地域では、製造業や流通業務などの工業系の土地利用を進めます。既に開通している桶川北本インターチェンジ周辺地域については、資材置き場などの乱開発抑止に努め、物流・業務サービス、製造業、情報、研究などの産業施設の誘導を図ります。

## 【拠点の形成】

### ⑥都市拠点

桶川駅周辺の中心市街地では、本市の都市拠点と位置づけ、駅東口、西口を一体的な中心市街地の形成を図り、拠点性を確保していきます。駅東口は、都市機能の充実を図るため、駅前広場及び駅東口通り線の整備を促進し、あわせて文化・交流・業務機能を充実させます。また、旧桶川南小学校跡地については、都市拠点にふさわしい利活用を図ります。さらに、中山道沿道は、歴史、文化をいかしたまち並みの保全・創出を図り、旧郵便局跡地や中山道宿場館などを観光資源としてまちづくりを進め、活性化を図ります。

### ⑦地域生活拠点

東西の新市街地では、坂田地区及び日出谷地区に地域生活拠点を形成し、日常生活に必要な公共施設、医療・福祉施設などを整備することにより、利便性の高い安心して住み続けられる歩いて暮らせるまちづくりを進めます。さらに、日出谷地区には広域的交通網をいかした商業施設などを集約した地域生活拠点の形成を図ります。

徒歩または自転車を利用した歩いて暮らせるまちのライフスタイルは、地球温暖化防止に貢献することになります。

### ⑧コミュニティ拠点

コミュニティ拠点では、地域の人々が集い交流し、文化・伝統の継承やコミュニティの充実を図ります。また、集会施設や学校、公園、広場を活用し、日常生活に必要な機能の充実に努め、地域の活性化を図ります。

\* **最寄り品**：野菜・魚・肉・日用雑貨品など日常的に高頻度で購入される商品のこと。

\* **買回り品**：家具や電化製品など、その商品を買うために複数の店を見て回り、価格、性能、デザインなどを比較して決める商品のこと。

### ⑨観光まちづくり拠点

観光まちづくり拠点については、中山道の歴史やべに花ふるさと館の農文化など、地域の固有な歴史と文化をいかし、それらを継承するイベントの開催、中心となる施設の充実などを図ります。また、川田谷の旧若宮寮跡地については、その利活用に努めるとともに、荒川沿川のサイクリングロードとのネットワーク化を図ります。さらに、道の駅など地域の活性化施設を川田谷地区の交通利便性が優れる広域幹線道路沿道に整備し、観光まちづくり拠点の形成を進めます。

### ⑩公園・みどりの拠点

公園・みどりの拠点については、荒川、元荒川の上流から下流に連続する緑・水辺軸の水辺環境を保全するとともに、遊歩道、サイクリングロード、休憩スポットの整備の促進を図ります。さらに、子ども公園わんぱく村、駅西口公園、城山公園周辺などで公園・みどりの拠点の充実を図ります。

## 【軸の形成】

### ⑪緑・水辺軸

荒川流域では、貴重な生態系の保全・再生のために、\*自然再生推進法に基づく取り組みを市民と行政が一体となって進めています。綾瀬川、元荒川、赤堀川、江川、石川川などの中小河川の水辺をいかし市民が憩い、安らぎを得ることができる水辺環境を創出するとともに、桜堤、サイクリングロードの整備を促進します。さらに、公園・みどりの拠点と市民緑地、公共施設などの緑のネットワークの形成を図ります。

### ⑫沿道サービス軸

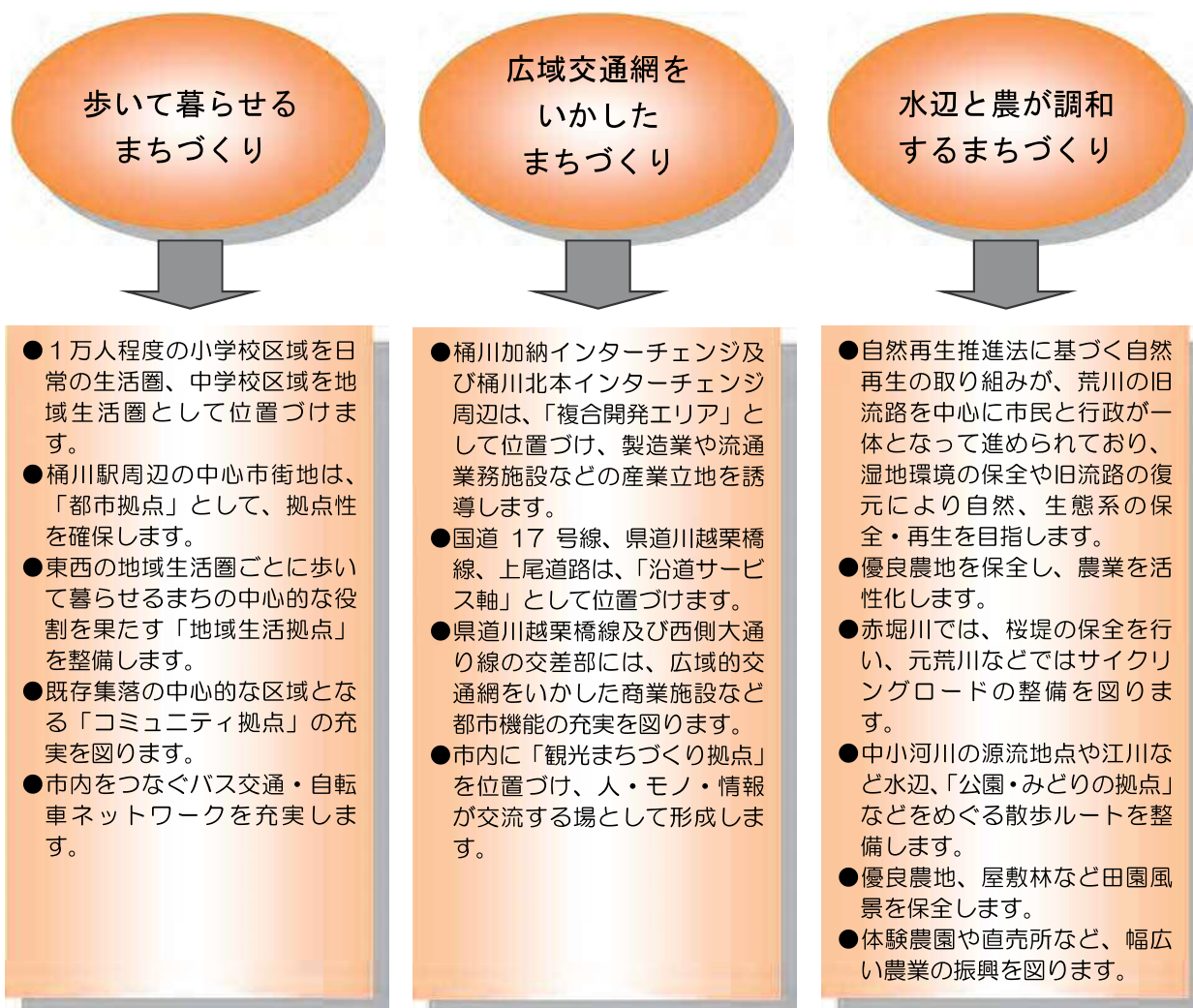
市街化区域の県道川越栗橋線は4車線道路となり、沿道型商業施設や物流・業務サービス施設の集積が期待されます。

さらに、広域幹線道路である上尾道路沿道においては、交通利便性をいかし、沿道型サービス施設の立地が可能になり、周辺の田園環境や生活環境、景観形成に配慮しながら適切な土地利用を図ります。

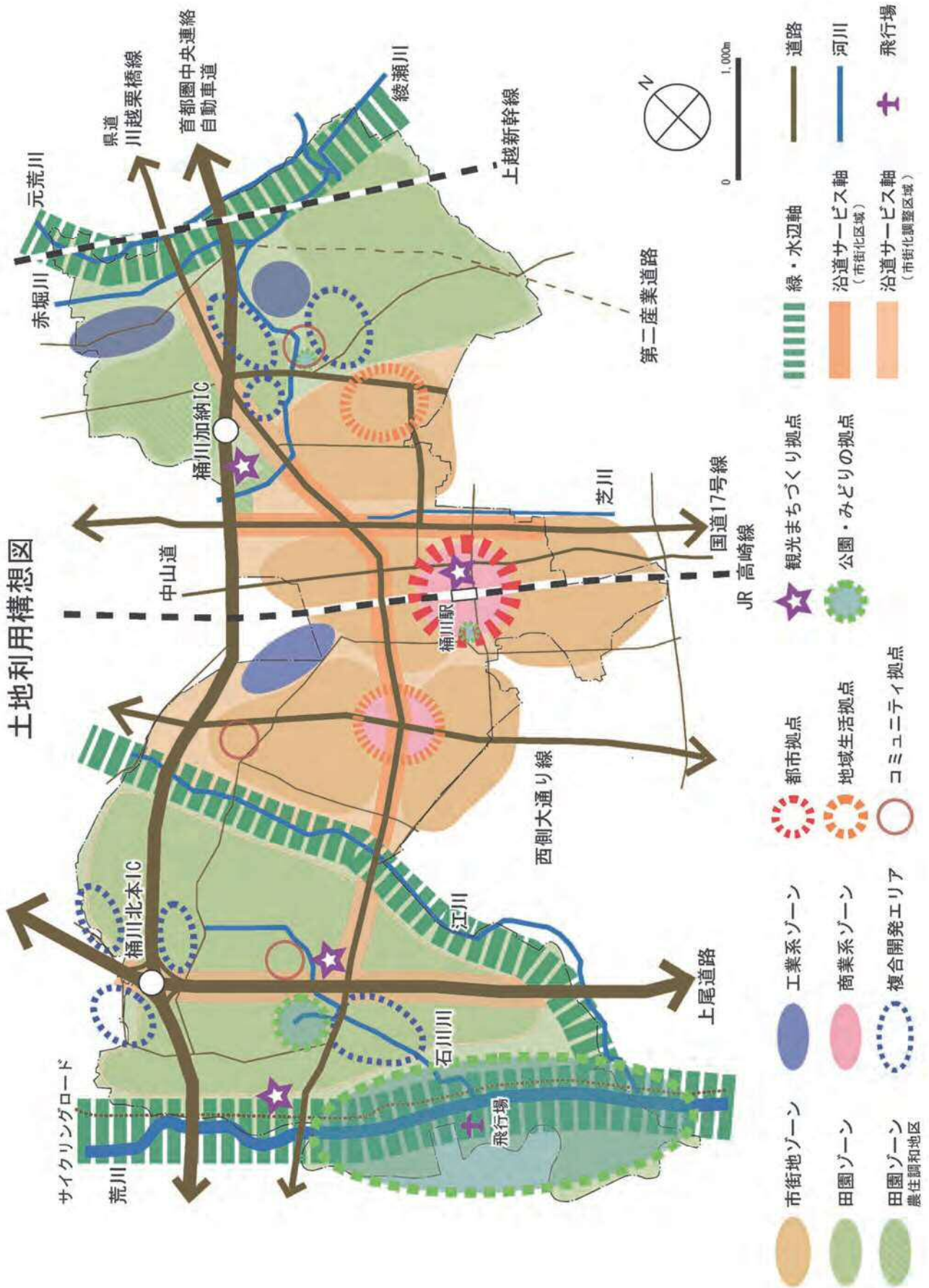
---

\* 自然再生推進法：p. 25 参照。

図 土地利用の方針







## 第5章 施策の大綱

基本理念に基づいて掲げた将来像を実現するために、まちづくりの課題を踏まえた、7つの施策の大綱を定めました。

「参画・協働」及び「行財政運営」の大綱については、他5つの大綱を実現するために不可欠であり、まちづくりを支える基盤として位置づけました。



**だれもが主役の  
桶川をつくる  
【参画・協働】**

地域の課題や市民ニーズに的確に対応するためには、市民、\*市民公益活動団体、企業及び事業者等、市（行政）の協力が不可欠です。また、年齢、性別、国籍などにとらわれず、だれもがまちづくりに参加することが必要です。このため、男女共同参画社会を推進するとともに、市民や NPO、ボランティア、企業など多彩な人々や団体間のさまざまな交流を促進し、みんなで協力し合い地域の課題を解決するまちをつくりま

**生きる力を<sup>はぐく</sup>育み  
次代に繋げる  
桶川をつくる  
【教育・文化】**

将来にわたって、まちの活力を持続するためには、子どもたちが創造性豊かに育つ環境づくりと、市民がさまざまな分野で学習し、個性や能力をいかす場が求められています。このため、よりよい教育環境づくりの推進、生涯学習機会の充実などを図ることで、市民が自然や地域の文化にふれ、人格を磨き、学び、個性や価値観を認め合いながら、生きがいのある豊かな人生を築くことができるまちをつくりま

**共に支え合い  
いきいきと暮らせる  
桶川をつくる  
【健康・福祉】**

すべての市民が心身ともに健康で、安心して毎日を送れるとともに、市民一人ひとりが、自らの能力をいかして社会の中で活躍し、生きがいを持って暮らせるしくみづくりが求められています。このため、市民の健康づくりに対する支援や、保健・医療体制の充実、子育て支援対策、高齢者の\*介護予防、障害のある人の自立支援の充実を図ることで、住み慣れた地域において共に支え合うしくみを形成し、住み続けることができるまちをつくりま

**環境にやさしく  
安心・安全に  
住み続けられる  
桶川をつくる  
【市民生活】**

地球温暖化など深刻化する環境問題に配慮し、省エネルギー、ゴミの減量化に努めるライフスタイルを推進することが必要です。また、安心・安全な生活環境を確保し、だれもが快適に暮らすことができるまちをつくる必要があります。このため、\*循環型社会の形成に一層取り組み、生物多様性を守ります。また、防災力・防犯力の向上や交通安全対策の充実を図り、市民一人ひとりの生命と財産が守られ、心穏やかに暮らせるまちをつくりま

\* 市民公益活動団体：p. 21 参照。

\* 介護予防：高齢者が要支援・要介護になることをできる限り防ぎ、できる限り自立した日常生活を営めるよう支援することを目的とした事業のこと。

\* 循環型社会：p. 21 参照。

みどりと調和した  
暮らしやすい  
桶川をつくる  
【みどり・都市基盤】

本市は、広域幹線道路の整備が進められる一方で、荒川などの河川、屋敷林、雑木林などの郊外のみどりによる憩いの自然空間や市街地における街路樹・公園などの多様なみどりがあります。

みどりを保全、活用しながら、計画的な土地利用や乱開発を抑制するためのルールづくりを進めます。また、魅力ある中心市街地、新市街地における地域生活拠点を形成するとともに、\*バリアフリー化など安全で暮らしやすい環境を整備することによって、人にやさしい、みどり豊かで快適な空間があるまちをつくりま

にぎわいと活力ある  
桶川をつくる  
【産業】

まちや経済の活性化のためには、定住人口・交流人口を増やすとともに、産業経済基盤の確立が不可欠です。

このため、農業、工業、商業、観光業をはじめ、市民生活を支える多様な産業の連携や振興を図ることが必要です。また、中心市街地の活性化を推進することは、本市の重要な課題です。さらに、広域交通網の結節点という交通利便性をいかして、企業誘致・沿道サービスの立地促進などを含め、雇用の創出など各種振興策を検討、実行することにより、にぎわいにあふれ、活力がみなぎるまちをつくりま

計画的で  
将来を見据えた  
桶川をつくる  
【行財政運営】

社会経済情勢の変化に対応していくため、行政組織の合理化・活性化、職員の資質向上などの行財政改革を着実に実行し、財政基盤の強化を図ります。また、広報広聴の充実を図り、情報公開に努め、開かれた市政を目指します。

近隣広域行政圏との連携と協力を進めることによって、ごみ処理施設整備などの課題に早期に取り組んでいきます。また、市民の利便性の向上を図るため、防災機能やコミュニティ機能などを備えた新しい市庁舎の建設を進めます。

経営的な視点を取り入れた行政評価システムの活用と財政基盤の強化を図り、効果的・効率的な行財政運営を展開し、将来を見据えたまちをつくりま

\* バリアフリー：障害のある人が社会生活をしていく上での障壁（バリア）を取り除く（フリー）こと。もともとは、段差解消などハード面の意味合いが強いが、広義には障害のある人の社会参加を困難にする障害の除去（ソフト面の社会的、制度的、心理的な障害）を含む。